

# 令和 7 年度 行政評価 (令和 6 年度実績)

令和 7 年 8 月

新見市

## 目次

<b>I</b>	<b>行政評価制度の概要等</b>	<b>1</b>
1	行政評価制度の概要	2
2	地域再生制度を活用した「地域再生計画」の評価概要	7
<b>II</b>	<b>第3次新見市総合計画</b>	<b>11</b>
1	産業・経済	13
(1)	農業	15
(2)	畜産業・水産業	20
(3)	林業	24
(4)	鉱業・工業	29
(5)	商業・サービス業	33
(6)	観光	38
(7)	雇用・労働	43
2	健康・福祉	49
(1)	健康・保健	51
(2)	医療	56
(3)	児童福祉	61
(4)	高齢者福祉	65
(5)	障がい者（児）福祉	70
(6)	地域福祉	75
3	教育・文化・スポーツ	81
(1)	就学前教育・義務教育	83
(2)	大学・高等学校	87
(3)	生涯学習	91
(4)	芸術・文化・文化財	95
(5)	スポーツ・レクリエーション	99
4	安全・生活基盤	103
(1)	防災	105
(2)	消防・救急	110
(3)	防犯・交通安全	114
(4)	水道・下水道	118

5	都市基盤・交通	123
(1)	道路	125
(2)	住環境・情報通信	129
(3)	公共交通	135
6	環境	141
(1)	環境・自然・生態系	143
(2)	廃棄物・公害	147
7	交流・コミュニティ	151
(1)	交流	153
(2)	移住・定住	157
(3)	コミュニティ・NPO・ボランティア	162
(4)	人権・パートナー	167
8	評価結果一覧	173
(1)	評価結果年度別一覧	174
(2)	達成目標の進捗（達成）状況年度別実績一覧	176
(3)	評価対象外事業一覧	184
Ⅲ	第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略	185
1	重点目標1	186
2	重点目標2	187
3	重点目標3	188
4	重点目標4	189
5	評価結果一覧	
(1)	評価結果年度別一覧	191
(2)	達成目標の進捗（達成状況）年度別実績一覧	193
Ⅳ	地域再生計画	195
1	I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクト	
①	令和6年度実績	196
②	事業全体総括	199





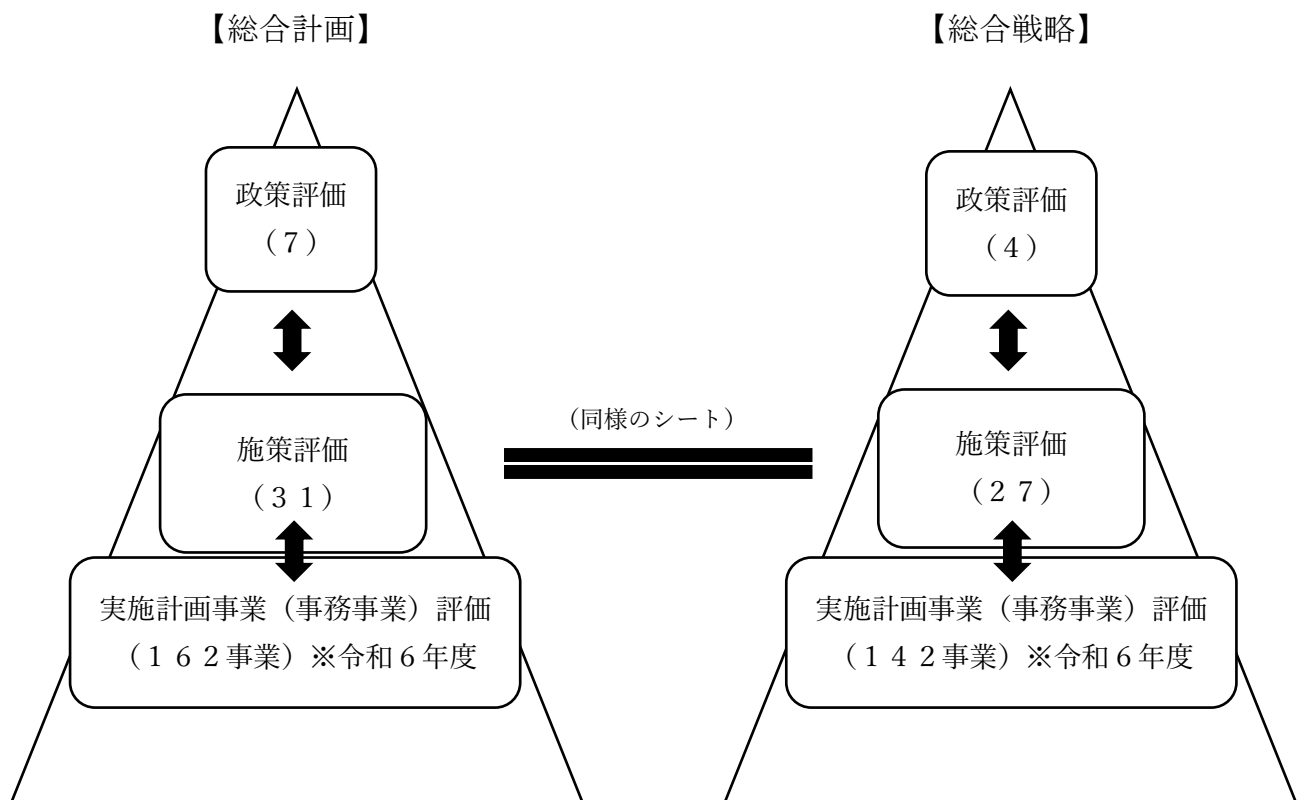
# I 行政評価制度の概要等

## 1 行政評価制度の概要

### I 目的

「第3次新見市総合計画（以下、「総合計画」という。）」及び「第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）」を総合的、効果的に推進するために、達成目標の進捗（達成）状況や施策・事業の成果を適切に把握し、達成度等の観点からの行政評価を行い、必要な見直しや改善を行うためのPDCAサイクルを構築する。

### II 行政評価制度図



### III 総合計画の評価

#### 1 評価の種類及び評価方法

##### (1) 政策評価（様式2）

##### ① 評価の対象

7つの行政分野での目標

区分	目標
1 産業・経済	産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる
2 健康・福祉	健やかに暮らせ、子育てができるまちをつくる

3 教育・文化・スポーツ	誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる
4 安全・生活基盤	安全で、市民生活を支えられるまちをつくる
5 都市基盤・交通	人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる
6 環境	自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる
7 交流・コミュニティ	多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる

## ② 評価方法

7つの行政分野を構成する施策評価の平均値で評価し、今後の政策推進に向けての課題を明らかにする。

## (2) 施策評価（様式1）

### ① 評価の対象

7つの行政分野の施策を構成する31の施策

区分	施策項目
1 産業・経済	①農業 ②畜産業・水産業 ③林業 ④鉱業・工業 ⑤商業・サービス業 ⑥観光 ⑦雇用・労働
2 健康・福祉	①健康・保健 ②医療 ③児童福祉 ④高齢者福祉 ⑤障がい者（児）福祉 ⑥地域福祉
3 教育・文化・スポーツ	①就学前教育・義務教育 ②大学・高等学校 ③生涯学習 ④芸術・文化・文化財 ⑤スポーツ・レクリエーション
4 安全・生活基盤	①防災 ②消防・救急 ③防犯・交通安全 ④水道・下水道
5 都市基盤・交通	①道路 ②住環境・情報通信 ③公共交通
6 環境	①環境・自然・生態系 ②廃棄物・公害
7 交流・コミュニティ	①交流 ②移住・定住 ③コミュニティ・NPO・ボランティア ④人権・パートナー

## ② 評価の方法

「総合計画に掲げる達成目標の達成度」と「第3次新見市総合計画実施計画（以下、「実施計画」という。）に掲載された事業の評価」を用い、今後の施策推進に向けての課題を明らかにする。各施策項目について、達成レベルを「①達成目標の達成度の平均」（小数点第2位四捨五入）と「②実施計画事業評価の平均」（小数点第2位四捨五入）＝4：1で算出する。

（計算式：（①×4/5）＋（②×1/5）※小数点第2位四捨五入

## ③ 達成目標の評価方法

達成目標が年度ごとにどれだけ達成できたか、達成率と達成度を算出して評価（5段階評価）する。

達成率の考え方	達成度の評価基準
〈計算方法〉 原則 $\text{達成率} = \text{実績値} / \text{目標値}$	5：達成率が120%以上 4：達成率が100%以上120%未満 3：達成率が80%以上100%未満 2：達成率が50%以上80%未満 1：達成率が50%未満

## ④ 実施計画事業の評価方法

実施計画に記載されている事業はすべて評価を行う。ただし、令和6年度未実施の事業、管理運営経費など経常的なもの、法令の規定により実施する経費など市の裁量の余地がないもの等については、対象から除く。

事業ごとに「達成度」（事業目標にどれだけ近づいたか、事業計画どおりにできたか）及び「効率性」（投入コストに見合った効果を得られたか）の観点から各項目A～Dで評価する。

達成度については、原則、単年ベースで目標を設定し、達成率＝実績値／目標値で算出する。

効率性については、以下の項目にいて確認を行い、事業実施に当たっての効率性を項目に基づいてA～D（A高い・Bやや高い・Cやや低い・D低い）で評価する。

項目	観点	結果
事業費	必要最小限の事業費で執行できたか	予算額よりも削減している
		予算額とほぼ同等である
		予算額よりも増加している
人件費	必要最小限の事務分掌量で事業が実施できたか	当初の想定よりも削減している
		当初の想定とほぼ同等である
		当初の想定よりも増加している

実施体制	外部委託や入札等による競争性を検討しているか	すでに導入している
		導入を検討している
		検討していない
実施体制	効率的な代替手段を検討しているか	見直しを行った
		見直しを検討している
		検討していない

達成度及び効率性を以下の比率で配点し、合計を四捨五入し5段階評価する。

評価区分	A	B	C	D
達成度	3.0	2.0	1.0	0.5
	高い（100%以上できた）	やや高い（80%以上できた）	やや低い（60%以上できた）	低い（60%未満しかできなかった）
効率性	1.5	1.0	0.5	0.2
	高い	やや高い	やや低い	低い

（例）達成度A、効率性Cの場合は、 $3.0 + 0.5 = 3.5 \rightarrow 4$

#### Ⅳ 総合戦略の評価

##### 1 概要

総合戦略は総合計画における行動計画の一部として位置づけられているが、4つの重点目標を設定していることから総合計画とは別に評価を行う。

No.	重点目標	基本的方向
1	稼ぐ地域をつくり、地域内経済が好循環する環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特性・資源を活かした、稼ぐ地域の実現</li> <li>・ 持続可能な地域経済の確立</li> </ul>
2	都市から新見へ 新しい人の流れをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住、I J Uターンの促進</li> <li>・ 関係人口の創出</li> </ul>
3	若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備</li> </ul>
4	安心して暮らし続けられる持続可能な地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来にわたり、安全・安心な生活環境の実現</li> </ul>

##### 2 評価の種類及び評価方法

###### （1）政策（重点目標）評価（様式3）

4つの重点目標に関連する施策評価の平均値で評価し、今後の政策推進に向けての課題を明らかにする。

###### （2）施策評価（様式1）

4つの重点目標に関連する27施策を「達成目標の達成度」と「実施計画に掲載された事業の評価」を4：1で評価し、今後の施策推進に向けて

の課題を明らかにする。(総合計画の評価において作成した施策評価シートを活用する。活用する施策評価シートは次のとおり。)

No.	重点目標	関連する行動計画
1	稼ぐ地域をつくり、地域内経済が好循環する環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1－① 農業</li> <li>・ 1－② 畜産業・水産業</li> <li>・ 1－③ 林業</li> <li>・ 1－④ 鉱業・工業</li> <li>・ 1－⑤ 商業・サービス業</li> <li>・ 1－⑥ 観光</li> <li>・ 1－⑦ 雇用・労働</li> </ul>
2	都市から新見へ新しい人の流れをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3－② 大学・高等学校</li> <li>・ 7－① 交流</li> <li>・ 7－② 移住・定住</li> </ul>
3	若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2－③ 児童福祉</li> <li>・ 3－① 就学前教育・義務教育</li> <li>・ 3－③ 生涯学習</li> <li>・ 7－④ 人権・パートナー</li> </ul>
4	安心して暮らし続けられる持続可能な地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2－① 健康・保健</li> <li>・ 2－② 医療</li> <li>・ 2－④ 高齢者福祉</li> <li>・ 2－⑤ 障がい者（児）福祉</li> <li>・ 2－⑥ 地域福祉</li> <li>・ 3－④ 芸術・文化・文化財</li> <li>・ 3－⑤ スポーツ・レクリエーション</li> <li>・ 4－① 防災</li> <li>・ 4－② 消防・救急</li> <li>・ 4－③ 防犯・交通安全</li> <li>・ 5－② 住環境・情報通信</li> <li>・ 5－③ 公共交通</li> <li>・ 7－③ コミュニティ・NPO・ボランティア</li> </ul>

## V 公表

評価結果を「新見市総合計画等外部評価委員会」に報告する。また、評価結果は、外部評価委員会の意見とともに、HPに公開する。

## 2 地域再生制度を活用した「地域再生計画」の評価概要

### I 地域再生制度とは

地域再生制度とは、地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地域が行う自主的かつ自立的な取組を国が支援するもの。

地方公共団体は、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けることで、当該地域再生計画に記載した事業の実施に当たり、財政、金融等の支援措置を活用することができる。

### II 本市策定の地域再生計画

#### 1 地域再生計画の名称

##### (1) I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクト

※デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

（旧：地方創生推進交付金）

### III I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクトの概要

#### 1 地方創生として目指す将来像

地域におけるキャッシュレス化を推進するとともに、地元の商店等における消費を促進し、地域内で資金を循環させる仕組みとして、J R西日本が発行するI C O C Aを活用した電子地域ポイントを導入する。市民に本市独自のデザインのI C O C Aを配付し、電子地域ポイントを導入することによって、地域内での資金循環や、市外在住者の外貨獲得を目指す。また、市バス、観光施設、市役所で支払う公金等様々な分野についてもI C O C A決済を可能とし、I C O C Aひとつあればあらゆる分野の支払い等に利活用できる環境を整備することで、市民の利便性を向上させるとともに地元事業者の稼ぐ力を引き出し、事業者が継続的に発展することのできる持続可能な地域経済の構築を図る。

## 2 数値目標

K P I	事業 開始前	2022年度 増加分 1 年目	2023年度 増加分 2 年目	2024年度 増加分 3 年目	K P I 増加分 の累計
I C O C A 利用による年間消費額（億円）	0.1	4.1	12.4	8.4	24.9
J R 新見駅の一日あたりの利用者数（人）	475	25	100	160	285
主要観光施設（20施設）の年間入場者数 （万人）	46	12	6	6	24

## 3 事業の内容

### （1）商工分野

I C O C A カード（本市独自のデザイン）を市民に配付し、市内での買い物等の利用時に市内で利用できるポイントを付与することで、市内消費の喚起を図るとともに、キャッシュレス決済の推進を図る。モバイル I C O C A 導入後（2023 年予定）は、スマートフォンで決済可能な環境を構築する。

### （2）交通分野

市バス等に I C O C A 決済可能な設備を導入し、キャッシュレス決済の推進を図るとともに、ポイントを付与することで、利用促進につなげる。また、I C O C A を使って J R を利用した人にポイントを付与するなどして、利用促進につなげる。

### （3）駅周辺のまちづくり分野

J R 新見駅構内に Wi-Fi 環境を整備するなどして、駅の拠点性・利便性を高めるとともに、にぎわい創出のためのイベント等を行う。

### （4）観光分野

観光施設に I C O C A 決済可能な端末を設置するほか、観光に来た人に対して、一定の条件により、自己所有の I C O C A に地域ポイントを付与（地域ポイントは市内の観光施設や加盟店で利用可能）することで、観光誘客につなげるとともに、市内での消費喚起につなげる。

戦略的に観光誘客を図ることができる専門人材を活用することにより、新たな観光資源の開発等を行うことで、さらなる観光客の増加を目指す。また、本市の魅力をさらに向上させるために、新見の A 級食材等を活用した旅行商品を開発する。

### （5）関係人口創出分野

市内ツアーの企画や本市独自の I C O C A をふるさと市民に配付するなどして、来訪の機会を増やし、さらなる関係人口の増加につなげる。



(6) 行政・地域分野

市役所で支払う公金について、キャッシュレス決済できる環境を整えることで、市民の利便性を向上させる。また、ボランティアポイントや健康ポイントなどの、行政ポイントの付与を行うことで、事業への参加促進及び地域経済の活性化を図る。

(7) その他の分野

市及び各種関係団体を構成員とする新見市観光協会を事務局とし、新見商工会議所、阿哲商工会、J R西日本などの関係団体と連携しながら、官民協働して事業を展開していく。また、本プロジェクトPRのため、普及促進事業を行う。

#### IV 評価方法

数値目標の進捗率及び本制度を活用して実施した事業の評価を行い、今後の施策推進に向けての課題を明らかにする。(様式4・様式5)



## Ⅱ 第3次新見市総合計画



# 1 産業・経済

## 令和7年度 第3次新見市総合計画 政策評価シート（令和6年度実績）

## 1 政策内容

担当部

総務部・産業部・健康福祉部

1 産業・経済	産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる
---------	------------------------

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
1-①	農業	魅力ある産業に変革し 持続可能な農業を実現する	4.0
1-②	畜産業・水産業	品質の高さを武器に 競争力ある産業を目指す	2.2
1-③	林業	資源の循環サイクルを確立し 林業の成長産業化を目指す	3.6
1-④	鉱業・工業	地域経済の牽引役として 鉱工業の安定的発展を促進する	3.2
1-⑤	商業・サービス業	魅力向上と創業・事業承継で 持続的発展を促進する	3.7
1-⑥	観光	観光資源を磨き、交流を促進し にぎわいを創出する	4.0
1-⑦	雇用・労働	魅力ある雇用と労働を生み 市内就職者の増加を目指す	4.6
達成レベル平均			3.6

(小数点第2位四捨五入)

## 3 総合評価

	評価
<p>産業・経済全体での評価で見ると、昨年度より0.1ポイント上昇となっている。</p> <p>農林畜産業では、担い手減少に伴う課題解決のため新規就業者の確保に取り組み、一定の成果を得ることができた。今後も、品質が良く市場の評価が高い本市の特産物の生産を振興するため、継続して就業者の確保に取り組む必要がある。</p> <p>鉱工業・商業等では、創業、経営革新や資格取得への支援など積極的に取り組んでおり、引き続き、市内業者のニーズに対し確かな事業を展開する必要がある。</p> <p>観光では、森の芸術祭等による効果もあり観光客数が増えたが、今後、交流人口の増加に向けインバウンド等の誘客にさらに積極的に取り組む必要がある。</p> <p>雇用・労働では、求職者と求人者のマッチングや高校生への市内企業説明会を開催するなど積極的に取り組んでおり、今後も効果的な事業を実施する必要がある。</p>	3.6

## 令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

1 評価施策名	担当課	農業畜産振興課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	① 農業	
施策内容	魅力ある産業に変革し 持続可能な農業を実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
新規就農者数	8人/年	目標値	8	8	8	8	8
		実績値	8	7	8	8	8
		達成率（%）	100.0	87.5	100.0	100.0	100.0
		達成度	4	3	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要農産品販売額	12.8億円/年	目標値	13.0	13.2	13.4	13.7	14.0
		実績値	13.6	14.9	14.9	17.7	16.0
		達成率（%）	104.6	112.9	111.2	129.2	114.3
		達成度	4	4	4	5	4

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	4.0
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	新規就農者確保育成事業						
事業の概要	農業後継者、新規就農者などの担い手の育成、定住促進を図るため、住宅購入・リフォーム補助、研修手当などの支援や、研修向け農場の整備や技術サポート等の取組を支援します。						
事業の目標（評価指標）	新規就農者数						
目標値	8人/年						
実績値	8人/年						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>就農に向けた研修では、本市独自の短期農業体験研修に2名が参加し、ぶどう農家のもとで作業を体験した。この2名は本市での就農を目指しており、1名は農業体験研修を経て農業実務研修に進み、もう1名は農業実務研修相当の自主研修に進んだ。</p> <p>就農相談会では、県内外合わせて7回出展し、新規就農者確保に向けて本市の広報及び情報発信に努めた。</p> <p>課題となっている農地確保や就農者住宅については、営農団地の二期工事部分の整備が完了し新規就農者2名が栽培を始めたほか、過年度から進めている空きほ場や空き家の確認作業については、引き続き県と協力し、情報の整理を行うとともに、範囲を広げて情報収集を行った。</p> <p>今後も、引き続き、就農者の確保と併せて農地や住居の確保など受入体制の整備に努める。</p>						



担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	ふるさと特産物育成対策事業						
事業の概要	本市の特産品の育成と産地としての規模拡大等を図るため、農業生産及び農産加工に必要な施設等の導入に対して助成します。						
事業の目標（評価指標）	主要農産品販売額						
目標値	14.0億円/年						
実績値	16.0億円/年						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	りんどう施設のほか、ぶどう棚の資材費や苗木代について助成を行ったが、高温障害の影響により、生産量・出荷量が令和5年度を下回った。また、単価が減少し、販売金額についても令和5年度から減少したが目標値は達成することができた。 今後も引き続き、本事業の利用促進を図り、本市特産品の育成と産地の規模拡大に努める。						

担当課	農業畜産振興課	◆					
実施計画事業名	有害鳥獣対策事業						
事業の概要	農作物被害の軽減や営農意欲の向上を図るため、有害鳥獣の捕獲、被害防止対策を推進します。昨年度に引き続き複合柵の設置補助などを行い、更なる被害防除に努めます。						
事業の目標（評価指標）	有害鳥獣による被害の軽減（被害額）						
目標値	10,882千円						
実績値	20,485千円						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、遠隔監視操作・自動捕獲システムを導入し、狩猟者の負担軽減と担い手確保に向けた取り組みを行った。農作物への被害はニホンザルによるぶどうへの被害が増加しているため、「被害防除」と「有害捕獲」の両面から取組を強化する。（令和5年度 6頭、令和6年度 5頭）						

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	アグリツーリズム推進事業						
事業の概要	地域運営組織等と協力しアグリツーリズムを推進することにより、地域活性化を図ります。						
事業の目標（評価指標）	施設利用人数						
目標値	288人						
実績値	325人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B		達成度	4
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	長期滞在施設（ヴィラージュかれんふえと）を活用したアグリツーリズムによる地域活性化を図るため、商工観光課が実施したアンケート結果に基づき、滞在者のニーズがあった備品等の導入を行うとともに、ホームページなどによる利用促進に努めた結果、施設利用者が増加した。 夏場の利用は増加したが、冬季は需要が少なく利用人数が伸び悩んでいるため、引き続き利用促進に向けたP Rに努める。						

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	スマート農業推進事業						
事業の概要	意欲ある担い手を支援するため、ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するスマート農業機器の購入費や、ドローン操作に必要な資格取得費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	事業利用件数						
目標値	資格取得事業：5件　機器購入支援事業：5件						
実績値	資格取得事業：2件　機器購入支援事業：8件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				+ 効率性
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
事業の成果・課題	令和6年度はスマート農業機器及びソフトウェア8台が導入され、2名がドローン操作に必要な技術を修得した。令和5年度から条件を緩和したこともあり、多数の申請があった。今後も積極的な周知を行いスマート技術の導入による農業の省力化を図る必要がある。						

平均②	3.8
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.0
-------------	-----

$$= \begin{array}{|c|} \hline \text{平均①} \\ \hline 4.0 \\ \hline \end{array} \times 4/5 + \begin{array}{|c|} \hline \text{平均②} \\ \hline 3.8 \\ \hline \end{array} \times 1/5$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

新規就農者確保のためのPR活動と就農相談会への積極的参加により、一定数の新規就農者を確保することができた。特産物については、各園芸施設の施設費及び苗木代を補助することによる金銭的負担の軽減など、きめ細かな支援を行うことで、産地の維持・拡大ができてい

る。特産品の産地拡大に向けては、新規就農者確保と生産振興の両面から、関係機関と連携しながら、農業者への各種補助等に引き続き取り組んでいく必要がある。

有害鳥獣対策については、国及び県の補助事業を積極的に活用し、令和5年度から新たにICTを活用した捕獲による狩猟者の負担軽減と担い手確保に向けた取組も開始した。しかしながら、捕獲頭数は頭打ちとなっており、被害額も依然として高止まりの状況にあることから、引き続き「被害防除」と「有害捕獲」の両面から、鳥獣被害の防止対策に取り組んでいく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	農業畜産振興課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	② 畜産業・水産業	
施策内容	品質の高さを武器に 競争力ある産業を目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
繁殖牛飼養頭数	1,143頭	目標値	1,165	1,187	1,209	1,231	1,257
		実績値	904	934	892	848	765
		達成率（%）	77.6	78.7	73.8	68.9	60.9
		達成度	2	2	2	2	2

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	2.0
-----	-----

(小数点第 2 位四捨五入)

## 3 実施計画事業評価

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	畜産団体育成補助金						
事業の概要	市内の和牛、酪農の畜産団体の活動を支援するため、その規模に応じた補助金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	補助団体数						
目標値	9 団体						
実績値	9 団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>畜産農家の育成を図るため、飼料管理対策や改良、増頭に関する事業を支援し、地域の畜産業の活性化に寄与した。</p> <p>また、畜産共進会に向けた優良繁殖牛育成では、情報共有や調教講習会を通じて技術向上を促進するとともに、新見高校生を交えた活動により若い世代の関心を高め、地域内での担い手育成に取り組んだ。</p> <p>今後は、畜産農家の減少など団体の弱体化が懸念されるため、新規参入など新たな担い手確保や更なる担い手育成に取り組む必要がある。</p>						

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	千屋牛生産振興奨励事業						
事業の概要	千屋牛の増頭を図るため、黒毛和種雌牛を自家で生産し保留、または市場等から購入した場合、奨励金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	繁殖牛飼養頭数						
目標値	1,257頭						
実績値	765頭						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	1 団体の14頭に対し奨励金を交付したが、令和 5 年度の848頭から大幅に減少した。 繁殖牛飼育頭数の減少は、繁殖牛の更新時期等、様々な要因が考えられるが、農家減少や飼料高騰などが大きな要因となっている。 引き続き、畜産農家の規模拡大及び増頭意欲の向上に向け、奨励金の周知をさらに行うとともに、畜産振興に係る他事業を併せて、畜産農家を支援することで繁殖牛飼育頭数の増加へつなげていく。						

担当課	農業畜産振興課	◆					
実施計画事業名	飼料生産基盤拡大事業						
事業の概要	粗飼料生産組織（コントラクター）または組織に位置づけを予定している者に対し、飼料生産基盤拡大に必要な収穫用機械または飼料の一時保管設備整備費用の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	交付件数						
目標値	1 件						
実績値	2 件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	畜産飼料生産拡大を目的に令和 5 年度に創設し広報に努めた結果、2 件の交付を行うことができた。飼料生産組織への機械整備の支援により、生産効率が向上し、稲 W C S では833kgの増産につながった。 今後も制度の周知を図り、市内産の安全で安心な低コスト畜産飼料の生産基盤を確立し粗飼料の増産を図る必要がある。						

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	千屋牛ブランド化推進事業						
事業の概要	千屋牛の消費拡大及び生産者の所得向上とブランド化の確立を図るため、市内外のイベントなどでP R 活動を行います。						
事業の目標（評価指標）	指定登録店総数						
目標値	275店						
実績値	270店						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	A	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題		<p>P R グッズ作成・配布等の広報活動や、スタンプラリーによる消費拡大を図った。</p> <p>指定登録店総数については、千屋牛振興会を通じて新たに11店舗の指定登録をおこなったが、指定登録店の閉店等により、令和5年度と同数となった。</p> <p>広報活動等により、全国的に千屋牛の知名度及び需要が高まっている。今後も、広報活動や販売促進活動を通じてブランド力のさらなる向上に努めていく。</p>					

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	千屋牛生産基盤拡大事業						
事業の概要	3年間で千屋牛の飼養頭数20頭以上の増頭を目指す畜産農家や法人に対し、牛舎等の施設整備または草地刈取用機械等の設備整備費用の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	交付件数						
目標値	2件						
実績値	1件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	A	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題		大規模な千屋牛増頭を図る畜産農家を支援し、千屋牛増頭・維持に繋げるため令和5年度に創設した事業で、令和6年度は1件の牛舎整備を支援した。本支援による牛舎整備によって、46頭の増頭が見込まれる。 今後も制度の周知を図り、千屋牛の生産基盤を確立し増頭を図る必要がある。					

担当課	農業畜産振興課						
実施計画事業名	農林畜産漁業創業支援奨励金						
事業の概要	農林畜産漁業における企業参入を促進し、雇用機会の創出や6次産業化の推進を図るため、市内に加工場を整備し、5人以上の新規雇用を行った企業に対して運営支援を行います。						
事業の目標（評価指標）	交付件数						
目標値	1件						
実績値	0件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	A	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は事業展開の相談が2件あったものの、奨励金の交付には至っていない。本事業は5人以上の雇用を伴う固定資産の取得が必要であるため、事業申請に至らなかった。 しかし、要件を満たす創業には多額の投資が必要であることから、意欲的な企業への支援は重要であると考えている。今後も企業参入を促し、産業の発展と新規雇用の創出を目指して事業を継続する。						

平均②	3.2
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.2	=	平均① 2.0	× 4/5	+	平均② 3.2	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

千屋牛については、和牛飼育農家及び関係団体への支援により飼育意欲の向上を図るとともに、ブランド力向上に向けたPR活動による知名度アップを図ったことで消費が拡大している。

一方で、農家減少や飼料高騰による繁殖牛飼育頭数の減少が課題であり、増加対策として、新見市和牛改良事業補助金や千屋牛生産振興奨励金等の事業のさらなる周知を行い、畜産農家の増頭意欲を高めていく必要がある。

このうち新見市和牛改良事業補助金については、ゲノム育種価を活用した和牛の評価方法を令和5年度において新しく取り入れることで、早期に優良牛か否かが判断できるようになり、農家への補助金交付の迅速化を図った。

畜産業及び水産業全体については、引き続き、6次産業化の支援を行うことで、産業全体の競争力の維持・強化を図り、畜産農家の担い手の育成・確保や所得の向上、新規雇用の創出に向けた支援を継続していく必要がある。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	林業振興課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	③ 林業	
施策内容	資源の循環サイクルを確立し 林業の成長産業化を目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
木材出荷量	126,210m <sup>3</sup> /年	目標値	120,000	130,000	135,000	140,000	150,000
		実績値	114,380	156,622	164,152	169,395	170,106
		達成率（%）	95.3	120.5	121.6	121.0	113.4
		達成度	3	5	5	5	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
施業面積	575ha/ 年	目標値	500	550	550	600	600
		実績値	671	795	857	853	622
		達成率（%）	134.2	144.5	155.8	142.2	103.7
		達成度	5	5	5	5	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
植林面積	23ha/ 年	目標値	25	30	35	45	50
		実績値	44	33	46	48	42
		達成率（%）	176.0	110.0	131.4	106.7	84.0
		達成度	5	4	5	4	3

達成度
5：120%以上
4：100%以上 120%未満
3：80%以上 100%未満
2：50%以上 80%
1：50%未満

平均①	3.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）



### 3 実施計画事業評価

担当課	林業振興課						
実施計画事業名	地域林業担い手育成事業						
事業の概要	本市、県、市内の林業事業体等で構成する「未来へつなぐ新見の林業会議担い手対策部会」を中心に、若者や移住者等に向けた林業のPR活動や就業相談等を行い、林業の担い手を育成・確保します。						
事業の目標（評価指標）	林業就業に関する相談件数						
目標値	30件						
実績値	16件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	B	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
			※四捨五入				
事業の成果・課題	林業の担い手の確保については、未来へつなぐ新見の林業会議担い手対策部会と合同での就業相談会への参加や、にちなん中国山地林業アカデミーと連携した新見高校校外研修での林業体験研修を実施した。 また、新たに田中実業が発行しているフリーペーパー「にいみいろ」へ林業の特集ページを掲載する等、PR活動も実施した。 引き続き、令和5年度に作成したPRパンフレットやHP等を活用し、幅広い世代へ林業をPRするとともに、就業相談会等へ参加し担い手の確保・育成を図っていく。						

担当課	林業振興課						
実施計画事業名	ウッドスタート事業						
事業の概要	木育の推進を図るため、新見産材を活用した木のおもちゃを市内で製作し、1歳6ヵ月児健診時にプレゼントします。また、観光施設等の一部を木質空間として整備します。						
事業の目標（評価指標）	木のおもちゃ新見ピオーネつみきの配布数						
目標値	97個						
実績値	97個						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
			※四捨五入				
事業の成果・課題	新見産ヒノキを活用した誕生祝い品を配付し、木のおもちゃで遊んでもらうことで木の魅力を知ってもらい、木への親しみを育むとともに、千屋温泉や林業振興課窓口に新見産材を使用した木製品を導入し、木製品の魅力を発信することができた。  また、誕生祝い品として配付する新たな木のおもちゃについて、東京おもちゃ美術館と検討を開始しており、今後、具体化に向けて継続して検討を進めていく。						

担当課	林業振興課						
実施計画事業名	林業資格取得支援事業						
事業の概要	林業従事者の確保と育成を図るため、林業事業体、個人林家、木材加工業者などの林業従事者に対して、必要な技術や知識の習得に係る経費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	40件						
実績値	40件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		令和6年度は40件の補助金交付を行い、林業従事者の確保と育成を図ることができた。令和6年度から新設した事業であることから、注目度も高く、特に伐木等機械の運転の業務に係る特別教育や走行集材機械の運転の業務に係る特別教育等の申請が多かった。 新規事業であることから、引き続き、申請状況等の分析を行いつつ、制度の周知を図り、林業事業者の確保と育成に努める。					

担当課	林業振興課						
実施計画事業名	新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業						
事業の概要	新見産材の利用促進を図るため、住宅の新築及び増改築に際して、補助金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	10件						
実績値	5件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和6年度は新築5件について補助金の交付を行い、新見産材の利用促進を図ることができた。</p> <p>しかし、令和5年度実績13件からは減少している。市内事業者の新築棟は年度ごとに増減があることが要因として考えられることから、申請がなかった増改築も含めて周知を行い、さらなる新見産材の利用促進を図る。</p> <p>また、近年、建築コストが上昇し、補助金の積算と乖離が発生しているため、令和7年度から補助金額の引き上げを行うこととしている。</p>						

担当課	林業振興課					
実施計画事業名	木材生産向上支援事業					
事業の概要	森林施業等の効率化と生産性の向上を推進するため、新規購入に比べて安価な中古高性能林業機械等購入費の一部を助成します。					
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数					
目標値	10件					
実績値	15件					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	A	A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	4	
事業の成果・課題	令和6年度は目標を上回る15件の林業機械等の導入について補助金の交付を行った。 小規模事業者や、個人については、設備購入は大型投資になることから、年度ごとに交付件数に偏りがあるものの、例年同程度の件数で推移している。 引き続き、森林施業、木材加工の効率化と生産性の向上を推進するため、支援を継続していく。					

担当課	林業振興課	◆				
実施計画事業名	森林境界明確化事業					
事業の概要	「新見市森林管理用G I Sシステム」を活用し、航空画像や航空レーザー解析データ等を基に森林所有者への確認作業を行い、森林境界の明確化を行います。					
事業の目標（評価指標）	境界明確化実施率					
目標値	100%					
実績値	100%					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>大佐大井野の一部（赤松地区）においては森林境界案図の作成から同意取得まで、大佐永富・小南の一部においては森林境界案図の作成までを行い、予定していた実施面積448.37haについて明確化できた。</p> <p>令和6年度はモデル的に小規模で実施し、実施体制等の検証を行ったが、良好な結果となったことから、令和7年度からは実施規模を拡大する。</p> <p>本事業の成果を活用するためには、境界の同意取得が必要であることから、丁寧な事業説明により同意取得率の向上に努める。</p>					

平均②	3.3
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.6
-------------	-----

=

平均①
3.7

× 4/5+

平均②
3.3

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

達成目標については、おおむねの指標で目標値を上回っているが、担い手確保・育成においては、例年どおり林業に関する就職相談会へ参加したが相談件数は伸び悩んだ。

資源の循環サイクルを確立においては、再造林の更なる推進のため、令和6年度から再造林促進事業を新たに実施した結果、施業面積に対する植林面積の割合が増加しており、施策による効果が表れていると評価できる。

今後も引き続き、本市の林業振興の基本的な指針となる「新見市森林ビジョン」の着実な推進を図っていくため、林業関係者等で構成する「未来へつなぐ新見の林業会議」において、森林整備、木材利活用、担い手の確保の各種施策について、連携・協働していく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	商工観光課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	④ 鉱業・工業	
施策内容	地域経済の牽引役として 鉱工業の安定的発展を促進する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
岡山県市町村経済計算における第 2 次産業市町村内総生産の平成 2 8 年生産額を 1 0 0 とした場合の伸び率	100.0%	目標値	102	104	106	108	110
		実績値	94.8	97.2	90.2	79.1	88.2
		達成率（%）	92.9	93.5	85.1	73.2	80.2
		達成度	3	3	3	2	3

達成度
5：120%以上
4：100 %以上 120 %未満
3：80 %以上 100 %未満
2：50 %以上 80 %
1：50 %未満

平均①	3.0
-----	-----

(小数点第 2 位四捨五入)

## 3 実施計画事業評価

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	中小企業支援事業						
事業の概要	市内中小企業者に対し、展示会出展事業、店舗等改装事業、多言語化対応事業に係る経費を支援します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	15件						
実績値	19件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		令和6年度は令和5年度と同程度の交付件数となり、市内中小企業者の新たな事業展開や事業継続に一定程度寄与していると考えられる。 一方で、多言語化対応事業は申請が0件であった。申請に関する問い合わせは複数あり、今後のインバウンド需要に対応するためにも引き続き支援が必要と考えられるので、申請要件等の見直しを行う必要がある。 また、設備導入に対する補助金もニーズが見込まれるため、検討する必要がある。					

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	資格取得費支援事業						
事業の概要	専門人材の確保・育成及び定着を支援するため、地元企業に対して、資格取得に係る経費を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	140件						
実績値	148件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和6年度から林業振興課が同様の補助金を創設したため、令和5年度に比べ申請件数は減少しているが、林業事業者以外の事業者では微増している。初めて申請する事業者も増加していることから、当事業の認知度が向上しているものと考えられる。</p> <p>また、令和5年度の要綱改正により、市内事業者ニーズのある資格を対象としたことも、市内事業者から好評を得ている。</p> <p>人手不足の中で、専門人材の育成は必要不可欠であるため、今後も引き続き周知を図り、支援を継続していく。</p>						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	企業誘致推進事業						
事業の概要	市内の雇用確保や経済活性化を図るため、企業誘致活動を展開します。						
事業の目標（評価指標）	誘致企業の事業継続						
目標値	－						
実績値	－						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	公的工業団地の維持管理や誘致企業からの要望への対応、誘致企業本社へ出向いて情報交換を行うなど、本市での事業継続や関係維持に向けてフォローアップ等の活動を実施した。 企業誘致の推進にあたっては、多様な業種を確保するとともに、市内で資材調達を行うなど、市内経済の好循環につながる企業の誘致に努めながら、新たな工業団地の整備も検討することとし、実施については商工団体等関係機関と連携しながら進めていく必要がある。						

担当課	商工観光課	◆					
実施計画事業名	中小企業経営相談事業						
事業の概要	中小企業診断士会へ委託し、市内中小企業者が抱える経営課題に対し、無料で相談に応じ、解決策を見つけ、産業振興を図ります。						
事業の目標（評価指標）	相談事業者数						
目標値	2件						
実績値	0件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	D	達成度	1
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	令和6年度は申請がなかった。コロナ禍終息後の社会経済の正常化に伴う特需から、令和5年度は11件と多くの相談があったが、令和6年度は、その反動もあり相談ニーズが一時的に落ち着いたものと考えられる。 労働力の確保や生産性の向上、省力化、DXの推進など、市内事業所を取り巻く課題が多様化する中、本事業が果たす役割は大きく、引き続き、市内商工団体と連携しながら、時代の要請に応じた事業者支援を実施していく。						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	産業振興会議						
事業の概要	新見市中小企業・小規模企業振興基本条例の理念を具現化するとともに、本市の産業振興施策の検証を行うため関係機関・団体により組織された産業振興会議を開催します。						
事業の目標（評価指標）	会議に諮る事項の調査研究						
目標値	-						
実績値	-						
事業目標の達成度		事業の効率性		評価			
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	A	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は産業振興会議の開催には至らず、下部組織である幹事会（全4回）の開催のみとなった。幹事会では「農商工連携」について施策を検討しており、令和7年度も引き続き調査・検討を重ねていく予定である。 今後、早期に産業振興会議で審議できるよう、勉強会の開催等を通して施策素案の作成を進める。						

平均②	3.8
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.2
-------------	-----

$$= \frac{\text{平均①}}{3.0} \times 4/5 + \frac{\text{平均②}}{3.8} \times 1/5$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度は、各補助金とも昨年同等の申請件数となった。一方で、申請件数が伸びない事業もあるが、今後も支援が必要であることから、申請要件等の改正に取り組みながら、市内事業者に対する周知を強化していく。

更なる市内経済の活性化を図るために、産業振興施策を産業振興会議に諮るとともに市内経済の好循環につながる企業の誘致や新たな工業団地整備を検討していく。また、経営相談事業の積極的な活用を促進して経営の立て直しを支援するなど、市内事業所が必要とする施策を展開していく必要がある。



## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	商工観光課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	⑤ 商業・サービス業	
施策内容	魅力向上と創業・事業承継で 持続的発展を促進する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
創業件数	8件/ 年	目標値	8	8	9	9	10
		実績値	7	8	7	9	10
		達成率（%）	87.5	100.0	77.8	100.0	100
		達成度	3	4	2	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
岡山市町村民経済計算における第3次産業市町村内総生産の平成28年生産額を100とした場合の伸び率	100.0%	目標値	102	104	106	108	110
		実績値	97.2	101.6	99.6	96.8	92.5
		達成率（%）	95.3	97.7	94	89.6	84.1
		達成度	3	3	3	3	3

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	3.5
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	商工観光課	◆					
実施計画事業名	経営革新支援事業						
事業の概要	中小企業の経営向上を図るため、県の承認を受けた「経営革新計画」に基づき取り組む新たな事業活動に要する経費の一部を支援します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	3件						
実績値	4件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A	達成度	5	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和6年度は令和5年度と比較して、申請件数が増加した。本市の他の補助金と比較して金額が大きいことと、設備投資経費に対する補助金他に乏しいことから、積極的に新規事業を開拓したい中小企業者にとって大きな支援となっている。 一方で、申請するまでに時間と労力がかかるのが課題となっているため、引き続き、より申請しやすい補助金制度について検討する。						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	商工業振興事業						
事業の概要	中小企業・小規模企業の振興を図るため、県から新見商工会議所、阿哲商工会に交付される小規模企業の経営または技術の改善発達に向けた補助金に、上乘せ補助を行います。						
事業の目標（評価指標）	商工団体の運営維持						
目標値	-						
実績値	-						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A		達成度	5
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	市内事業者の支援を担っている両団体に補助金を交付し支援した。両団体を通じて市内事業者を支援し産業振興を図る観点から、今後も支援していく必要がある。						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	創業・事業承継支援事業						
事業の概要	地域における創業促進のため、創業支援セミナーを開催します。また、市内で新たに創業する人や事業承継する人に対し、創業・事業承継支援事業補助金（上限１００万円）を交付します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	9件						
実績値	10件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和６年度は補助金交付件数が微増した。補助率が比較的高いことから創業・事業承継のハードルを下げ、市内商業の活性化に寄与していると考えられる。今後は年齢制限などの要件を緩和し、より利用しやすい制度に改正していく。</p> <p>創業支援セミナーは、開催方法を見直し、試験的に毎週金曜夜の４回開催として実施したところ、６名の参加があり、参加者からも参加しやすいと好評だった。</p> <p>引き続き、セミナーの周知に努め、創業者の支援に取り組んでいく。</p>						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	融資・利子補給・保証料補助事業						
事業の概要	中小企業・小規模企業を支援するため、融資に係る利子補給、信用保証料に対する補助、保証協会・金融機関に対する利子補給等を実施します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	90件						
実績値	91件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>本市の小口融資、公的融資制度を利用した事業主に対し、融資に係る利子補給、信用保証料に対する補助を行い中小企業・小規模企業を支援した。</p> <p>交付対象となる事業者に対し、金融機関を通じて案内を行うことで、申請を促すことができた。</p> <p>設備投資などを行う事業者を支援することで市内経済の活性化を図っていく。</p>						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	オリジナル I C O C A による地域活性化事業						
事業の概要	I C O C A の利用促進を図るため、啓発活動やポイント還元キャンペーンを実施するほか、更なる利便性の向上のためモバイル I C O C A への乗換を推進します。						
事業の目標（評価指標）	新見市オリジナル I C O C A 利用額						
目標値	25億円						
実績値	6億円						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	A	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>「新見市オリジナル I C O C A」の利用を促進するため、令和 6 年度は、ポイント還元キャンペーンでのポイント付与事業を 2 回、物価高騰対策としてのポイント付与事業を 1 回実施した。また、年度を通して、モバイル I C O C A 乗り換え者に対するポイント付与事業、市内事業所へ新たに就職した方に対する就職奨励ポイント付与事業を実施するとともに、啓発活動として、I C O C A の利用方法などを説明する出前講座を 7 回実施した。</p> <p>付与したポイントで約 2 億円、電子マネーで約 4 億円が市内登録加盟店で利用されており、市内消費の喚起による経済の活性化に一定の効果があった。</p> <p>しかしながら、目標とする利用額には届いていないことから、更なる利用の定着を図るため、全庁を挙げて様々な施策での活用を検討するとともに、利用できる登録加盟店の増加や、地域団体や事業者によるポイント付与システムの構築に努める。</p>						

平均②	4.4
-----	-----

(小数点第 2 位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.7
-------------	-----

$$= \frac{\text{平均①}}{3.5} \times 4/5 + \frac{\text{平均②}}{4.4} \times 1/5$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度は各補助金ともに、申請件数が令和5年度を上回り、周知が進んでいると思われる。補助内容についても見直しを行い、要綱改正を進めている。どちらの補助金制度も新見商工会議所・阿哲商工会による支援と協力は不可欠であり、今後も両団体への支援と協力体制の維持・発展を図る必要がある。

また、新見市オリジナルI C O C Aによる地域活性化事業については、モバイル版への移行により利便性を高めつつ、新規利用者の増加や利用促進のためのキャンペーンを定期的に行い、市内消費の喚起による経済循環の活性化に取り組んだ。

今後も利用促進を進めるとともに、経済循環の活性化に向けて、加盟店を増やす取組や地域運営組織でのポイント付与についても検討していく。

## 令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

1 評価施策名	担当課	商工観光課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	⑥ 観光	
施策内容	観光資源を磨き、交流を促進し にぎわいを創出する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要観光施設入場者数	27.3万人/年	目標値	29.0	30.8	32.5	34.3	36.0
		実績値	16.6	21.0	30.1	30.1	36.7
		達成率（%）	57.2	68.2	92.6	87.8	101.9
		達成度	2	2	3	3	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
観光客アンケート満足度	79.1%	目標値	79.9	80.7	81.4	82.2	83.0
		実績値	91.6	84.2	84.9	85.0	84.6
		達成率（%）	114.6	104.3	104.3	103.4	101.9
		達成度	4	4	4	4	4

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	4.0
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	観光 P R 事業						
事業の概要	マスコットキャラクターに一みんグッズの活用や、ふるさと観光大使を活用した関西圏への情報発信など、都市圏に向けて本市の観光資源を効果的に P R します。						
事業の目標（評価指標）	県外での観光PR実施回数						
目標値	15回						
実績値	13回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B		達成度	3
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	本市の観光誘客の主要エリアである関西圏を中心に、イベント出展や広告などを活用した情報発信を行った。また、インバウンド（外国人旅行者）需要を取り込むため、台湾高雄市において観光 P R を実施した。 引き続き、本市の認知度向上や観光誘客を図るため、マスコットキャラクターやふるさと大使などを活用し、効果的な P R に取り組む。						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	周遊型観光ツアー助成事業						
事業の概要	本市の観光施設等の観覧を目的とした企画旅行を実施した旅行業者に対して、送客実績に応じて補助金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	観光客アンケート満足度						
目標値	83.0%						
実績値	84.6%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>本事業を活用したツアー数は137（前年比16%増）、参加者は約5,800人（前年比5.5%増）であった。本事業は継続して実施していることから、旅行事業者にも広く認知されており、毎年ツアーを企画する事業者も多い。また、ツアー参加者の満足度も高く、市内の観光施設及び飲食施設の活性化にもつながっていることから、引き続き実施する必要がある。</p> <p>一方で、毎年繁忙期（6月～10月）にツアーが集中する傾向にあることから、令和7年度は閑散期（11月～3月）を助成対象期間とし、本市を訪れる観光客の分散化を図っていく。</p>						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	観光戦略マネージャー活用事業						
事業の概要	専門的な知識やノウハウを有する民間企業の社員を受け入れ、観光協会の体制強化を図るとともに、市内外の観光関連事業者等との連携強化や新たな観光商品の開発等を行います。						
事業の目標（評価指標）	主要観光施設入場者数						
目標値	36.0万人						
実績値	36.7万人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B		達成度	4
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	観光戦略マネージャーは、旅行会社への積極的な情報発信や営業活動、本市の特色ある食を活かした新たな体験ツアーの造成などに取り組んだ。また、高梁市や真庭市など他自治体との連携や、インバウンド対策に取り組むなど、本市の観光施策の推進に大いに寄与している。 委嘱から3年が経過し、令和7年度は観光協会への常駐は取りやめるが、観光戦略マネージャーは継続して委嘱することから、引き続き連携を図りながら、観光施策の充実に取り組む必要がある。						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	美容体験型観光コンテンツ造成事業						
事業の概要	本市の観光資源である食や自然がもたらす美容効果を実証し、「美容」をキーワードにした新たな観光コンテンツを造成します。						
事業の目標（評価指標）	美容効果があると実証された観光資源						
目標値	3種類						
実績値	3種類						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
			※四捨五入				
事業の成果・課題	既に、美容効果が実証されていた「千屋温泉いぶきの里」の泉質のほかに、「千屋牛」、「満奇洞」、「ピオーネ」の美容成分を分析した結果、全てにおいて美容効果が得られることが判明した。今後は得られた成果をもとに、本市の観光コンテンツとして情報発信を行うほか、美容をテーマとしたツアー造成などに取り組む必要がある。						



担当課	商工観光課	◆					
実施計画事業名	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」関連事業						
事業の概要	令和6年度に開催される「森の芸術祭 晴れの国・岡山」に合わせ、本市への観光誘客を促進するため、広報の実施や本市の文化・芸術資源を活かした新たなツアー造成などを行います。						
事業の目標（評価指標）	主要観光施設入場者数						
目標値	36.0万人						
実績値	36.7万人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度	4		
B (2.0) 80%以上できた				+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた							
D (0.5) 60%未満しかできなかった				※四捨五入			
事業の成果・課題	<p>岡山県北12市町村を舞台に国際芸術祭が初めて開催された。本市には4会場に作品が展示され、期間中、満奇洞は前年比4倍、井倉洞は2倍の来場者数となった。</p> <p>本市では交通アクセス向上のため、新見駅と作品展示会場を結ぶシャトルバスの運行や、芸術作品と市内観光施設を巡るとともに、千屋牛など特産品を使用した食事を提供するツアーを実施するなど、受入体制を整備した。また、ＪＲ大阪環状線の車輛を使用した大規模な広告や、ＳＮＳアカウントの開設など、各種媒体による情報発信に積極的に取り組んだ。</p> <p>多くの来場者があった一方、作品展示会場以外の市内観光地や飲食店等への波及効果はあまり見られなかったことから、次回（令和9年度）開催に向けて、関係者等と連携しながら対策を検討していく。</p>						

平均②	3.8
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.0
-------------	-----

=

平均①
4.0

× 4/5+

平均②
3.8

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度は森の芸術祭の開催や冬季積雪の好影響により、年間を通じて本市観光施設に多くの観光客が訪れ、前年比1.2倍の入場者数となった。引き続き、観光誘客に向け、市外を中心とした積極的な情報発信や、周遊ツアー助成の実施、魅力ある観光コンテンツづくりに取り組む。

また、近年増加しているインバウンドや個人旅行者に向けた施策を、近隣自治体と連携して取り組み、エリア全体での観光誘客を図っていく。

さらに、老朽化が見られる施設については、計画的な改修更新を行い、魅力的な観光施設の整備に努めていく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	移住・定住推進課・商工観光課・福祉課
政策区分	1 産業・経済	
施策項目	⑦ 雇用・労働	
施策内容	魅力ある雇用と労働を生み 市内就職者の増加を目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
就職を希望する市内 高校新卒者における 市内就職率	38.9%	目標値	39.2	39.4	39.6	39.8	40
		実績値	41.8	33.9	31.1	35.9	48.8
		達成率（%）	106.6	86.0	78.5	90.2	122
		達成度	4	3	2	3	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
I J U ターン就職奨励金交 付件数 （R6は、移住定住奨励ポイ ントの交付件数（IJUターン 者分））	48件/ 年	目標値	49	50	50	50	50
		実績値	50	66	61	57	86
		達成率（%）	102.0	132.0	122.0	114.0	172.0
		達成度	4	5	5	4	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
創業件数	8件/ 年	目標値	8	8	9	9	10
		実績値	7	8	7	9	10
		達成率（%）	87.5	100.0	77.8	100.00	100
		達成度	3	4	2	4	4

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	4.7
（小数点第 2 位四捨五入）	

### 3 実施計画事業評価

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	ＩＪＵターン就職支援事業						
事業の概要	小規模な事業所の求人情報などの収集や、就職を希望する市外在住者の情報を集める地域密着型の相談窓口を開設し、本市独自の就職支援を行います。						
事業の目標（評価指標）	就職支援者数						
目標値	10件						
実績値	10件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和6年度の就職支援者数は、令和5年度と比較して3件増加した。相談件数も大幅に増加しており、市内各地への訪問活動による情報収集や、就職フェアでの相談窓口の設置、市内高校へのチラシ配布など、就職相談窓口を周知するために積極的に広報活動を行った結果と考えられる。</p> <p>市内事業所の人手不足を解消するためにも、求職者と求人者をつなげていくことが必要であり、就職相談員の果たす役割は重要であることから、引き続きハローワーク等関係機関と連携し、情報収集を重ね、就職支援活動を強化していく。また、相談員の後任の選定についても、検討を続ける。</p>						

担当課	商工観光課		◆				
実施計画事業名	市内高等学校での市内企業PR事業						
事業の概要	就職を理由とした高校卒業時の市外流出が続いていることから、市内企業への関心を高め、就職への意識向上を図ることを目的として、市内高等学校での企業説明会を実施します。						
事業の目標（評価指標）	生徒アンケートで「（市内企業に対して）興味・関心がわいた」と回答した割合						
目標値	60.0%						
実績値	63.2%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>市内高等学校と連携し、令和6年度に初めて、新見高校（20社）・共生高校（10社）で進路学習会を開催した。生徒からは「市内企業で働く具体的なイメージがわいた」といった声や、参加した企業からも「高校生と直接対話することで、企業PRだけでなく高校生の考え方を知ることができた」など好評を得られ、高校生の市内企業への関心を高める一助になったと考えられる。</p> <p>令和7年度は、開催時期や開催方式についても改良を重ね、高校生の市内就職率の向上を目指す。</p>						

担当課	商工観光課						
実施計画事業名	市内就職奨励事業						
事業の概要	地域雇用の拡大や労働力の確保に向け、市内事業所に就職した新規学卒者及びＩＪＵターン者に、奨励金として最大３０万円分の一みんポイントを付与します。（１年ごとに１０万円分支給し、最長３年。奨励金の支給は令和７年度から。）						
事業の目標（評価指標）	受給資格認定件数						
目標値	95件						
実績値	87件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	A	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>雇用開始から最長３年間、１年経過ごとに10万円分の一みんポイントを交付することとして、令和６年度はＩＪＵターン者70人、新規学卒者17人の計87人に受給資格を認定した。ポイント交付は令和７年度から実施する予定である。</p> <p>また、認定者のうち市内高等学校等の新規学卒者には、就業した年度に10万円分の加算ポイントを交付することとしており、令和６年度は10人に対して交付した。</p> <p>本事業を通じて、市内事業所への就職支援を行うことで、地域の雇用拡大や労働力確保に貢献することができた。</p> <p>実績の中で市内高等学校等の新規学卒者の認定件数が少なかったことから、今後、市内高校での進路学習会等も活用し、市内高校等へ本制度について周知を図っていく必要がある。</p>						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	就職支援事業（東京圏分）						
事業の概要	就職支援事業で東京圏から転入し市内事業所へ就労する人に対して、転居に要する費用等の支援金を交付します。（単身世帯：60万円、2人以上の世帯員がいる場合：100万円）						
事業の目標（評価指標）	支援金交付件数						
目標値	1件						
実績値	0件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	D		達成度	1
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和6年度は1件対象となる案件があったが、就職直後に退職したため、申請に至らなかった。</p> <p>本事業は、居住や就職条件、テレワークに係る就労条件など、国が定める要件のハードルが高く、相談は年に数件あるものの申請に結びつきにくい状況にある。</p> <p>上記理由により、申請数が少ない状況が続いていることから、事業の廃止も検討する。</p>						

担当課	福祉課						
実施計画事業名	障害者就労移行支援事業						
事業の概要	就労を希望する障がい者に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。						
事業の目標（評価指標）	障害者就労移行支援事業の利用者数						
目標値	5人						
実績値	5人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A	達成度	5	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題			障がいのある方が就労に向けたトレーニングを行い、働くために必要な知識やスキルを習得し、就職（復職）後も職場に定着できるよう支援をする就労移行支援事業は、5人の利用決定を行い、このうち4人が一般企業に就職し、現在も就労定着のための支援を継続的に行っている。				
		引き続き、就労を希望する人が適正に応じた職場を選択し、継続的に就労できるよう支援を行う必要がある。					

平均②	4.0
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.6
-------------	-----

=

平均①
4.7

× 4/5+

平均②
4.0

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

本市の有効求人倍率は高い水準で推移しており、市内事業所の人手不足は深刻化している状況である。このような中、日々の情報収集や就職相談に応じるＩＪＵターン就職相談員の果たす役割は重要であり、引き続き、求職者と求人者をつなげる活動を実施していく必要がある。

新たに実施した、市内高等学校での市内企業による進路学習会は、高校生が市内企業について広く理解し、自身の進路選択に活かしてもらうことを目的に実施しているもので、市内企業への関心を高める有効な事業であることから、今後も引き続き実施していく。

就職支援事業（東京圏分）は、国の定める要件のハードルが高いことから、申請数が少なく、事業の効果が低い状況にある。金額面では低くなるが、移住定住奨励ポイントや市内就職奨励ポイントといった本市独自の支援制度もあることから、事業の廃止も検討する。

障がい者の就労に関しては、就労移行支援事業を利用して知識の習得や訓練、求職に関する相談支援等を行い、個人の適性に応じた職場へ4人が就労を決めることができた。就労後も継続的に支援を行うことにより、就労定着が図られている。

しかし依然として、障がい者の求人は少なく、就労職種も限られている状況であり、今後も引き続き、関係機関と連携し企業への障がい者雇用の拡大に向けた働きかけを行う必要がある。





## 2 健康・福祉

## 令和7年度 第3次新見市総合計画 政策評価シート（令和6年度実績）

## 1 政策内容

担当部

市民生活部・健康福祉部

2 健康・福祉	健やかに暮らせ、子育てができるまちをつくる
---------	-----------------------

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
2-①	健康・保健	自ら健康づくりに取り組み 生涯健康で暮らせるまちを実現する	3.2
2-②	医療	医療資源の確保を図り 安定した医療を提供する	3.3
2-③	児童福祉	ゆとりある子育てができ 子どもが健やかに育つまちの実現	3.2
2-④	高齢者福祉	高齢者が生きがいを実感でき 地域全体で支えるまちを目指す	2.9
2-⑤	障がい者（児）福祉	障がいのある人が自立し 安心して暮らせるまちを実現する	3.6
2-⑥	地域福祉	必要な人に必要なサービスが届く 安心して生活できるまちを目指す	2.9
達成レベル平均			3.2

（小数点第2位四捨五入）

## 3 総合評価

	評価
<p>健康・福祉分野については、目標達成には至らなかった事業もあるが、事業を着実に遂行し、おおむね成果を得ることができた。</p> <p>全国的な人口減少が続く中、看護、福祉、介護現場については慢性的な人材不足が生じている状況であり、定着奨励金制度などの導入により一定の効果があったものの今後課題を残している。</p> <p>また、地域での福祉に係る活動をしていない人の割合が約70%であり、目標値の50%には遠く、地域社会における人と人のつながりやコミュニティが希薄になってきていることが伺えた。</p> <p>そういった中、地域福祉に関する課題は山積みであるが、令和7年度から「新見市地域共生社会推進本部」を立ち上げ、各課横断的に健康福祉のまちづくりに向け包括的に施策を展開していく。</p>	3.2

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	市民課・健康医療課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	① 健康・保健	
施策内容	自ら健康づくりに取り組み 生涯健康で暮らせるまちを実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定健診受診率	37.1%	目標値	40.0	38.0	39.0	40.0	41.0
		実績値	34.1	36.3	46.6	42.6	44.2
		達成率（%）	85.3	95.5	119.5	106.5	107.8
		達成度	3	3	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定健診受診者の運動習慣割合	36.2%	目標値	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0
		実績値	35.0	34.8	36.7	36.9	38.3
		達成率（%）	92.1	89.2	91.8	90.00	91.2
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
ゲートキーパー養成講座修了者数（通算）	100人	目標値	115	130	145	160	175
		実績値	100	123	123	136	156
		達成率（%）	87.0	94.6	84.8	85.0	89.1
		達成度	3	3	3	3	3

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	3.3
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	不妊・不育対策支援事業						
事業の概要	医療保険対象外の不妊治療及び不育治療を受けた夫婦に対して、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を行います。						
事業の目標（評価指標）	助成金を必要とする夫婦が制度を利用できる						
目標値	-						
実績値	-						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		不妊治療について、4件の申請があったが妊娠にはいたらなかった。不妊・不育治療は、経済的負担が大きく、要望もあるため、今後も継続的に支援していく必要がある。 また、令和7年度から、保険適応の不妊治療に対して県が助成を開始しているため、本市においても、保険適応に対する不妊治療助成制度を創設する。					

担当課	健康医療課	◆					
実施計画事業名	乳児・妊産婦個別健康診査無料化事業						
事業の概要	乳児及び妊婦の疾病・異常の早期発見、早期対応を図るため、一般健康診査の費用を助成するとともに、産後うつ等の早期発見・早期支援につなげるため、産婦健診の費用を助成します。						
事業の目標（評価指標）	妊産婦一般健康診査無料券受診率						
目標値	95%（乳児・妊婦・産婦）						
実績値	乳児 60.8% 妊婦 71.6% 産婦 75.7%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	妊娠届出時の面談、赤ちゃん訪問、乳児健診等で対象者全員に制度の周知を行い、未受診者については、受診勧奨を行うなど、乳児及び妊婦の受診の促進に努めた。受診率は令和5年度と比較し増加傾向にあるため、引き続き適切な時期に健診を受診し、安全に出産できるよう、受診勧奨をしていく必要がある。						

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	妊娠・出産包括支援事業						
事業の概要	妊娠期から子育て期にわたり、地域で安心して子育てができる環境づくりのため、母子保健コーディネーターの配置、母乳・育児相談、産後ケア入院、産後ヘルパー訪問などを実施します。						
事業の目標（評価指標）	産後ケア事業（短期入所、母乳育児相談）、産後ヘルパー訪問の利用者数						
目標値	40人						
実績値	25人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度から、低所得妊婦の受診料助成や産後ケア事業利用促進のため市外の医療機関を利用できるようにするなど、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援体制の充実を図った。産後ケア事業については、利用を望む声が多いため、対象者に幅広く事業を周知し利用者増に努めるほか、サービス内容を追加、利用助成額の上限を引き上げるなど、安心して妊娠・出産ができる切れ目のない支援体制の充実を図る。						

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	生き生き健康アップ支援事業						
事業の概要	市民を対象として、健康増進施設の専門の指導者による健康教室を行うことにより、市民自らが健康を維持増進するための運動習慣を身につけ、元気で豊かな生活を送ることができるよう支援します。						
事業の目標（評価指標）	参加者数						
目標値	200人						
実績値	179人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	げんき広場にいみにおいて、年2回（前期・後期）各5コースの健康教室を開催した。市報やSNSによる広報に努め、参加者が前年度（163人）より増加した。定期的に教室を開催することにより、市民の運動機会増加の一助となっている。 今後も市民の健康寿命延伸を目指すため、運動習慣の定着が図れるよう、施設利用を含めた啓発活動を行っていく必要がある。						

担当課	市民課						
実施計画事業名	特定健康診査等事業						
事業の概要	メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施し、リスクが高いと判定された者に特定保健指導を実施します。						
事業の目標（評価指標）	特定健診受診率						
目標値	41.0%						
実績値	44.2%						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度特定健診受診率は、令和5年度より1.6ポイント増加した。 理由としては、健診受診の必要性を伝えるとともに、受診勧奨対策の参考とするため、往復はがきを使用し未受診理由等を把握したり、勧奨はがきに受診番号を記載して、受診券を紛失した場合でも、はがきを持参すれば受診できるよう受診勧奨通知を工夫したことが挙げられる。 また、未受診患者について、本人の同意のもと医療機関から市へ検査データを提供することで、受診者とみなすことができる岡山県特定健診情報提供事業の利用が増加していることも理由の一つと考えられる。						

平均②	2.8
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.2	=	<table border="1"><tr><td>平均①</td></tr><tr><td>3.3</td></tr></table> × 4/5	平均①	3.3	+	<table border="1"><tr><td>平均②</td></tr><tr><td>2.8</td></tr></table> × 1/5	平均②	2.8
平均①									
3.3									
平均②									
2.8									

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度から、産後ケア事業を利用できる産科医療機関等を増やし、低所得妊婦に対しては初回受診料の助成を行うなど、安心して出産・育児ができるよう支援体制整備を行った。また、乳児・妊産婦健康診査、不妊・不育対策支援などを継続して行い、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを進めることができた。加えて令和7年度からは、妊娠・出産応援事業により妊婦・産婦ケアの充実を図っていく。

特定健診の受診率は、未受診者への受診勧奨等により目標値を上回ることができており、特定検診受診者の運動習慣定着にもつながっている。また、健康寿命延伸を目指すために市民自らが運動習慣を身に着けることができるよう、生き生き健康アップ支援事業や健康増進施設利用促進を継続していく必要がある。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	市民課・健康医療課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	② 医療	
施策内容	医療資源の確保を図り 安定した医療を提供する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市民 1 人当たり医療費を県平均と比較した割合	110.3%	目標値	108.0	106.0	104.0	102.0	100.0
		実績値	106.9	114.7	111.4	107.8	115.0
		達成率（%）	101.0	92.4	93.4	94.6	87.0
		達成度	4	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
公立診療所数	11か所	目標値	11	11	11	11	11
		実績値	11	11	11	11	11
		達成率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成度	4	4	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
看護学生奨学支援金を受給・就業した人（通算）	17人	目標値	23	28	32	34	40
		実績値	21	24	30	32	36
		達成率（%）	91.3	85.7	93.8	94.1	90.0
		達成度	3	3	3	3	3

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.3
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）



### 3 実施計画事業評価

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	岡山大学寄付講座（岡山県北西部（新見）総合診療医学講座）						
事業の概要	地域医療を担う若手医師の育成や教育・研究などに取り組んでいる岡山大学から医師の派遣を受け、へき地診療所に地域医療を担う人材を確保します。						
事業の目標（評価指標）	へき地診療所における診療日数						
目標値	99日						
実績値	97日						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	A	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	湯川診療所など3診療所に岡山大学から医師の派遣を受け、地域医療における医師の育成やへき地医療の向上を目的とした研究とともに診療活動を行っており、地域住民の健康不安の解消にも寄与している。 本事業が契機となり、市内医療機関の医師確保にもつながっており、医師不足解消に向けた一助となっていることから、引き続き取り組んでいく。						

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	診療所管理運営事業						
事業の概要	国民健康保険直営診療施設 4 診療所（湯川、菅生、神代、新郷）の管理運営を行います。						
事業の目標（評価指標）	4 診療所における診療日数						
目標値	443日						
実績値	439日						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B		達成度	3
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題			湯川、神代及び新郷診療所は、直接雇用する医師に加え、岡山大学寄付講座及び渡辺病院からの医師派遣により、菅生診療所は大佐診療所の医師に委託し診療体制を確保している。				
		周辺部の地域医療を支えるため、市が設置する診療所は必要であることから、引き続き診療体制を維持できるよう医師・看護師等の確保に努めていく必要がある。					

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	看護学生奨学支援金給付事業						
事業の概要	市内の医療機関に看護師として勤務する意思がある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。						
事業の目標（評価指標）	看護学生奨学支援金を受給・就業した人数（通算）						
目標値	40人						
実績値	36人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	B		A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B		達成度 + 効率性 ※四捨五入	3
事業の成果・課題	毎年、本制度を利用した卒業生が市内医療機関に就職しており、看護師確保につながっている。 近年、就職先の制限を受ける奨学金制度は敬遠される傾向にあり、新規受給者の応募が低調ではあるが、看護師定着奨励金給付事業とともに看護師確保事業として制度を維持していく。						

担当課	健康医療課	◆					
実施計画事業名	看護師定着奨励金給付事業						
事業の概要	看護師確保のため、市内医療機関へ就職した45歳未満の人に対し、定着奨励金として最大50万円を支給します。（1年ごとに10万円支給し、最長5年。奨励金の支給は令和7年度から。）						
事業の目標（評価指標）	奨励金受給者の認定人数						
目標値	8人						
実績値	6人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	A	達成度	3	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和6年度から新たに制度を創設し、初年度の認定人数は6人だった。一定の成果はあったものの、市内の看護師不足・高年齢化は引き続きの課題であることから、看護学生奨学支援金制度とともに積極的な事業周知を図り、引き続き看護師の人材確保に努めていく必要がある。						

担当課	健康医療課						
実施計画事業名	にいみ 2 4 時間安全安心相談ダイヤル事業						
事業の概要	市民の健康、医療、介護、育児等の相談について、医師、保健師、看護師などの専門スタッフに無料で電話相談できるサービスを、2 4 時間年中無休で実施します。						
事業の目標（評価指標）	相談件数						
目標値	－						
実績値	455件						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		24時間体制の継続により、年間を通して多くの相談が寄せられており、市民に安心を提供できている。一定の相談件数を維持していることから、市民のニーズも高いと考えられるため、引き続き当該事業を継続するとともに、丁寧な周知を行う必要がある。					

担当課	市民課						
実施計画事業名	医療費抑制対策事業（健診助成事業）						
事業の概要	国保被保険者の若い世代（２０歳～４９歳）の健診受診の契機とするため、健診の無料化を実施します。						
事業の目標（評価指標）	市民1人当たり医療費を県平均と比較した割合						
目標値	100.0						
実績値	115.0						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A（3.0） B（2.0） C（1.0） D（0.5）	100%以上できた 80%以上できた 60%以上できた 60%未満しかできなかった	B	A（1.5） B（1.0） C（0.5） D（0.2）	高い やや高い やや低い 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	3
事業の成果・課題		20～39歳の健康診査受診率は14.4%（54人/376人）、40～49歳の特定健診受診率は13.7%（43人/315人）とわずかに増加した。また、20～30歳代の受診者のうち、脂質異常や肝機能異常により医療機関への受診が必要と判断された対象者4名に対しては受診勧奨を行った。健診受診後に継続して受診している者も見受けられ、健診の無料化が健診受診の定着に寄与していると思われる。  一方、実績値の推移については、本指標は年齢構成による影響が大きく、他市と比較して年齢構成が高い本市では医療費が大きくなってしまいう傾向にある。  早期治療、重症化予防等により医療費の抑制を推進するため、引き続き受診勧奨に努める。					

平均②	3.5
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.3	=	<table border="1"><tr><td>平均①</td></tr><tr><td>3.3</td></tr></table> × 4/5	平均①	3.3	+	<table border="1"><tr><td>平均②</td></tr><tr><td>3.5</td></tr></table> × 1/5	平均②	3.5
平均①									
3.3									
平均②									
3.5									

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

全国的な人口減少、人材不足などの課題がある中、市民が安心して暮らしていくための、安定した医療提供体制を維持できている。

課題である看護師確保については、過去2年間看護学生奨学支援金の新規応募が無くニーズとのミスマッチも考えられる。このことを受け、令和6年度に看護師定着奨励金制度を導入したところであり、今後の申請状況等を分析した上で、看護師確保策として効果的な施策を検討する必要がある。

また、健康の保持増進や医療費の抑制に寄与する健康診査受診率はわずかながら上昇しており、今後もSNS等を活用した受診勧奨を実施し健診受診の定着を図るとともに、引き続き疾病の重症化予防、運動習慣の定着、特定保健指導の利用を促進していく必要がある。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	子育て支援課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	③ 児童福祉	
施策内容	ゆとりある子育てができ 子どもが健やかに育つまちの実現	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
待機児童数	0人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0
		達成率（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成度	4	4	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
子育て広場延べ利用者数	14,148人/年	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績値	9,831	9,946	8,038	10,250	9,980
		達成率（％）	70.2	71.0	57.4	73.2	71.3
		達成度	2	2	2	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
本市で今後も子育てをしていきたい保護者の割合	92.3%	目標値	93	93.5	94	94.5	95
		実績値	93.1	94.0	94.8	93.3	90.1
		達成率（％）	100.1	100.5	100.9	98.7	94.8
		達成度	4	4	4	3	3

達成度 5：120％以上 4：100％以上 120％未満 3：80％以上 100％未満 2：50％以上 80％ 1：50％未満
--

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	子育て支援課	◆					
実施計画事業名	保育所等ＩＣＴ化推進事業						
事業の概要	保育業務支援システムの活用により、保護者の利便性の向上や保育士業務の負担軽減を図り、より良い教育・保育の環境づくりを目指します。						
事業の目標（評価指標）	コドモン利用における保護者の満足度						
目標値	70%						
実績値	72%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A（3.0）	100%以上できた	A	A（1.5）	高い	A	達成度	5
B（2.0）	80%以上できた		B（1.0）	やや高い		+ 効率性	
C（1.0）	60%以上できた		C（0.5）	やや低い			
D（0.5）	60%未満しかできなかった		D（0.2）	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	保育業務支援システム「コドモン」において、お知らせ一斉配信や連絡帳機能により、写真や動画で日々の子どもの様子を伝えることができるため、園と保護者の円滑なコミュニケーションツールとなっている。 引き続き運用を行い、ＩＣＴによる保育サービスの充実を推進する。						

担当課	子育て支援課						
実施計画事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
事業の概要	地域で子育てに関わる環境づくりを推進するため、「にいみ子育てカレッジ」にアドバイザーを配置し、子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人のマッチング等を行います。						
事業の目標（評価指標）	年間利用人数						
目標値	48人						
実績値	93人						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は令和5年度と同様に送迎の件数が多く、託児についても依頼会員の自宅や子育て広場で行うなど、幅広いニーズに柔軟に对应している。その結果、リピーターの増加や新規依頼につながり、目標を大きく上回ることができた。 今後も引き続き利用者のニーズに柔軟に対応し、子育てしやすい環境整備に努める。						

担当課	子育て支援課						
実施計画事業名	子育て支援医療費給付事業						
事業の概要	子育て環境の充実のため、本市独自の取組として18歳まで医療費自己負担分の全額を給付します。						
事業の目標（評価指標）	新規受給資格者への発行率						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>出産・転入時に案内を行うことにより、全対象者へ受給資格者証を発行することができており、子育て家庭の経済的負担の軽減につながっている。また、「小児緊急医療電話相談」など、ほかの制度説明を受給資格者証発行時に行い、本事業以外の子どもの健康に関する制度を周知することができた。</p> <p>県外医療機関の受診、補装具を購入した場合などは、一旦医療費を自己負担し、領収書等の書類を添付した申請書の提出が必要となるため、周知を徹底し、医療費が給付できない事例が生じないように努める。</p>						

担当課	子育て支援課						
実施計画事業名	地域子育て支援拠点事業						
事業の概要	にこみ子育てカレッジ交流ひろば「にこたん」に子育て支援センターを併設し、子育て中の親子交流の促進や子育て相談、情報提供を行います。また、4支局に子育て広場を設置し、親子の交流の場を提供します。						
事業の目標（評価指標）	子育て広場延べ利用者数						
目標値	14,000人						
実績値	9,980人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度はアウトリーチ活動に力を入れ、図書館や各公民館、新見市駅前サテライトで出張ひろばを15回開催した。子育て中の親子の居住地近くに出向くことで、これまでにこたんを利用しづらいと感じていた親子の新規参加につながった。 少子化等の要因により利用者数が減少しているものの、今後もアウトリーチ活動により、子育て広場と地域とをつなげ、親子が利用しやすい広場づくりに努める。						

担当課	子育て支援課						
実施計画事業名	地域子育て支援活動事業						
事業の概要	地域における親子の交流活動や地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりを促進するため、子育て中の親子の団体に対して、運営費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助金申請団体数						
目標値	6団体						
実績値	3団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	令和6年度は、現在市内に存在する全幼児クラブ（3団体）へ補助金を交付し、運営を支援したが、新たな団体は設立されず、目標値に達しなかった。 新規団体が増えないことから、今年度は保護者ニーズがどこにあるかを見極め、補助金の見直しをする必要がある。						

平均②	3.8
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.2	=	平均①	3.0	× 4/5	+	平均②	3.8	× 1/5
-------------	-----	---	-----	-----	-------	---	-----	-----	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

保育業務支援システム「コドモン」の導入から2年が経過し、順調に稼働しており、保護者等の満足度も昨年度に引き続き目標値を超えている。今後も更なる保育サービスの充実に努める。また、ファミリー・サポート・センター事業についても多様化するニーズに応え、利用者数の増加につながっており、子育ての一助を担っている。地域子育て支援拠点事業については、少子化、保育所等への低年齢からの入園などにより利用者が減少しているが、各地に出向いていく出張にこたんや各子育て広場ともそれぞれ工夫を凝らし、利用者増加に向けて展開している。「本市で今後も子育てをしていきたい保護者の割合」が減少してきているため、子どもが健やかに育つまちの実現に向けて、より子育てしやすい環境づくりに努めていく。



## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	高齢者支援課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	④ 高齢者福祉	
施策内容	高齢者が生きがいを実感でき 地域全体で支えるまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
「小地域ケア会議」 実施地区の人口カ バー率	91.2%	目標値	91.2	93.0	95.0	97.0	100.0
		実績値	93.2	93.9	95.9	96.8	96.9
		達成率（%）	102.2	101	100.9	99.8	96.9
		達成度	4	4	4	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
高齢者人口に占める 要介護認定者の割合	22.4%	目標値	23.0	23.3	23	22.5	22.4
		実績値	23.3	23.4	23.7	24	23.1
		達成率（%）	98.7	99.6	97.5	93.8	97.0
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
認知症サポーター養 成数（通算）	4,982人	目標値	5,150	5,350	5,550	5,650	5,800
		実績値	5,225	5,498	5,744	6,225	6,585
		達成率（%）	101.5	102.8	103.5	110.2	113.5
		達成度	4	4	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
介護学生奨学支援金 を受給・就業した人 （通算）	3人	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	4	4	5	6	6
		達成率（%）	100	50	41.7	37.5	30
		達成度	4	2	1	1	1

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	2.8
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	高齢者支援課						
実施計画事業名	介護学生奨学支援金給付事業						
事業の概要	市内の介護保険事業所等に介護福祉士として勤務する意思がある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。						
事業の目標（評価指標）	奨学支援金を受給して市内の事業所へ就職した人数						
目標値	20人						
実績値	6人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	本支援金給付事業は、卒業後に市内の介護保険事業所に就職をすることが前提となっているため、学生にとっては将来（就職先）が限定されることに抵抗感があると推測され、令和6年度は新たな応募がなく、十分な成果を得ることが出来なかった。そのため、令和6年度をもって新規の募集を中止した。現在、令和5年度に認定した1名へ支援金を支給中である。						

担当課	高齢者支援課						
実施計画事業名	介護職員初任者研修実施事業						
事業の概要	介護事業所で働くために必要な「介護職員初任者研修」は、県南のみで実施されていることから、市内在住の研修未受講者が研修を受けやすくするため市内で研修を実施し、介護人材不足の解消につなげます。						
事業の目標（評価指標）	介護職員初任者研修修了者数						
目標値	20人						
実績値	13人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は13名が受講し全員が修了した。 受講者からは、市内で介護に関する資格が取得できて良かった、今後の仕事に生かすことができると、大変好評だった。 引き続き研修実施の周知を行い、より多くの未受講者が研修受講により有資格者となることで、介護職への定着を図り、介護人材不足の解消を目指す。						

担当課	高齢者支援課	◆					
実施計画事業名	介護職員定着奨励金給付事業						
事業の概要	介護事業所の人材確保のため、市内介護事業所へ就職した人に対し、定着奨励金として最大50万円を支給します。（1年ごとに10万円支給し、最長5年。奨励金の支給は令和7年度から。）						
事業の目標（評価指標）	介護職員定着奨励金受給者の認定人数（延べ）						
目標値	5人						
実績値	19人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B		達成度	4
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度奨励金受給者の認定人数は、目標を上回る19人であった。市内介護事業所が就労先の選択肢となるよう、引き続き制度を周知し、介護人材の確保を図る。						

担当課	高齢者支援課						
実施計画事業名	生活支援コーディネーター事業						
事業の概要	高齢者の生活支援等サービスの提供体制の構築に向け、地域の社会資源等の情報収集や、関係団体等とのネットワークを構築し、地域住民による助け合いの仕組みづくりの支援を行います。						
事業の目標（評価指標）	生活圏域ごとの生活支援コーディネーターの配置状況						
目標値	18圏域						
実績値	18圏域						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	各種住民主体の会議へコーディネーターが出席し、地域の実情を把握するとともに、活動支援や助言等行い、専門職との繋ぎや他組織との連携を行うことで、地域づくり活動に貢献している。 引き続き、コーディネーターを配置し、各地域に合わせた支援を行う。						

担当課	高齢者支援課						
実施計画事業名	認知症地域支援・ケア向上事業						
事業の概要	認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりをすすめるため、認知症の人やその家族が気軽に集まり交流する場の開設や、本人の声を起点とした支援体制づくりを推進します。						
事業の目標（評価指標）	認知症地域カフェの実施設置数						
目標値	5 箇所						
実績値	4 箇所						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和5年度末で1箇所減り3箇所となったが、令和6年度途中に新たに1箇所増設し4箇所で実施できた。また、認知症カフェ未実施の地域での開催に向けて、事業所へ働きかけを行った。加えて、「おれんじ通信にいみ」を年3回発行し、普及啓発のための情報発信を行った。 引き続き、事業の周知と認知症カフェの増設に努め、認知症の人が暮らし続けられる環境づくりを推進する。						

担当課	高齢者支援課						
実施計画事業名	高齢者等タクシー利用助成事業						
事業の概要	公共交通機関の利用が困難な運転免許証を所持していない75歳以上の高齢者や障がい者・要介護者等に対して、タクシー料金の一部を助成し、外出機会の増進を図ります。						
事業の目標（評価指標）	助成券利用率						
目標値	100%						
実績値	84.2%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	A	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は798人に助成券を交付し、利用を促すため市報で広報を行った。そのうち8割以上となる672人が利用しており、高齢者等の交通手段確保の一助になっている。引き続き制度の周知により利用率の向上を図るとともに、高齢者等の社会参加を促していく。						

平均②	3.3
-----	-----

(小数点第 2 位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9
-------------	-----

$$= \frac{\text{平均①}}{2.8} \times \frac{4}{5} + \frac{\text{平均②}}{3.3} \times \frac{1}{5}$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

慢性的な介護人材不足が続く中、介護職員定着奨励金給付や初任者研修の実施により介護人材の確保には一定の成果があったと考える。

人口減少に伴い高齢者数も減少しているが、高齢化率は依然増加を続けている。高齢になっても、認知症になっても、安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、タクシー利用助成事業による外出機会の確保や認知症カフェなど気軽に集える場所を提供することができた。

また、各生活圏域に配置した生活支援コーディネーターにより、引き続き地域の実情把握に努めるとともに地域による助け合いの仕組みづくりを進めていく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	福祉課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	⑤ 障がい者（児）福祉	
施策内容	障がいのある人が自立し 安心して暮らせるまちを実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
「ほほえみ広場に い」の利用者数	17,188人/年	目標値	17,200	17,400	17,600	17,800	18,000
		実績値	14,529	14,742	14,408	14,118	14,059
		達成率（%）	84.5	84.7	81.9	79.3	78.1
		達成度	3	3	3	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
相談窓口を通じて就 労した障がい者の数	6人/ 年	目標値	6	6	6	6	6
		実績値	7	5	8	11	11
		達成率（%）	116.7	83.3	133.3	183.3	183.3
		達成度	4	3	5	5	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
グループホームの整 備数（通算）	12か所	目標値	13	13	13	13	14
		実績値	13	13	13	13	13
		達成率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	92.9
		達成度	4	4	4	4	3

達成度 5：120％以上 4：100％以上 120％未満 3：80％以上 100％未満 2：50％以上 80％ 1：50％未満
--

平均①	3.3
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	福祉課						
実施計画事業名	障がい者理解促進啓発事業						
事業の概要	障がいについての理解や認識を深めるため、障がい者支援パンフレットの作成や福祉フォーラムを開催します。						
事業の目標（評価指標）	にいき福祉フォーラム等の開催						
目標値	3回						
実績値	4回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>福祉フォーラムでは、市民の障がいに対する関心を高めるため、障がいの理解に関する啓発ブースの設置や福祉事業所による物販、ほほえみ広場にいきの利用者を中心とした障がいのある方と新見手話サークルとの合同のステージ発表等を行った。また、福祉フォーラムの開催と合わせて、福祉にこにこ市や街頭啓発活動も実施し、市民に対して病気や障がいについて理解や認識を深めるとともに、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するための啓発を行った。</p> <p>加えて、これまで市内ショッピングセンターにて実施していた福祉にこにこ市を、啓発対象者の拡大を図るため市役所でも開催した。大変盛況で多くの市民の参加があり目的を達成することができた。</p> <p>令和7年度も引き続き、福祉フォーラム等を開催し、障がいに対する正しい理解と認識を深め共生社会の実現を目指す。</p>						

担当課	福祉課						
実施計画事業名	障害者相談支援事業						
事業の概要	障がい者の生活を支援するため、日常生活相談支援、ケア会議、ケアプランの作成などを行います。						
事業の目標（評価指標）	地域活動支援センター（ほほえみ広場にいみ）の相談支援件数						
目標値	3,500件						
実績値	3,613件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A（3.0）	100%以上できた	A	A（1.5）	高い	A	達成度	5
B（2.0）	80%以上できた		B（1.0）	やや高い		+ 効率性	
C（1.0）	60%以上できた		C（0.5）	やや低い			
D（0.5）	60%未満しかできなかった		D（0.2）	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>障害者地域活動支援センターⅠ型事業所（ほほえみ広場にいみ）に自立支援や相談支援を行う精神保健福祉士や臨床心理士等の専門的職員を配置し相談支援の充実を図っている。</p> <p>相談支援事業所や福祉事業所等と連携を図り、相談者に対して福祉サービスの利用や経済的な問題、就労に関する相談支援等を行った。また、支援者のスキルアップを図るため研修会を開催したり、課題解決に向けて個別ケア会議を行うなど相談支援体制の充実を図ることにより、障がい者が住みなれた地域で安心して生活できる環境の整備を図るとともに、支援体制の充実を図った。</p> <p>目標値を超える相談件数がある一方、社会情勢の変化を受けて相談内容は複雑多様化しており、引き続き精神保健福祉士や社会福祉士、保健師等の専門職の人材確保や資質向上に取り組む必要がある。</p>						



担当課	福祉課	◆					
実施計画事業名	精神障がい者医療費給付事業						
事業の概要	必要な医療を適切に受けるため、岡山県心身障害者公費負担制度では対象とされていない精神障害者福祉手帳 1 級所持者の医療費の一部を市独自で給付します。						
事業の目標（評価指標）	対象者への受給者証の交付						
目標値	6人						
実績値	6人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	制度の対象者となる精神障害者保健福祉手帳 1 級所持かつ、自立支援医療受給者である 6 名全員に対し受給者証を交付し、医療費の給付を行うことができた。 引き続き、制度対象者の把握に努め、すべての対象者が制度を利用できるよう周知に努める。						

担当課	福祉課						
実施計画事業名	医療的ケア児等支援事業						
事業の概要	医療的ケア児等を支援するため、障がい児（者）支援事業所等に対し、受入れを行った際の費用や、事業実施に必要な専用ベッド等の購入費用を助成します。						
事業の目標（評価指標）	利用事業所（数）						
目標値	2カ所						
実績値	2カ所						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和5年度から、医療的ケア児等受入促進事業と医療的ケア児等受入設備整備事業の2事業を開始した。市内の2事業所が医療的ケア児等受入促進事業を利用し、看護師等の医療専門職を配置するなど、障がい児（者）の受け入れ体制の整備を行った。医療的ケアが必要な障がい児（者）への支援体制の充実を図ることで、当事者の社会参加を促進するとともに保護者の就労支援や負担軽減につなげることができた。						

平均②	5.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.6
-------------	-----

$$= \begin{array}{|c|} \hline \text{平均①} \\ \hline 3.3 \\ \hline \end{array} \times 4/5 + \begin{array}{|c|} \hline \text{平均②} \\ \hline 5.0 \\ \hline \end{array} \times 1/5$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

ひとり一人が、自立し安心して暮らせることを目指して、障がいの有無にかかわらず、すべての人にとって暮らしやすい共生社会の実現に向けて施策に取り組んだ。

ほほえみ広場にいみの利用者数は減少傾向にあるものの、イベント等での多くの市民参加や多数の相談対応などにより、障がい者が安心して暮らせるまちづくりを推進できている。

今後も障がいに対する理解を深める啓発活動をはじめ、健康づくり、障害福祉サービスの充実、地域での生活支援などあらゆる分野において、障がい者の生活を支援する取り組みを推進する。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	福祉課・市民課
政策区分	2 健康・福祉	
施策項目	⑥ 地域福祉	
施策内容	必要な人に必要なサービスが届く 安心して生活できるまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
福祉との関わり度 （活動していない人の割合）	58.0%	目標値	56.4	54.8	53.2	51.6	50.0
		実績値	65.2	70.6	70.3	68.3	69.8
		達成率（%）	86.5	77.6	75.7	75.5	71.6
		達成度	3	2	2	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域の住みやすさを感じる人の割合	66.6%	目標値	67.2	67.9	68.5	69.2	70.0
		実績値	64.5	65.4	61.9	65.5	61.0
		達成率（%）	96.0	96.3	90.4	94.7	87.1
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
定住の意向（住み続けたい人の割合）	67.4%	目標値	67.9	68.4	68.9	69.4	70.0
		実績値	55.1	62.6	54.3	66.4	67.8
		達成率（%）	81.1	91.5	78.8	95.7	96.9
		達成度	3	3	2	3	3

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	2.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	福祉課						
実施計画事業名	生活困窮者自立相談支援事業						
事業の概要	生活困窮者からの相談に包括的に対応するとともに、その自立に向けて、アセスメントの実施、プランの作成等の支援を行うほか、地域の関係機関のネットワークづくりを行います。						
事業の目標（評価指標）	新規相談件数						
目標値	40件						
実績値	33件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>事業委託先である新見市社会福祉協議会にて設置する生活相談支援センターでは、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題に対して、主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員1名を配置し、相談に応じた。また、新見市社会福祉協議会は関係機関や地域の様々な社会資源とネットワークを構築し強固な連携を図っている。センターでは、潜在的生活困窮者の早期把握、早期支援につなげるため、センターのチラシを全戸配布するとともに福祉連絡会や各研修において周知を図り、アウトリーチ機能の強化に努めた。</p> <p>令和6年度は令和5年度を超える11件のプランを作成するとともに、定期的なプランの評価や見直しを実施するなど継続的な支援を行った。</p> <p>今後も、必要とする人に適切な支援が提供できるよう、事業の周知等に努め、取り残しのない包括的な支援体制の構築を目指す。</p>						

担当課	福祉課						
実施計画事業名	民生委員・児童委員活動支援事業						
事業の概要	民生委員・児童委員の活動に対し、活動費の補助、各種福祉サービスの情報提供、関係機関との連携などの支援を行います。						
事業の目標（評価指標）	市主催の研修会開催回数						
目標値	2 回						
実績値	2 回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>市主催の研修等への積極的な参加を促進し、委員のさらなる資質の向上に努めた。また、民生委員・児童委員からの情報提供により、関係機関と連携を図った上で、高齢者や生活困窮者等へ必要な支援につなげることができている。</p> <p>令和7年度は民生委員・児童委員の一斉改選を控えており、委員の継続意欲の向上に向け、令和6年度から報償費（単市分）を増額した。令和7年度からは活動支援を強化するため、民生委員児童委員協議会に対する補助金の創設を行う。</p> <p>民生委員・児童委員の欠員の拡大や在任期間の短縮化が危惧されることから、中長期的な視野で委員の確保や活動への理解促進に向けた環境整備が必要である。</p>						

担当課	福祉課						
実施計画事業名	成年後見制度法人後見支援事業						
事業の概要	高齢者や障がい者等の権利擁護を図るため、法人後見専門員の配置、支援員の育成、制度利用相談・促進などの権利擁護体制整備と適正実施を支援します。						
事業の目標（評価指標）	成年後見人等の法人後見受任件数						
目標値	20件						
実績値	27件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>高齢者や障がい者の権利擁護支援や成年後見制度の普及啓発及び利用促進を図るとともに、法人後見支援の体制整備を図った。その結果、成年後見人としての受任件数が27件と増加している。また、権利擁護の普及啓発活動の一環として、権利擁護推進セミナーやなんでも相談会の開催、市民後見人に対する相談支援やフォローアップ研修等を実施しながら育成及び支援を継続的に行っている。</p> <p>今後も高齢者や障がい者の権利擁護支援を推進するため、成年後見人の受任件数増加を目指すとともに、制度の普及啓発や利用促進を図り、本人の権利を守り意思を尊重した生活ができる社会の構築に取り組む。</p>						

担当課	市民課	◆					
実施計画事業名	移動販売車購入支援事業						
事業の概要	食料品や日用品の買物に課題を抱える高齢者等に、買物を行う機会の確保を図ることを目的として、移動販売を行う事業者に対して、移動販売車の購入に係る費用の一部を補助します。						
事業の目標（評価指標）	移動販売車購入補助台数						
目標値	2台						
実績値	1台						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		本補助金で移動販売車が整備されたことにより、高齢者等が買物を行う機会を確保することができたが、移動販売事業者は限られており、令和6年度の補助台数は1件に留まった。					
		引き続き、本事業の周知に努めるとともに、当該事業だけでは買物を行う機会を充足できないため、他の事業の展開も検討する必要がある。					

平均②	3.5
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9
-------------	-----

=

平均①
2.7

× 4/5
+

平均②
3.5

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

生活困窮者の自立支援制度や高齢者・障がい者の成年後見制度など、支援の必要な人が必要なサービスを利用できるようにするため、制度や相談窓口の周知を行うとともに、民生委員・児童委員や社会福祉協議会等の相談機関相互の情報共有や連携強化を図り、潜在的な要支援者の掘り起こしを行うことで早期対応ができた。

一方で人口減少・少子高齢化が進む中、仕事との両立や年齢的な理由などから、地域福祉を担う人材の確保が困難になってきている。引き続き、必要な人に必要な支援が届けられるよう、人材育成を行うとともに、委員負担の軽減を図り担い手の確保に取り組む必要がある。

成年後見制度については、認知症高齢者や身寄りのない障がい者の増加に伴い、必要性が高まっていることから、必要な人が必要な時に利用できるよう、引き続き、権利擁護支援の体制整備を図るとともに、成年後見制度の周知や市民後見人の養成を図る必要がある。

また、移動販売車購入支援事業を通じて、買物が困難な高齢者等が日用生活物資の買物を行う機会を確保することで、地域に安心して住み続けることができる一助になっている。今後も引き続き支援が必要であるが、移動販売事業者は限られており、買物を行う機会を充足するためには、他の事業の展開も検討する必要がある。





### 3 教育・文化・スポーツ

## 令和 7 年度 第 3 次新見市総合計画 政策評価シート（令和 6 年度実績）

1 政策内容	担当部	教育部
3 教育・文化・スポーツ	誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
3-①	就学前教育・義務教育	故郷に誇りと愛着を持ち 心豊かで自律心を備えた子どもを育む	3.0
3-②	大学・高等学校	魅力ある教育環境で 自己実現できる人材を育てる	2.9
3-③	生涯学習	いつでも・どこでも・だれでも 生涯学び合うまちを実現する	3.0
3-④	芸術・文化・文化財	歴史と文化を誇りに感じ 守り伝えられるまちを目指す	4.2
3-⑤	スポーツ・ レクリエーション	スポーツが人と地域を育て 新たな交流を創造するまちを目指す	2.2
達成レベル平均			3.1

(小数点第 2 位四捨五入)

## 3 総合評価

	評価
<p>就学前教育・義務教育では、中 1 ギャップ解消事業などにより、不登校出現率を 3 % 台まで改善することができた。一方で、児童・生徒の学力向上は依然として低迷しているため、引き続き改善に向けた取組を行う。</p> <p>大学・高等学校では、市内行事に参加した大学生の割合が大きく伸びたため評価点は上昇したが、市内高校への進学率が減少傾向であるため、従前の取組に加え、新たな対策の検討を行う必要がある。</p> <p>生涯学習、芸術・文化・文化財では、公民館や図書館の主催事業に多くの市民が参加しており、高い満足度を得ることができた。今後も市民ニーズを反映した事業実施に努める。</p> <p>スポーツ・レクリエーションでは、スポーツ大会が中止となったことなどで、参加者数が減少し評価点を大きく下落させた。競技人口の減少など、スポーツ活動を取り巻く状況は厳しさを増していくことが予想されるが、引き続き、多くの市民が参加できる場の提供に努める。</p>	3.1

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	学校教育課
政策区分	3 教育・文化・スポーツ	
施策項目	① 就学前教育・義務教育	
施策内容	故郷に誇りと愛着を持ち 心豊かで自律心を備えた子どもを育む	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
不登校生徒出現率 （中学生）	4.7%	目標値	4.1	3.7	3.4	3.0	2.5
		実績値	4.3	6.5	4.9	4.8	3.0
		達成率（%）	95.3	56.9	69.4	62.5	83.3
		達成度	3	2	2	2	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自閉症・情緒障害児 特別支援学級在籍率	1.8%	目標値	1.9	1.6	1.4	1.2	1.0
		実績値	2.0	1.6	1.6	2.4	2.4
		達成率（%）	95.0	100	87.5	50.0	41.7
		達成度	3	4	3	2	1

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域や社会をよくする ために何をすべきか考 えることができる中学 3 年生の割合	43.2%	目標値	59.6	61.0	63.0	64.0	65.0
		実績値	—	60.6	50.7	77.1	81.3
		達成率（%）	—	99.3	80.5	120.5	125.1
		達成度	—	3	3	5	5

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	学校教育課						
実施計画事業名	学校給食費応援に一みんポイント事業						
事業の概要	保護者の経済的な負担を軽減し、児童生徒の健やかな成長を支えるため、本市独自の子育て支援として、小・中学校の学校給食費に相当するに一みんポイントを付与します。						
事業の目標（評価指標）	付与ポイントの利用率						
目標値	95.0%						
実績値	95.3%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	実績値は有効期限が到来した7月付与分のみによる暫定値ではあるものの、高い利用率となっており子育て世代の経済支援としても、地域経済の活性化施策としても、一定の効果をあげたものと考えられる。 今後も事業を継続していくとともに、国において議論されている給食費無償化が実施された場合の対応についても、検討する必要がある。						

担当課	学校教育課	◆					
実施計画事業名	ふるさとキャリア教育推進事業						
事業の概要	小・中学校で実施するふるさと学習、ふるさと職場見学・体験、市民団体等が学校に出向いて実施する出前授業などにより、郷土への愛着や地域社会への参画意識を育みます。						
事業の目標（評価指標）	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある中学3年生の割合						
目標値	65%						
実績値	81.30%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	A	達成度	5		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	体験活動等では、令和5年度から、現地へ向かうバス等の費用を市が負担しており、活動に参加しやすくなったことにより児童生徒の市内共通教材（千屋牛・石灰・ピオーネ・新見庄）にふれる機会が増え、より充実した活動となった。						
	また、出前授業実施後の児童生徒のアンケートでは、「新見の魅力を知って、改めて新見が好きになった」「新見についてもっと知りたいし、今後新見に貢献できるようにしたい」という記述がみられ、事業目標についても大きく上回ることができており、ふるさとキャリア教育を行うことにより、新見市への愛着心や地場産業に対する関心が高まっている。						
しかし、学校の立地環境により学習内容や活動に偏りが生じるという課題もあるため、市内共通教材に関する資料の提供を行い、より多くの地域学習を行うことができるようにする必要がある。							

担当課	学校教育課					
実施計画事業名	学力向上推進事業					
事業の概要	児童生徒の学力向上を図るため、小3～中3へ自己認識、生活学習習慣などの総合質問紙調査（i-check）を実施します。					
事業の目標（評価指標）	全国学力テストでの平均正答率＋1ポイントの学校数					
目標値	小学校10校、中学校4校					
実績値	小学校6校、中学校1校					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	D	A (1.5) 高い	C	達成度	1	
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	i-checkを年2回（5月、10月）実施し、調査で明らかになった結果を児童生徒や保護者に向けてフィードバックし、児童生徒のやる気や個性を引き出すなど学級経営に活用することができた。安定した学級経営は学力の定着を支えるものであり、児童生徒の学習意識にも好影響を与えている。令和5年度と比較すると、目標を達成した学校数は、小学校では1校増加し6校、中学校では1校減少し、1校のみであった。					
	今後も、i-checkを活用し、教師が児童生徒一人一人の状況を把握し適切な配慮をすることで、安心・安全な学校風土の醸成や落ち着いた学習環境づくりを進めるとともに、授業の質の向上や学習内容の確実な定着に向けた取組を重点的に進め、学力向上を引き続き推進していく。また、各学校の管理職や学力向上担当者等との連携を強化し、児童生徒の実態に応じた授業や家庭学習の取組について改善を図っていく。					

担当課	学校教育課					
実施計画事業名	ＩＣＴ教育推進・活用事業					
事業の概要	児童生徒の基礎学力、自己学習能力、情報活用能力の向上を図るため、ＩＣＴ指導員３名、ＩＣＴ支援員３名を配置し、全小・中学校に導入したタブレット端末や、ドローンを活用したＩＣＴ活用教育をより効果的に推進します。					
事業の目標（評価指標）	児童生徒の授業でのタブレット端末利用率					
目標値	80%					
実績値	80%					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	A	A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	4	
事業の成果・課題	ＩＣＴ指導員、支援員の配置により、学校現場の要望に対して迅速な対応をとることができ、端末利用率も高い水準を維持することができた。また、令和５年度から全小中学校で開始したドローンプログラミング教育については、児童生徒が主体的・探究的に学習活動に取り組み、これからの社会を生きる児童生徒に必要な創造力や情報活用能力を育成する土台をつくることができた。  一方で、日常的な端末の活用や家庭学習での活用については不十分な面があるため、家庭や地域などの理解を得ながら、より効果的に活用できるよう努める。					

担当課	教育総務課						
実施計画事業名	大佐中学校区小中一貫校整備事業						
事業の概要	将来的な児童生徒の減少等への対応や教育の質の充実を図るため、大佐地区にある刑部小学校と大佐中学校を一体とした、施設一体型小中一貫校の整備を行います。						
事業の目標（評価指標）	大佐中学校区小中一貫校校舎新築等設計業務（進捗率）						
目標値	100%						
実績値	50%						
事業目標の達成度			事業の効率性		評価		
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		令和6年度は、計画どおり7月に業者と設計業務の契約ができた。しかし、学校・地域住民・設立委員会との意見調整に時間を要したことや、既存建築物及び周辺水路の調査等の業務量が当初の想定よりも増加したことから、設計業務の進捗が遅れた。 令和7年度は、工事にスムーズに移行できるよう、進捗管理を徹底し、設計書等7月末までの納品に努める。					

平均② 3.2

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.0	=	平均① 3.0	× 4/5	+	平均② 3.2	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

ふるさとキャリア教育やICT教育推進・活用事業などを実施し、児童生徒の郷土愛を育くむとともに自立心や学習意欲の向上につなげることができた。

不登校出現率については、中1ギャップ解消事業の実施や自立応援室を開室した結果、目標には達しなかったものの3%台にまで改善することができた。

一方で、児童・生徒の学力向上については依然低迷しており、学校・家庭・地域が一体となって授業や家庭学習の充実や学習環境の質の向上を図るなど、改善に向けた取組の継続が必要である。

また、大佐中学校区小中一貫校整備事業では、計画通りに契約まで進めることができたが、外部との意見調整などに時間を要したことなどから目標を下回った。事業を円滑に進めるため、進捗管理等徹底し、設計書等の早期納品に努める。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	教育連携推進課
政策区分	3 教育・文化・スポーツ	
施策項目	② 大学・高等学校	
施策内容	魅力ある教育環境で 自己実現できる人材を育てる	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市内行事に参加したことがある大学生の割合	50.6%	目標値	51.0	53.0	55.0	60.0	70.0
		実績値	29.5	29.3	44.9	43.6	79.7
		達成率（%）	57.8	55.3	81.6	72.7	113.9
		達成度	2	2	3	2	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
高校生の本市への愛着度	64.1%	目標値	65.0	66.0	67.0	68.0	70.0
		実績値	69.3	65.7	66.7	60.6	58.2
		達成率（%）	106.6	99.5	99.6	89.1	83.1
		達成度	4	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市内の高校に進学した中学生の割合	61.9%	目標値	62.0	63.0	65.0	68.0	70.0
		実績値	71.4	66.5	56.1	54.3	50.3
		達成率（%）	115.2	105.6	86.3	79.9	71.9
		達成度	4	4	3	2	2

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	教育連携推進課	◆					
実施計画事業名	学校連携コーディネーター配置事業						
事業の概要	地域愛や地域貢献意欲にあふれた新見を支える人材を育成するとともに、高校の魅力化を図るため、学校連携コーディネーターを配置し、高校と小・中学校、大学、地域、企業との連携を図ります。						
事業の目標（評価指標）	市内の高校に進学した中学生の割合						
目標値	70.0%						
実績値	50.3%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	C	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
事業の成果・課題			学校連携コーディネーターを2名配置し、市内高校への進学につなげるため地域愛の醸成に取り組んだ。各小中学校が地域と連携して地元の良さや課題を発見し提言するふるさとキャリア教育の推進のサポートや高校説明会で市内高校の魅力を伝える資料の配布や説明、オープンスクールへのバスの手配などを行ったが、市内高校への進学率は減少した。 引き続き、進路選択において重要となる情報の積極的な発信など市内進学率の増加につながる取組について検討する必要がある。				

担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	子ども会議開催事業						
事業の概要	子ども達の視点や意見を聴取する場とするとともに、学校間のつながりや情報共有・意見交換を行うため、新見市子ども条例に基づく子ども会議を開催します。						
事業の目標（評価指標）	子ども会議の開催						
目標値	1回						
実績値	1回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B (1.0) やや高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた					+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた							
D (0.5) 60%未満しかできなかった							
		※四捨五入					
事業の成果・課題		令和7年1月に子ども会議を開催した。会議では、市内各中学校の生徒代表者が、新見高校主権者教育の議会陳情代表者選考会を参観した後、中学生と高校生が代表チームのテーマについて協議する場を設けた。理解しやすかつ説得力を高めるプレゼンの構成・内容について学習でき、中学生と高校生のグループワークでは、高校生が中学生の発言を促し、話しやすい雰囲気を作ろうとするなど中学生や中学校教員からも好評であった。 今後も、ふるさとへの愛着や地元貢献意識を育み、中高生の考えを新見市のまちづくりに反映させるための会議を開催していく。					



担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	高校魅力化推進事業						
事業の概要	市内高校の魅力向上を図るため、高校生が充実した学校生活を送ることが できる支援を行います。（令和６年度から資格取得助成、部活動専門人材派遣、 留学支援を追加します。）						
事業の目標（評価指標）	市内の高校に進学した中学生の割合						
目標値	70.0%						
実績値	50.3%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	C	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	市内高校の魅力向上のため、ゼロハンカーの練習で使用するスター ティングシグナルのランプカバーの作成や、古着や実習で残った毛糸など を活用したりサイクル品の製作など市内高校が行う取組に対して助成を 行った。また、令和６年度から資格取得助成、部活動専門人材派遣、留学 支援を新設しており、資格取得助成では31人を対象に助成を行い、部活動 専門人材派遣では、ソフトテニス部及びバドミントン部に講師を派遣し、 留学支援事業では２人に対し助成を行った。初年度で実績が少ないもの の、高校の魅力化向上に寄与している。  一方で、通学費助成制度では、96人を対象に助成を行ったものの、市内 高校を希望する大きな要因になっていないことから、令和７年以降の入 学生から対象外とした。  引き続き、市内高校への進学へつなげるため、各取組の効果検証をしつ つ、高校の魅力向上に努める。						

平均②	2.7
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9
-------------	-----

=

平均①
3.0

× 4/5+

平均②
2.7

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

市内高校については、高校が行う魅力化の取組に対して助成を行うことで、高校の魅力化向上に寄与することができた。また、高校説明会で魅力化の取組についての資料の配布や説明、こども会議の開催などを行い、高校の魅力発信を行うことができた。しかしながら、依然として市内高校への進学率が低いため、対策を検討するとともに、拡充した高校魅力化推進事業の周知を行う必要がある。新見公立大学については、令和7年度に西日本で唯一の摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程が開講予定である。開講により専門的な知識と技術を身につけた看護師が育成され、市内病院への就職支援事業等と結びつけることにより、市内の摂食嚥下障害看護分野のレベルアップにつながることを期待されることから、大学や各関係機関と連携し準備を進める。今後も、本市発展のために大学の持つ人材や専門的な知見をどのように活用するか検討する必要がある。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	生涯学習課
政策区分	3 教育・文化・スポーツ	
施策項目	③ 生涯学習	
施策内容	いつでも・どこでも・だれでも 生涯学び合うまちを実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市民学習講座受講者数	800人/年	目標値	800	850	900	950	1,000
		実績値	44	225	624	898	838
		達成率（%）	5.5	26.5	69.3	94.5	83.8
		達成度	1	1	2	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
公民館利用人数（合計）	77,000人/年	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値	68,000	65,426	67,820	98,521	109,063
		達成率（%）	85.0	81.8	84.8	123.2	136.3
		達成度	3	3	3	5	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
図書館の貸出冊数 （利用登録者1人当たり）	21.1冊/年	目標値	22	22	23	24	25
		実績値	12.7	11.3	10.4	10.2	9.2
		達成率（%）	57.7	51.4	45.2	42.5	36.8
		達成度	2	2	1	1	1

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	公民館主催事業						
事業の概要	地域社会の教育力・家庭の教育力向上、地域の人づくりやまちづくりに資する公民館活動と生涯学習活動を進めるため、各公民館において、主催事業を実施します。						
事業の目標（評価指標）	主催事業参加人数						
目標値	20,500人						
実績値	21,360人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度 + 効率性	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
			※四捨五入				
事業の成果・課題	地域の有識者等で構成する公民館運営審議会および事業実行委員会において各地域の学習ニーズを把握し、各地域の特色を活かした事業を実施することで、効果的に地域と家庭の教育力の向上につながる主催事業を展開できた。特に、神郷公民館で取り組んでいる神代和紙関連事業が第77回優良公民館表彰を受賞し、外部からも高く評価される事業となっている。 今後も審議会や実行委員会で各地域の学習ニーズを把握し、事業に反映させていく。						

担当課	生涯学習課	◆					
実施計画事業名	中央図書館主催事業						
事業の概要	中央図書館の利用促進を図るため、市民のニーズに応じた講座等を実施します。						
事業の目標（評価指標）	主催事業参加人数						
目標値	1,300						
実績値	1,353						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
			※四捨五入				
事業の成果・課題	新見公立大学や倉敷芸術科学大学、絵本作家によるイベント等、子ども向けのイベントの開催回数を増やし、子どもが読書に親しむ機会を提供することができた。また、東洋大学やミサワホームの講師派遣事業を利用して、中高生や一般を対象とした講演を開催し、市民の読書活動を支援することができた。 今後も市民のニーズを把握し、各関係機関と連携して市民の読書活動の推進を図る。						

担当課	生涯学習課					
実施計画事業名	図書館利用促進事業					
事業の概要	市民がいつでも気軽に本を楽しめる環境を整えるため、市街地循環バス「ら・くると」を利用して中央図書館へ来館する児童生徒の乗車賃を無料にするほか、市内図書施設の平準化を図るため、哲多図書施設の蔵書充実に努めます。					
事業の目標（評価指標）	図書館の貸出冊数（利用者1人あたり）					
目標値	25冊					
実績値	9.2冊					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	C	達成度	1
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	市内図書施設の平準化を図るため、哲多図書施設の蔵書及び運営体制の充実に努めたことにより、哲多図書施設の利用は順調に伸びている。 小中学生と30～40歳代の貸出冊数が減少していることから、小中学生向けのイベントを実施し図書館の利用促進を図るとともに、蔵書や展示コーナーを充実させ、貸出冊数の増加につながる取組を実施する。					

担当課	生涯学習課					
実施計画事業名	おかやま子ども応援事業					
事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組として、放課後子ども教室、土曜日教育支援、地域学校協働活動、家庭教育支援などを実施します。					
事業の目標（評価指標）	放課後子ども教室、土曜日教育支援の実施日数					
目標値	160日					
実績値	123日					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	C	達成度	2
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>公民館ごとに、ボランティアや地域コーディネーターの協力のもと、各種教室（工作・書道・料理等）、昔遊び体験、ニュースポーツ教室、地域ならではの体験（チョウザメ探検ウォーク、千屋牛追唄教室、神代和紙伝承教室）、伝承体験（しめ縄づくり、神楽教室）等の体験活動を市内全小中学校で取り組むことができた。しかし、子どもの少ない地区では日数を増やすことが難しいなどの理由から、目標値には達しなかった。</p> <p>今後は、公民館と学校間でより密に連携をとり、地域の人材の有効な活用を図り、十分な学習機会の提供に努める。</p>					

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	市民学習講座						
事業の概要	市民への学習講座を提供します。						
事業の目標（評価指標）	市民学習講座への参加者数						
目標値	1,000人						
実績値	823人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	<p>羅生門ガイドツアーや鯉が窪湿原の植物観察会など、新見の自然を学ぶ講座を引き続き行った。また、放送大学との連携による、高松城の水攻めや岡山の天気に関する講座、大河ドラマに関連して源氏物語に関する講座を行うなど、多様なテーマの講座を開催し多くの参加者を集めることができた。しかし、令和6年度は、人権啓発講演会の開催年ではなかったことなどにより、全体の参加者数が伸び悩んだ。</p> <p>今後も、より多くの市民が関心を持ちやすく、学びのある講座を実施するとともに、周知方法を工夫することで、参加者数の増加を図る。</p>						

平均②	2.8
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.0	=	平均① 3.0	× 4/5	+	平均② 2.8	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

公民館や図書館をはじめ、学校や地域と連携しながら、多様な社会教育の機会を提供することができた。

前年度に比べ、公民館活動等が活発になり、全体的な参加者数は増加傾向にある。今後も住民ニーズを捉え、より参加しやすい内容を工夫・検討し、参加者の増加及び満足度の向上を図る。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	生涯学習課
政策区分	3 教育・文化・スポーツ	
施策項目	④ 芸術・文化・文化財	
施策内容	歴史と文化を誇りに感じ 守り伝えられるまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
文化財等データベース登録点数（通算）	－ （点）	目標値	－	200	230	260	300
		実績値	－	242	538	550	635
		達成率（％）	－	121	233.9	211.5	211.7
		達成度	－	5	5	5	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
文化振興事業の満足度	－ （％）	目標値	60.0	63.0	66.0	68.0	70.0
		実績値	85.0	82.1	76.2	96.2	97.0
		達成率（％）	141.7	130.3	115.5	141.5	138.6
		達成度	5	5	4	5	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
まなび広場利用件数	210件/年	目標値	215	220	230	240	250
		実績値	64	182	183	219	205
		達成率（％）	29.8	82.7	79.6	91.3	82.0
		達成度	1	3	2	3	3

達成度  
 5：120％以上  
 4：100％以上 120％未満  
 3：80％以上 100％未満  
 2：50％以上 80％  
 1：50％未満

平均① 4.3

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	文化財等のデータベース化事業						
事業の概要	文化財の保存や活用、また観光分野やまちづくり分野にも活用するため、市内の文化財などの調査を行い、データベース化を図ります。						
事業の目標（評価指標）	文化財等データベース登録点数（通算）						
目標値	300点						
実績値	635点						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>令和6年度は公的施設等に保管されている遺跡の出土遺物など85点をデータベースへ登録した。順調に登録作業が実施できており、データは資料の保護・保存・活用の基礎資料としている。</p> <p>また、ウェブサイトに関しては修正を行い、より見やすく分かりやすいものになるよう努めており、今後も随時、未指定文化財のデータ登録を進めていく。</p> <p>把握できていない未指定文化財のデータ登録については、調査や整理が必要であり時間を要することに加えて、専門知識を有する人材と財源の確保が課題である。</p>						

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	文化財保存活用地域計画策定事業						
事業の概要	文化財の保存継承、防犯防災対策、災害等発生時の対応や体制整備を明確化するため、文化財保存活用地域計画を策定し、文化財を本市の貴重な資源として活用します。						
事業の目標（評価指標）	文化財保存活用地域計画策定協議会の実施回数						
目標値	3回						
実績値	3回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	C	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	文化財保存活用地域計画を策定するため、令和4年度に設立した協議会で、有識者や市民と意見聴取を行い素案を作成した。文化庁との調整や内容の精査に時間を要したが、令和7年度においてパブリックコメントを実施した後、協議会での最終確認を経て文化庁に申請し計画を策定する予定である。						



担当課	生涯学習課							
実施計画事業名	新見荘魅力発信事業							
事業の概要	本市の歴史を象徴する新見荘について、市民向けの学習機会の提供や有識者による調査を行うなど、関連史跡の国指定文化財化を目指した取組を行います。							
事業の目標（評価指標）	新見荘に関する講座・研修会の実施回数							
目標値	2 回							
実績値	2 回							
事業目標の達成度			事業の効率性			評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4	
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性		
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い				
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	新見荘に関する児童向けの講座を 1 回実施し、18名が受講した。 研修会では、東寺との繋がりを後世に引き継ぐため、新見荘に関わる有識者16名が京都「東寺」を訪問し、理解を深めた。 また、有識者による新見荘関連物に関する調査を 2 件行った。 新見荘の活用方法については、案内看板の整備やガイドの養成を含めて、市民アンケートに寄せられた意見を反映した事業を実施し、新見荘のさらなる魅力発信を行う。							

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	山田方谷記念館改修事業						
事業の概要	公共施設再配置計画に基づき、山田方谷記念館の外壁、空調設備、照明設備等を改修します。						
事業の目標（評価指標）	個別施設計画に基づく中規模改修の進捗率						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	個別施設計画における中規模改修について、計画どおり、外壁、空調及び照明設備を改修し、施設の美観や利便性の向上、並びに照明のLED化による光熱費の削減等の成果に繋がった。 今後は、長寿命化が図れるよう適切な管理に努める。						

担当課	生涯学習課	◆					
実施計画事業名	法曽陶芸館火焰土器展会開催事業						
事業の概要	新潟県中魚沼郡津南町及び三条市の協力により、縄文時代の「道尻手遺跡」「堂平遺跡」などから出土した火焰型土器29点を借用し、法曽陶芸館において展覧会を開催します。						
事業の目標（評価指標）	展覧会観覧者数						
目標値	210人						
実績値	572人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	新潟県中魚沼郡津南町及び三条市から借用した火焰型土器の展覧会を開催した。市内外から多くの人々が来館し、縄文文化の魅力発信と交流人口の増加に繋げることができた。 今後も展覧会を開催し、歴史・文化の魅力を発信するとともに交流人口の増加に努める。						

平均② 4.0

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.2	=	平均①	4.3	× 4/5	+	平均②	4.0	× 1/5
-------------	-----	---	-----	-----	-------	---	-----	-----	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和4年度から取り組んでいる文化財保存活用地域計画の策定については、協議会における有識者や市民の意見を取り入れ、国や県の施策との整合性も図りながら、戦略性の高い素案が完成した。

文化交流館や新見美術館での企画事業並びに特別展の開催等におけるアンケート結果では、事業の満足度について高い評価を得ている。

引き続きニーズにあった文化振興事業を展開し、本市の歴史や文化の魅力発信を行うとともに保護につなげられるよう努める。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	生涯学習課
政策区分	3 教育・文化・スポーツ	
施策項目	⑤ スポーツ・レクリエーション	
施策内容	スポーツが人と地域を育て 新たな交流を創造するまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要体育施設利用者数	130,784人/年	目標値	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
		実績値	88,320	88,563	96,817	130,500	124,749
		達成率（%）	67.9	68.1	74.5	100.4	96.0
		達成度	2	2	2	4	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要スポーツ大会参加者数	3,383人/年	目標値	3,400	3,600	3,600	3,800	4,000
		実績値	195	0	712	3,649	1,880
		達成率（%）	5.7	0	19.8	96.0	47.0
		達成度	1	1	1	3	1

達成度  
 5：120%以上  
 4：100%以上 120%未満  
 3：80%以上 100%未満  
 2：50%以上 80%  
 1：50%未満

平均① 2.0

（小数点第2位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	スポーツ少年団活動費補助事業						
事業の概要	幼少期からスポーツに触れ合う機会を増やすため、新見市スポーツ少年団の活動費を補助します。						
事業の目標（評価指標）	1団体の指導者の平均人数						
目標値	9.6人						
実績値	6.1人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	B	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和6年度の登録団数は26団であり、少子化に伴い、団員数の確保が困難な状況となっている。						
	指導者については、全体としての人数はある程度確保できているものの、新たなルールにより資格条件を満たした指導者を複数確保することが義務化され、有資格指導者の育成、人材の確保も課題となっている。また、中学校部活動の地域展開による受け皿としての役割も期待されることから、スポーツを通じた青少年の健全育成に資するため、市スポーツ少年団本部を中心に各単位団指導者とも意見交換会を行い、有資格指導者の確保に取り組む必要がある。						

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	スポーツ施設管理運営事業						
事業の概要	スポーツの振興を図るため、市内にある体育施設の管理運営を行います。（憩いとふれあいの公園、新見市民運動公園、城山体育館、新見市防災公園など）						
事業の目標（評価指標）	主要体育施設利用者数						
目標値	130,000人／年						
実績値	124,749人／年						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	3	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
事業の成果・課題	令和6年度は、各種スポーツ大会会場としての利用が少なく体育施設の利用者数は減少したが、適切な管理に努めたことで、目標値に近い数値となった。 利用者が安心安全に使用できるよう施設管理者と連携し、計画的な修繕を行うとともに、引き続き経費削減に努めながら管理していく。 また、経年劣化による施設修繕などは早期に着手し、利用促進に向け、積極的に広報・周知を図っていく。						

担当課	生涯学習課	◆				
実施計画事業名	新見市体育協会活動費補助事業					
事業の概要	生涯スポーツに向けた取組を推進するため、新見市スポーツ協会の活動費を補助します。					
事業の目標（評価指標）	主要スポーツ大会参加者数					
目標値	4,000人／年					
実績値	1,880人／年					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	D		A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	2
事業の成果・課題	主催事業として、新見市駅伝競走大会や新見市新春ロードレース大会を開催したほか、「晴れの国岡山」駅伝競走大会に、これまで課題であった高校生及び一般女子の区間の選手を確保することにより、5大会ぶりに新見市として出場することができた。					
	また、新見市新春ロードレース大会では、自動計測システムの導入により、少人数での合理的な運営体制の構築に向けた試験的な取組ができた。					
	天候の影響により、ソフトテニスや軟式野球などの大会が中止となり、目標には達しなかったが、生涯スポーツの推進に寄与することができた。					
	引き続き、活動費の補助を行い、生涯スポーツに向けた取組を推進する。					

担当課	生涯学習課					
実施計画事業名	スポーツ相談室開設事業					
事業の概要	げんき広場にいみと連携し、専門的な知識を持ったスポーツトレーナーによる相談室を開設します。					
事業の目標（評価指標）	スポーツ相談室相談者数(実人数)					
目標値	10人					
実績値	13人					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>トレーニング方法やケガの防止などに関する相談室を開設して、ケガの回復、競技力の向上に貢献できた。また、げんき広場の事業紹介として施設内へのチラシ掲示などによる広報活動を行っており、相談室の利用につながったケースもある。</p> <p>令和6年度の利用者は中・高校生のみであったが、幅広い年齢層の相談に対応可能であることから、さらに周知を図ることで相談機会の提供に努める。</p>					

担当課	生涯学習課						
実施計画事業名	「ソフトボールのまち新見市」推進事業						
事業の概要	「ソフトボールのまち新見市」の継続的な取組の一環として各種大会の誘致を行います。						
事業の目標（評価指標）	大会（全国規模）誘致数						
目標値	2						
実績値	2						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>第45回全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会並びに第57回日本女子ソフトボールリーグ第4節岡山大会が開催され、市ソフトボール協会をはじめ、地元の中高生など多くのボランティアの協力を得て大会運営能力の向上を図ることができた。</p> <p>令和6年度からは、女子ソフトボールリーグに出場する選手と市内認定こども園の園児とのふれあい活動を実施するなど、幅広い世代の市民が生涯スポーツとしてソフトボールに親しむことができるよう、きっかけ作りを行うことができた。</p> <p>今後も「ソフトボールのまち新見市」を推進するとともに、生涯スポーツの振興に努める。</p>						

平均② 3.0

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.2	=	平均① 2.0	× 4/5	+	平均② 3.0	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度は、市内体育施設の各種スポーツ大会の会場としての利用が少なく、利用人数が減少した。

主要スポーツ大会については、天候の影響で大会自体が中止となるなどの理由により、参加者数が減少した。

施設管理については、それぞれの指定管理者により適切に維持管理されているが、老朽化に伴う修繕が増加しており、計画的な改修を実施する時期に差し掛かっている。

また、少子化に伴うスポーツ少年団の団員数減少については、引き続き活動の方向性や支援の方法等について、関係団体と意見交換を行う必要がある。

## 4 安全・生活基盤

## 令和7年度 第3次新見市総合計画 政策評価シート（令和6年度実績）

1 政策内容	担当部	総務部・市民生活部・建設部・教育部・消防本部
4 安全・生活基盤	安全で、市民生活を支えられるまちをつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
4-①	防災	災害に強い基盤整備と 自助・共助・公助の防災体制をつくる	2.8
4-②	消防・救急	機能的な消防救急体制で 市民の生命・財産を守る	3.2
4-③	防犯・交通安全	犯罪や事故を防ぎ 安心して暮らせるまちを目指す	2.6
4-④	水道・下水道	運営の安定と効率化を図り 快適な生活環境を提供する	3.6
達成レベル平均			3.1

(小数点第2位四捨五入)

## 3 総合評価

<p>安全で、市民生活を支えられるまちをつくるため、道路河川災害の防止対策や雨水対策を実施するなど、災害に強い基盤整備を計画どおり進めることができた。また、地域防災力の強化のため消防庁舎建設事業をはじめ、防災機能を持つ市役所本庁舎附属棟の整備、ドローンの機能強化及び操縦士の増員を行うなど、地域防災力の強化も進めることができた。</p> <p>水道・下水道の管路整備更新による生活環境の整備や防犯・交通安全分野を含めた個々の施策はおおむね計画どおりに実施できたが、消防庁舎及び附属棟の完成が令和7年度にずれ込んだこと、水道の有収率が目標に達成できなかったことなどにより、政策全体の総合評価が令和5年度に比べ3.5から3.1へと0.4ポイント下がっている。</p> <p>基盤の整備は概ね計画どおり進められているため、今後は各分野においてソフト事業の充実・強化をさらに進める必要がある。</p>	評価
	3.1



## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	総務課・都市整備課・建設課・下水道課
政策区分	4 安全・生活基盤	
施策項目	① 防災	
施策内容	災害に強い基盤整備と 自助・共助・公助の防災体制をつくる	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自主防災組織の組織率	54.2%	目標値	55.0	65.0	80.0	90.0	100.0
		実績値	59.4	63.1	63.9	63.8	69.7
		達成率（%）	108	97.1	79.9	70.9	69.7
		達成度	4	3	2	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
防災士の人数（通算）	71人	目標値	100	105	110	115	120
		実績値	100	114	119	124	129
		達成率（%）	100	108.6	108.2	107.8	107.5
		達成度	4	4	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
災害への備えなど市民の防災意識レベル	－ （%）	目標値	50.0	65.0	80.0	90.0	100.0
		実績値	76.6	74.3	71.5	70.7	69.5
		達成率（%）	153.2	114.3	89.4	78.6	69.5
		達成度	5	4	3	2	2

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	2.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	下水道課						
実施計画事業名	雨水対策事業						
事業の概要	令和元年9月集中豪雨で被災した西方太田地区などの雨水対策事業に取り組みます。（ハード整備は令和6年度完了）						
事業の目標（評価指標）	令和元年9月集中豪雨被災地区の雨水対策事業の令和6年度進捗率						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
							※四捨五入
事業の成果・課題	令和5年度に実施した暗渠埋設工事の舗装復旧などを実施し、被災地区の雨水対策事業を計画どおり完了させることができた。 今後は、整備した施設について効果を検証するとともに、施設の適正な管理に努める。						

担当課	建設課						
実施計画事業名	道路・河川災害防止対策事業						
事業の概要	道路・河川の災害の発生防止や拡大を防ぐため、対策工事を実施します。						
事業の目標（評価指標）	対策工事施工箇所数						
目標値	63箇所						
実績値	63箇所						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	緊急自然災害防止対策事業として、令和３年度から集中的に対策工事に取り組んでおり、令和６年度も計画どおり工事を実施し、目標値に達することができた。近年、災害が激甚化・頻発化する中、災害を未然に防ぐため、今後も計画的に事業に取り組む。						

担当課	都市整備課					
実施計画事業名	木造建築物耐震対策促進事業					
事業の概要	木造建築物の耐震化等を促進し、地震等による人的・経済的被害を軽減するため、耐震診断や改修費用等の一部を助成します。					
事業の目標（評価指標）	補助件数					
目標値	10件					
実績値	7件					
事業目標の達成度		事業の効率性	評価			
A（3.0） B（2.0） C（1.0） D（0.5）	100%以上できた 80%以上できた 60%以上できた 60%未満しかできなかった	C	A（1.5） 高い B（1.0） やや高い C（0.5） やや低い D（0.2） 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	2
事業の成果・課題		令和6年度は、耐震診断及び補強計画の作成について、7件の補助を行った。  本事業により、地震等による被害の軽減及び防災意識の向上に寄与しているものの、事業の認知度が低く、申請件数が伸びていないことから、引き続きリーフレットの配布、有人展示ブースの設置、広報誌およびホームページへの掲載を行い啓発に努める。				

担当課	総務課						
実施計画事業名	市役所本庁舎附属棟整備事業						
事業の概要	災害が大規模かつ広範囲にわたる場合においても、被害の極小化を図り、迅速かつ的確な防災活動を展開するため、拠点となる災害対策本部室や備蓄倉庫、県や他市町村の応援職員の受入れ施設等を備えた本庁舎附属棟を整備します。						
事業の目標（評価指標）	工事の進捗率						
目標値	100%						
実績値	65.0%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	A	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	<p>令和５年度に完了した実施設計をもとに発注手続きを行い、計画通りに進めていたが、躯体工事にかかる作業員の確保が困難となり、令和６年度内に完成することができなかった。</p> <p>令和７年度早期の完了を目指し、最小限の工期延長に留める方針で進めており、令和７年６月末の完成を目指している。</p> <p>完成後は、附属棟の防災機能が十分活用できるよう訓練等を重ね職員の習熟を図る。</p>						

担当課	総務課					
実施計画事業名	自主防災組織支援事業					
事業の概要	地域での防災活動の促進を図るため、自主防災組織が実施する防災訓練及び防災資機材の整備を支援する補助金を交付します。					
事業の目標（評価指標）	自主防災組織支援事業活用組織数					
目標値	22					
実績値	13					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	D	A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度 + 効率性 ※四捨五入	2	
事業の成果・課題	市内自主防災組織32団体中、13団体が自主防災組織支援事業を活用した。  近年の各地の災害を踏まえ、本市でも自主防災組織への期待の高まりと、資機材の充実、機能強化が求められている。多くの団体に防災資機材の整備等を促すため、市報や自主防災組織連絡協議会等を通じて広報し、補助事業の有効活用を推進していく。					

担当課	総務課	◆					
実施計画事業名	防災訓練実施事業						
事業の概要	市内の自主防災組織と連携し、情報伝達訓練から避難所開設、運営訓練などを行います。						
事業の目標（評価指標）	訓練実施回数						
目標値	1						
実績値	1						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	A	達成度	5		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	断層型地震を想定した訓練に官民あわせて113人が参加し、避難所の開設、運営などの実働訓練が実施できた。特に、孤立を想定したドローンによる物資の輸送、停電やそれに伴う通信手段途絶を想定した衛星通信設備の活用など、能登半島地震などの実災害から得られた課題への対応を確認することができたことは、有意義であった。						
	避難所開設・運営以外での職員を対象とした訓練実績が少ないため、今後は、災害発生以降に生じる、物資関連や、住家被害認定、罹災証明発行等のシステムを用いた訓練なども実施していく。						
	特に、令和7年度には防災機能を有した本庁舎附属棟が完成することから、施設に整備される設備を活用した訓練も実施予定である。						

平均②	3.3
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.8
-------------	-----

=

平均①
2.7

× 4/5+

平均②
3.3

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

災害に強い基盤整備として、雨水対策事業、道路河川災害防止対策事業については、計画どおり対策工事が進んだが、防災機能を有した本庁舎附属棟の建設については、工期を延期した。

令和7年度の早期に完成し、防災体制の強化を図る必要があるが、おおむね進捗は順調に推移している。

一方で、ソフト事業については、本市を襲った平成30年西日本豪雨災害、令和元年集中豪雨災害から数年が経過し、この間大きな災害が発生していないことなどが、市民アンケートによる防災意識レベルの割合微減に表れているのではないかとと思われる。木造建築物耐震対策促進事業についても、市民の防災意識の向上などに寄与しているが、申請件数が伸びず目標に達しなかった。

「自分が住む地域には災害はあまり起こらないと思うから」という回答の割合が高いため、継続的に粘り強く訓練等を通じた啓発や新たな手法の研究、検討も必要であるとする。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	消防本部
政策区分	4 安全・生活基盤	
施策項目	② 消防・救急	
施策内容	機能的な消防救急体制で 市民の生命・財産を守る	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
消防団加入率	3.78%	目標値	3.78	3.78	3.78	3.78	3.78
		実績値	3.76	3.75	3.68	3.69	3.51
		達成率（%）	99.5	99.2	97.4	97.6	92.9
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
住宅用火災警報器の 設置率	83.4%	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0
		実績値	87.7	85.3	86.1	88.1	80.9
		達成率（%）	104.4	100.4	100.1	101.3	91.9
		達成度	4	4	4	4	3

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	消防本部					
実施計画事業名	消防庁舎整備事業					
事業の概要	機能的な消防、救急体制を構築するため、老朽化が進んでいる消防本部庁舎及び消防署棟を建て替えます。建て替えにあたっては、将来を見据えた体制づくり等についても検討を行います。					
事業の目標（評価指標）	令和 6 年度実施計画（進捗率）					
目標値	100%					
実績値	80%					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	B		A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	C	達成度 + 効率性 ※四捨五入	3
事業の成果・課題	令和 6 年度末の竣工に向け、建設工事を進めていたが、建設業の人材（職人）不足等の影響に加え、現場監督や工程管理が不十分であったことにより、工期を令和 7 年 5 月末まで延期した。 新庁舎の運用開始が遅れることにより、業務計画等を調整する必要がある、職員の士気にも影響することが考えられる。 5 月末までの竣工に向け工程管理の徹底や関係業者との連携強化に努めるとともに、消防力の強化を図るため、組織改革や体制の見直しを図るなど、将来を見据えた体制づくり等について、引き続き検討していく。					

担当課	消防本部				
実施計画事業名	消防・救急車両整備事業				
事業の概要	各種災害発生時の被害軽減を図り、市民の安全安心な生活を守るため、消防署本署・分署配備の消防・救急車両を計画的に更新します。				
事業の目標（評価指標）	救急・消防車両の更新台数				
目標値	1 台				
実績値	1 台				
事業目標の達成度		事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	A	達成度	5
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	多種多様な災害活動現場に迅速に必要な資機材を搬送し、消防・救急・救助活動体制を確保するため、クレーン及びパワーゲートリフター付き平ボディ型消防資機材搬送車を導入した。 今後も計画的な更新に加え、既存車両の点検整備も適切に行い、長寿命化を図っていく必要がある。				

担当課	消防本部						
実施計画事業名	ドローン運用体制構築事業						
事業の概要	火災や自然災害等の災害発生時に迅速な情報収集活動を行うため、高性能ドローンを導入し、災害状況の早期確認や行方不明者の捜索に活用するなど消防機能の強化を図ります。						
事業の目標（評価指標）	操縦士の養成人数						
目標値	3名						
実績値	3名						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は既存のドローンに物資搬送・投下機能及び望遠カメラ機能を追加し、多種多様な状況に応じた活動ができるよう整備を行った。また、操縦士も予定の人数を養成することができ、訓練も定期的に行い操縦技術の向上に努めた。  運用実績については6件の活動があり、災害現場の状況把握に力を発揮した。引き続き計画的に操縦士を養成し、より効果的な運用体制を構築する必要がある。						

担当課	消防本部						
実施計画事業名	消防団員確保対策・活動事業						
事業の概要	消防団を中核とした地域防災力の充実強化及び団員の確保を図ります。 また、消防団活動に対して支援を行うため、車両及び資機材の整備を行います。						
事業の目標（評価指標）	消防団加入率						
目標値	3.78%						
実績値	3.51%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	C	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は新規加入者に対して退団者が多かったことから、団員減少に歯止めをかけることができず、実績値は過去5年で最低値となった。 消防団車両及び小型動力ポンプは計画的に更新することができた。 今後は、消防団の必要性や魅力について、発信する機会を増やし、今まで以上に消防団員の加入促進に努めていくとともに、引き続き消防団施設の整備や装備の充実を図り、団員の活動環境の改善にも努め、消防団員の維持・確保につなげていく必要がある。						



担当課	消防本部	◆					
実施計画事業名	消防団員活動服更新事業						
事業の概要	消防団活動の安全性及び機能性の向上を図るため、全消防団員の活動服を視認性等に優れたものに更新します。						
事業の目標（評価指標）	全団員分更新						
目標値	500着						
実績値	513着						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	令和6年度は想定数以上の更新ができ、班長以上の団員に貸与することができた。 2カ年計画での更新事業のため、令和7年度は早期納品に努め、全団員分を更新し、消防活動の安全性を高め、統一感と士気の向上を図る必要がある。						

平均②	4.0
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.2	=	平均① 3.0	× 4/5	+	平均② 4.0	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

消防車両・装備の計画的更新やドローン運用体制の強化など、事業を着実に実施できたものがある一方で、庁舎工期の延期に伴う効率的な消防体制構築への影響や消防団員減少の課題も顕在化しており、計画の見直しや団員確保に向けた積極的な取組が求められる。

火災予防の面では住宅用火災警報器の設置率が低下した。無作為抽出による調査方法において、設置が進んでいない地域もあることがわかったため、広報活動を中心に普及啓発に取り組んでいく。

今後も消防力の充実・強化に向けた施策を計画的かつ着実に推進していくとともに、地域防災力の要である消防団との連携を強化することにより、引き続き災害に強いまちづくりを進めていく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	交通対策課・建設課・学校教育課
政策区分	4 安全・生活基盤	
施策項目	③ 防犯・交通安全	
施策内容	犯罪や事故を防ぎ 安心して暮らせるまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
スマホ（携帯電話）等の利用について家庭で決めたルールがある中学生の割合	37.7%	目標値	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0
		実績値	52.9	45.7	47.0	47.8	44.9
		達成率（%）	132.3	101.6	94.0	86.9	74.8
		達成度	5	4	3	3	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
安全施設（カーブミラー）設置数	5か所/ 年	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	7	14	5	8	4
		達成率（%）	140.0	280.0	100.0	160.0	80.0
		達成度	5	5	4	5	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
総事故件数	473件/ 年	目標値	460	440	420	400	380
		実績値	411	407	474	478	447
		達成率（%）	111.9	108.1	88.6	83.7	85.0
		達成度	4	4	3	3	3

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	2.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	交通対策課						
実施計画事業名	交通指導員配置・啓発事業						
事業の概要	交通安全意識の高揚を図るため、新見市交通指導員設置要綱に基づき交通指導員を委嘱し、街頭指導活動などを行います。						
事業の目標（評価指標）	総事故件数						
目標値	380件						
実績値	447件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B	A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	B	達成度	3		
B (2.0) 80%以上できた				+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた							
D (0.5) 60%未満しかできなかった				※四捨五入			
事業の成果・課題	交通安全運動期間中のテント村・キャラバン隊・鼓笛パレードなどの啓発活動を実施することができ、交通安全意識の高揚を図ることができた。昨年度比では減少しているものの、依然として事故件数は多いため、引き続き新見警察署や交通安全協会と連携し交通安全意識の高揚を図る取組を強化する必要がある。						

担当課	交通対策課						
実施計画事業名	新見防犯連合会補助金						
事業の概要	市内の地域・職域防犯団体及び新見警察署内の地域安全推進員をもって組織された新見防犯連合会の運営費を補助します。						
事業の目標（評価指標）	市内の刑法犯認知件数						
目標値	50件						
実績値	69件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	C		A (1.5) 高い	B	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	新見防犯連合会の運営を支援することで、連合会では、「子ども110番の家」の設置、広報LINEアプリを使用した情報発信などを実施しており、防犯意識の醸成に取り組むことが出来ている。引き続き運営を支援するとともに、連携した取組を行う必要がある。						

担当課	交通対策課				
実施計画事業名	自動車急発進防止装置整備費補助事業				
事業の概要	高齢運転者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故の防止のため、急発進を抑制する装置の購入費等の一部を補助します。				
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数				
目標値	15件				
実績値	7件				
事業目標の達成度		事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	D	A (1.5) 高い	B	達成度	2
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和４年度から本事業を実施しており、令和６年度で終了することから市報等で積極的に周知したが、標準装備で防止装置を搭載した車両が発売されることとなったことなどから目標値を達成することができなかった。				

担当課	交通対策課	◆					
実施計画事業名	自転車用ヘルメット着用促進事業						
事業の概要	自転車を利用する市民のヘルメット着用を促進し、事故による負傷の軽減を図るため、購入額に応じて一みんポイントを付与します。						
事業の目標（評価指標）	補助金交付件数						
目標値	360件						
実績値	111件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	B	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和5年12月から事業を開始し、令和6年度で終了することから市報等で積極的に周知したが、目標値を達成することができなかった。しかし、補助を通じて購入の推進だけでなく、安全意識の醸成にも寄与したと考えており、この事業により確実に市民の自転車用ヘルメットの着用率は向上したと思われる。						

平均②	2.3
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.6
-------------	-----

$$= \frac{\text{平均①}}{2.7} \times \frac{4}{5} + \frac{\text{平均②}}{2.3} \times \frac{1}{5}$$

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

犯罪や事故を防ぎ、安心して暮らせるまちを実現するために、「防犯・交通安全意識の醸成」「子どもたちを犯罪から守る取組」「犯罪・事故が起きにくいまちづくりの推進」に取り組んだ。

「防犯・交通安全意識の醸成」としては、新見防犯連合会の活動に対する助成を行ったほか、交通指導員配置・啓発事業などを実施し意識の醸成を図った。また、「犯罪・事故が起きにくいまちづくりの推進」としては、防犯灯の設置に対する補助や消費者相談所の設置、自動車急発進防止装置の装備や自転車用ヘルメットなどに対して補助金を交付したほか、安全施設（カーブミラー）を、設置要望のある箇所について、有効性を検討した上で、速やかに設置した。令和6年度は、例年に比べて要望が少なく、目標数に達することができなかった。引き続き、広報による周知を行い、交通事故発生への低減に向け、適切かつ迅速な設置に努める。「子どもたちを犯罪から守る取組」では、学校において児童・生徒、保護者に向けた携帯安全教室等を実施するなど、情報モラル教育に取り組んでいるものの、スマホ等の利用について家庭で決めたルールがある中学生の割合は減少した。引き続き、児童・生徒に対しスマホ等の適切な利用について指導を行うとともに、家庭でのルールづくりの重要性について参観日やPTA総会で伝えるなど、保護者の防犯意識の向上に取り組む。

市内で発生した刑法犯の認知件数は、例年50件程度で推移しており、県内15市と比較しても少ない水準を維持できていたが、令和6年度については69件と前年度比で増加している。特殊詐欺などの知能犯は前年比で減少しているが、市内でも未だに被害が発生していること、窃盗犯が前年度比で増加していることから、これらのことに対して総合的に対策を講じることが有効である。このことから、令和7年度から新たに防犯灯・防犯カメラ・防犯機能付電話機の設置を支援する新見市防犯対策支援事業を行い、補助金を交付することで市民の安心安全意識の醸成を行うとともに、引き続き関係団体と連携した取組を継続する。

また、交通事故の発生件数は総事故件数、人身事故件数ともに前年度比で減少しているが、引き続き交通事故を増やさないような対策を講じるとともに、関係団体と連携した取組を推進する。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	上水道課・下水道課
政策区分	4 安全・生活基盤	
施策項目	④ 水道・下水道	
施策内容	運営の安定と効率化を図り 快適な生活環境を提供する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
水道有収率	78.0%	目標値	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0
		実績値	82.2	82.1	83.5	82.6	82.5
		達成率（%）	104.1	102.6	103.1	100.7	99.4
		達成度	4	4	4	4	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
下水道水洗化率	85.9%	目標値	86.7	87.5	88.3	89.1	90.0
		実績値	86.3	86.8	87.2	91.3	93.4
		達成率（%）	99.5	99.2	98.8	102.5	103.8
		達成度	3	3	3	4	4

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.5
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	上水道課						
実施計画事業名	上水道区域老朽配水管更新事業（大佐、神郷、哲多、哲西）						
事業の概要	大佐、神郷、哲多、哲西支局管内の送配水管について、老朽化した送配水管を更新し、安定した飲料水の供給と維持管理労力の削減を図ります。						
事業の目標（評価指標）	老朽配水管の更新延長						
目標値	L=1,300m						
実績値	L=1,381.7m						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は老朽化した配水管1,381.7 mの更新を実施した。令和5年度と同様に現状の使用水量等を考慮し、管径を小口径化するなど、施工費用の抑制に努めることで計画を上回る延長の更新ができた。今後も安定した飲料水の供給と維持管理労力の削減のために、老朽管更新を計画的に行う必要がある。						

担当課	上水道課						
実施計画事業名	配給水施設維持管理業務						
事業の概要	各配水施設の維持修繕、電気機械設備の保守点検、漏水調査を行い、施設の維持管理及び有収率の向上を図ります。						
事業の目標（評価指標）	馬塚浄水場生物接触ろ過池点検業務、馬塚浄水場運転管理業務、水道施設運転管理業務、遠隔監視システム保守点検業務						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	浄水設備については、令和6年度において哲西浄水場の急速ろ過設備の更新工事を実施した。また、水道施設については、運転管理・保守点検業務、漏水調査を実施し安全で安心な水の提供に努めた。 今後も、各施設・機械の修繕や保守点検、漏水調査を随時実施し、安定した飲料水を提供するとともに有収率の維持・向上を図る必要がある。						

担当課	下水道課	◆					
実施計画事業名	浄化槽設置事業						
事業の概要	市民の快適な生活環境の実現と豊かな自然環境を守るため、浄化槽を設置します。						
事業の目標（評価指標）	合併処理浄化槽設置工事の竣工数						
目標値	20基／年						
実績値	23基／年						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	申請のあった21基全てに合併処理浄化槽を設置し、水洗化率を向上することができた。また、公共施設 2 箇所で、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換工事を行った。 引き続き、公共用水域の水質汚濁防止及び生活環境の向上に向け、合併処理浄化槽の設置に取り組んでいく。						

担当課	下水道課						
実施計画事業名	ストックマネジメント事業						
事業の概要	下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化するストックマネジメント計画（管路施設・処理場設備）に基づき、順次調査点検業務や老朽化した施設の設備更新工事を実施します。						
事業の目標（評価指標）	管路の調査・点検、老朽化した施設の設備更新工事						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	管路施設については、令和2年度に策定したストックマネジメント計画（管路施設）に基づき、管路の調査・点検を行ったほか、マンホールポンプ設備の更新工事（ポンプ5基・制御盤8面）を行った。 処理場設備については、2施設の電気設備の詳細設計を実施した。令和7年度に電気設備更新工事を行う予定である。 今後も、管路施設・処理場設備の両ストックマネジメント計画により、施設の点検・調査、修繕・改築を計画的に進める必要がある。						

平均②	4.0
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）



#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.6
-------------	-----

=

平均①
3.5

× 4/5+

平均②
4.0

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

水道事業については、漏水調査や老朽配水管更新を計画的に実施し、目標値を若干下回ったものの昨年度並みの有収率を維持し、快適な生活環境を提供することができた。

引き続き、老朽配水管更新や配給水施設維持・修繕等を適切かつ計画的に実施することで、運営の安定と効率化を進める必要がある。

下水道事業については、合併処理浄化槽設置の推進やストックマネジメント計画による管路等の設備更新を図り、市民の快適な生活環境と豊かな自然環境の保全を守ることができた。

引き続き、管路施設・処理場設備の両ストックマネジメント計画に基づき、計画的な修繕・改築を実施することで、良好な施設状態の維持と事業費の削減及び平準化により持続可能な事業運営に努める。



## 5 都市基盤・交通

## 令和 7 年度 第 3 次新見市総合計画 政策評価シート（令和 6 年度実績）

1 政策内容	担当部	建設部・総務部・市民生活部
5 都市基盤・交通	人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
5－①	道路	災害に強く、機能的な道路ネットワークを確保する	2.9
5－②	住環境・情報通信	快適な住環境を提供するため質と量の確保、向上に努める	4.1
5－③	公共交通	既存の交通資源を活用し持続可能な交通体系を確立する	3.7
達成レベル平均			3.6

(小数点第 2 位四捨五入)

## 3 総合評価

	評価
<p>道路分野については、災害に強い道路ネットワークの確保のため、道路改良工事や舗装工事などを着実に実施した。また、道路愛護会活動の支援の強化や道路パトロールの体制強化、除雪管理システム導入による現場作業や事務処理の効率化を図るなど、維持管理における業務の改善にも積極的な取組を行った。</p> <p>住環境・情報通信分野では、金谷土地区画整理事業の都市計画決定、事業計画の作成及び認可申請を計画どおり実施し、令和 7 年度からの本格的着手への道筋をつけた。また、4 支局管内及び本庁に、土日祝日でもマイナンバーカードを利用し、住民票などを取得できる証明書等自動発行機を導入することで、市民の利便性向上と職員の業務軽減につながった。</p> <p>公共交通分野では、乗合タクシーの運行や I C O C A ポイントを活用した鉄道利用促進、市街地循環バスの運行支援を連携することで市街地循環バスの乗車人数の目標を上回るなどの成果があった。</p> <p>引き続き、市民が安全・安心に暮らすことができる都市基盤整備を推進するとともに、市民生活の利便性向上につながる各種サービスの実施や持続可能な交通体系の構築を推進していく。</p>	3.6

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	建設課
政策区分	5 都市基盤・交通	
施策項目	① 道路	
施策内容	災害に強く、機能的な 道路ネットワークを確保する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
道路改良率（市道・ 県道）	51.4%	目標値	51.5	51.6	51.7	51.9	52.0
		実績値	51.4	51.4	51.4	51.6	51.7
		達成率（%）	99.8	99.6	99.4	99.4	99.4
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
道路舗装率（市道・ 県道）	85.0%	目標値	85.1	85.2	85.4	85.5	85.6
		実績値	85.0	85.0	85.0	85.1	85.1
		達成率（%）	99.9	99.6	99.5	99.5	99.4
		達成度	3	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
長寿命化対策橋梁数 （通算）	57橋	目標値	59	69	89	109	129
		実績値	60	66	74	78	82
		達成率（%）	101.7	95.7	83.1	71.6	63.6
		達成度	4	3	3	2	2

達成度  
 5：120%以上  
 4：100%以上 120%未満  
 3：80%以上 100%未満  
 2：50%以上 80%  
 1：50%未満

平均①	2.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	建設課						
実施計画事業名	道路新設改良事業						
事業の概要	市民生活や公共交通機関の利便性の向上を図るため、道路の改良や舗装を行います。						
事業の目標（評価指標）	道路新設改良路線数						
目標値	31						
実績値	30						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は予定していた31路線の道路改良工事及び道路舗装工事のうち30路線を完了した。用地交渉等に時間を要した1路線については年度内完成に至らなかったが、令和7年度早期完了の見込みである。 未改良区間は、急峻な地形が多く工事コストが割高となり、改良延長が伸びない状況であるが、引き続き、工法や費用対効果を検証しながら、道路改良等を進める。						

担当課	建設課						
実施計画事業名	道路愛護会活動支援事業						
事業の概要	道路愛護会が実施する生活道路の草刈、維持管理活動に対して活動報償費を支給します。						
事業の目標（評価指標）	道路愛護会活動実施延長						
目標値	1,408 k m						
実績値	1,408 k m						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度から活動報償費を増額し、より意欲的に活動いただいたことで、目標値に達することができた。 しかし、愛護会会員の減少や高齢化等により作業実施が年々困難となっている地域もあることから、組織の維持や作業の省力化などについても検討していく必要がある。						

担当課	建設課	◆					
実施計画事業名	除雪事業						
事業の概要	冬季積雪時の交通を確保するため、除雪車を更新するほか、除雪業務の適性管理と報告事務の効率化を図り、市民からの苦情・要望を迅速かつ適切に管理するため、除雪管理システムを導入し、効率的な除雪を行います。						
事業の目標（評価指標）	除雪道路実施延長						
目標値	142.5km						
実績値	142.5km						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は、除雪トラック2台（2 t、4 t）の更新及び、除雪管理システムの導入を行なった。 システムの導入により、除雪委託受注者による紙ベースの報告作業が省略され、実施報告の集計作業など格段に効率が向上したほか、委託料の支払事務に伴う作業時間が大幅に短縮するなど、事業効率の上昇に大きく貢献している。 市民の安全を確保するため、引き続き、円滑な除雪に努める。						

担当課	建設課						
実施計画事業名	橋梁老朽化対策事業						
事業の概要	安全安心な都市基盤を維持するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を行います。						
事業の目標（評価指標）	補修橋梁数						
目標値	7						
実績値	4						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は予定していた7橋のうち4橋の橋梁修繕を完了した。残りの3橋については、伯備線跨線橋の施工に日数を要したことなどから遅れが生じたが、令和7年度に完了予定である。 橋梁長寿命化修繕計画に掲載する895橋を5年間で一巡するよう点検を実施しており、令和6年度に181橋を点検した結果、今後も30橋の修繕が必要であることから、引き続き計画的に修繕を進めていく。						

担当課	建設課						
実施計画事業名	市道及び管理県道道路パトロール及び維持補修事業						
事業の概要	道路パトロール業務を委託し、維持管理体制の強化を図ります。						
事業の目標（評価指標）	道路パトロール実施道路延長（委託）						
目標値	196km						
実績値	196km						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	<p>市管理道路の維持管理体制強化のため、令和４年度から道路パトロール業務の一部を委託しており、令和６年度も道路の異常等の早期発見に努め、陥没等の異常を発見した際に迅速な対応ができた。</p> <p>また、令和６年度は、更なる維持管理体制の強化に向け、道路維持作業用自動車１台を導入した。</p> <p>引き続き、適切な道路の維持修繕を行うため、令和７年度から２班体制で道路パトロールを実施する。</p>						

平均②	3.6
(小数点第2位四捨五入)	

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9	=	平均①	2.7	× 4/5	+	平均②	3.6	× 1/5
-------------	-----	---	-----	-----	-------	---	-----	-----	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

ハードでは、防災・減災に向け、橋梁修繕や災害時の避難路にもなる道路の改良について実施した。JR跨線橋など施工に日数を要する工事を繰り越したため、目標値を達成することができなかった。道路の改良率・舗装率については、ほぼ計画どおり改良することができたが、約1kmを新たに市道認定したため目標値の達成には至らなかった。今後も災害時の円滑な避難や緊急自動車の通行ができるよう計画的に改良を進める。また、橋梁老朽化対策については、毎年の点検の結果、新たに修繕が必要となった橋梁についても計画的に修繕を行い、引き続き、橋梁の長寿命化を図る。

ソフトでは、除雪トラック2台を購入し除雪体制の強化を図るとともに、GPS除雪管理システムを導入し効率的な道路維持管理に寄与できた。

引き続き、災害に強く機能的な道路ネットワークの確保に取り組む。



## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	都市整備課・情報政策課
政策区分	5 都市基盤・交通	
施策項目	② 住環境・情報通信	
施策内容	快適な住環境を提供するため 質と量の確保、向上に努める	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
現在の住居に満足している市民の割合	63.0%	目標値	64.0	65.5	67.0	68.5	70.0
		実績値	77.3	81.3	76.6	82.2	80.0
		達成率（%）	120.8	124.1	114.3	120.0	114.3
		達成度	5	5	4	5	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定空家除却件数 （通算）	33件	目標値	38	43	48	54	60
		実績値	40	48	57	70	86
		達成率（%）	105.3	111.6	118.8	129.6	143.3
		達成度	4	4	4	5	5

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
各種サービスの加入率	CATV 71.1%	目標値	71.5	71.9	72.2	72.6	73.0
		実績値	71.3	70.7	70.0	69.1	67.9
		達成率（%）	99.7	98.3	97.0	95.2	93.0
		達成度	3	3	3	3	3
	インターネット 40.5%	目標値	41.4	42.3	43.2	44.1	45.0
		実績値	43.2	45.2	46.2	46.8	47
		達成率（%）	104.3	106.9	106.9	106.1	104.4
		達成度	4	4	4	4	4
	IP 電話 25.2%	目標値	25.8	26.3	26.9	27.4	28.0
		実績値	25.1	24.9	24.3	23.9	23.4
		達成率（%）	97.3	94.7	90.3	87.2	83.6
		達成度	3	3	3	3	3
	総合達成度		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3

（小数点第 2 位四捨五入）

達成度
5：120%以上
4：100%以上 120%未満
3：80%以上 100%未満
2：50%以上 80%未満
1：50%未満

平均①	4.1
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	都市整備課						
実施計画事業名	市営住宅管理事業						
事業の概要	低所得者や高齢者、子育て世帯など住宅確保要配慮者の居住安定を図るため、市営住宅等の運営を行います。						
事業の目標（評価指標）	市営住宅の適正な管理戸数						
目標値	306戸						
実績値	307戸						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B		達成度	3
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	新見市営住宅長寿命化計画に基づき、神郷神代団地（6戸）及び石蟹団地（4戸）で長寿命化改修工事、後山団地（18戸）で福祉対応型工事を実施した。  評価指標である戸数目標については、現時点でほぼ達成しているものの、令和6年度は戸数削減に至っていないため、今後も長寿命化計画に基づき、需要に即した供給量の確保、適切な維持管理とトータルコストの低減に取り組む。						

担当課	都市整備課						
実施計画事業名	空家等対策推進事業						
事業の概要	空家等対策協議会を開催するほか、空家の適正管理（除却・付帯工事や応急措置）支援として補助金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	特定空家除却件数（通算）						
目標値	60件						
実績値	86件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				+ 効率性
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
事業の成果・課題	1 月に空家等対策協議会を開催し、除却事業の進捗などについて協議を行った。令和 6 年度は補助金の受入枠を15件から20件に増枠し、16件の除却につながった。  空家除却の相談件数は年々増加していることから、令和 7 年度も補助金の受入枠を20件に設定し、引き続き重点的に支援していく。						

担当課	都市整備課						
実施計画事業名	金谷地区土地区画整理事業						
事業の概要	都市計画道路を基軸とした市街地を整備するため、金谷地区の土地区画整理事業を行います。						
事業の目標（評価指標）	土地区画整理事業の都市計画決定及び事業計画の作成の進捗率						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>土地区画整理事業の都市計画決定においては、公告及び案縦覧を行い、新見市都市計画審議会への諮問を経て、1月に都市計画決定を行うことができた。</p> <p>また、令和5年度において見直しが必要となった事業費低減についての検討や年度ごとの事業費の平準化等の修正を行い、事業計画を作成し、県へ認可申請を行った。</p> <p>令和7年度は、令和9年度からの工事開始に向けて、土地区画整理審議会の設置、仮換地設計等に取り組む。</p>						

担当課	都市整備課							
実施計画事業名	新見駅周辺まちづくり検討事業							
事業の概要	新見駅を中心に中心市街地にふさわしい都市機能の充実とにぎわいを創出するため、有識者や住民の意見などを参考にしながら新見駅周辺のまちづくりを検討します。							
事業の目標（評価指標）	エリアプラットフォームによるにぎわい創出							
目標値	－							
実績値	－							
事業目標の達成度			事業の効率性			評価		
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4	
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性		
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い				
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>令和6年度はエリアプラットフォーム「新見駅周辺みらいプロジェクト」を中心に、新見駅周辺まちづくり基本構想の実現に向けたアクションプラン「にいプロ未来ビジョン」を作成し、にぎわい創出に向けた実証実験（親水公園での集客イベント、新見駅前及び親水公園への椅子・机設置、昭和町公園でのマルシェ開催、新見美術館の企画と連携したスタンプラリー）を行った。親水公園や昭和町公園でのイベントで行った来場者へのアンケート調査では、「次回もまた開催してほしい」との声が多数あるなど大変好評であったほか、新見美術館のスタンプラリーでは、2週間の実施機関で先着200名分用意していた景品が2日で配布終了するなど、想定を遥かに上回る来場者があり、にぎわいの創出に大きく寄与することができた。</p> <p>ハード整備では、高梁川親水公園の有効活用のため、電源設備の設置を行った。また、新見駅のバリアフリー化について、本市において整備案の検討を行い、ＪＲ西日本と協議を行った。</p> <p>令和7年度は、作成したアクションプランに基づき、にぎわい創出に向けた取組を継続していくとともに、新見駅バリアフリー化の早期実現に向けて、ＪＲ西日本との協議を継続していく。</p>							

担当課	情報政策課	◆					
実施計画事業名	証明書等自動発行機導入事業						
事業の概要	4支局管内及び本庁に証明書等自動発行機を設置し、土日祝日も利用できる機会を創出するとともに、操作方法を教示しながらコンビニで証明書等を取得してもらえよう誘導し、窓口業務の省力化を目指します。						
事業の目標（評価指標）	自動発行機導入台数						
目標値	5台						
実績値	5台						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	A	達成度	5		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	証明書等の取得について、コンビニが周辺にない地域に対応するため、4支局管内に土日祝日も証明書等を取得できるように証明書等自動発行機を設置した。また、本庁にも設置し、積極的に利用を促した結果、コンビニでの取得を含めて、全体の発行数の20%が自動発行機で行われ、窓口業務の省力化に寄与することができた。 引き続き、広報等の利用促進を行い、窓口業務の省力化に努める。						

平均②	4.0
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.1
-------------	-----

=

平均①
4.1

× 4/5+

平均②
4.0

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

光ファイバ網の設備保守等を適切に行うことにより、告知放送をはじめ通信、映像等の各種サービスを安定して提供することができた。

達成目標である各種サービスの加入率については、インターネット以外が低下した。オンデマンド配信や固定電話自体を置かない家庭の増加等、社会情勢の変化が要因として考えられる一方で、様々なオンラインサービスの発達、インターネットの加入率の増加に寄与しているものと推測される。

また、コンビニが周辺にない地域で、土日祝日でもマイナンバーカードを利用し住民票などを取得できるよう、4支局管内に証明書等自動発行機を設置するとともに、本庁にも設置し、窓口業務の省力化ができた。

今後も、誰もが利用しやすい行政サービスのデジタル化など、便利で快適な住環境の提供に取り組んでいく。

住環境分野については、市営住宅の長寿命化事業及び福祉対応型工事の実施や空家対策による住環境整備を実施したほか、都市基盤整備では、金谷土地区画整理事業の事業計画作成及び認可申請を計画どおりに進めることができた。また、新見駅周辺のまちづくりでは、「新見駅周辺みらいプロジェクト」による、官民一体となった賑わい創出の実証実験を実施するとともに、利便性向上のためのハード整備を進めることができた。

今後も、快適な住環境整備に向けて事業を着実に実施するとともに、土地区画整理や新見駅を中心としたまちづくりによる利便性の向上及びにぎわい創出に向けた具体的な取組を進めていく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	交通対策課
政策区分	5 都市基盤・交通	
施策項目	③ 公共交通	
施策内容	既存の交通資源を活用し 持続可能な交通体系を確立する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
J R 新見駅の乗車人数	733人/ 日	目標値	735	740	750	755	760
		実績値	475	520	603	659	668
		達成率（%）	64.6	70.3	80.4	87.3	87.9
		達成度	2	2	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
公共交通空白地域の人口率	7.0%	目標値	7.0	6.9	6.8	6.6	6.5
		実績値	7.0	7.8	6.7	6.6	5.6
		達成率（%）	100.0	88.5	101.5	100.0	116.1
		達成度	4	3	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市街地循環バスの乗車人数	101.85人/日	目標値	101.85	101.85	101.90	101.95	102.00
		実績値	98.05	95.81	103.01	107.11	109.43
		達成率（%）	96.3	94.1	101.1	105.1	107.3
		達成度	3	3	4	4	4

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	3.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	交通対策課						
実施計画事業名	市営バス運行事業						
事業の概要	市民の交通の利便性を向上させるため、市営バスやふれあいバスを運行します。						
事業の目標（評価指標）	公共交通空白地域の人口率						
目標値	6.5%						
実績値	5.6%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>市民の移動手段を確保し利便性の向上を図るためＪＲや民間路線バスの運行がない地域において、市営バスや乗合タクシー、ふれあい送迎バスの運行を行った。</p> <p>令和６年度は、新たに哲多地域において乗合タクシーの実証運行を開始し、交通空白地の解消及び地域住民の利便性向上を図ることができた。</p> <p>令和７年度は新見南部地域での実証運行を予定しており、今後も地域に合わせた持続可能な交通体系の構築に取り組む。</p>						

担当課	交通対策課						
実施計画事業名	市街地循環バス運行補助金						
事業の概要	市街地の流動促進や交流人口の増加のため、市街地循環バスの運行を補助します。						
事業の目標（評価指標）	市街地循環バスの乗車人数						
目標値	102.00人／日						
実績値	109.43人／日						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A（3.0）	100%以上できた	A	A（1.5）	高い	B	達成度	4
B（2.0）	80%以上できた		B（1.0）	やや高い		+ 効率性	
C（1.0）	60%以上できた		C（0.5）	やや低い			
D（0.5）	60%未満しかできなかった		D（0.2）	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>市街地循環バスの運行を支援することで市街地での移動手段を提供し、市街地の人流を促進することができた。</p> <p>また、令和6年度は、「F A N 2 0 2 4」の開催に合わせた無料乗車デーの実施やキャッシュレス決済の推進などにより、利用者の増加につなげることができた。</p> <p>市街地循環バスは、乗合タクシーの導入を進めていく中で、市街地とそのほかの地域を結ぶ交通手段として欠かすことができないものであることから、引き続き運行事業者に対して運行補助を行う。</p>						



担当課	交通対策課						
実施計画事業名	地域公共交通計画に基づく公共交通再編事業						
事業の概要	地域公共交通計画に基づき、大佐地域での乗合タクシーの本格運行を目指します。また、令和6年度は新たに哲多地域で乗合タクシーの実証運行を行います。						
事業の目標（評価指標）	公共交通空白地域の人口率						
目標値	6.5%						
実績値	5.6%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>令和6年度は大佐地域の実証運行を本格運行に移行したほか、哲多地域において実証運行を開始した結果、公共交通の空白地域の解消を進めることができた。</p> <p>実証運行後に実施したアンケートでは、「便利になった」と回答した住民の割合が「便利になったと思わない」と回答した住民の割合を上回っており、地域住民の利便性の向上を図ることができた。</p> <p>令和7年度は、新見南部地域で実証運行を予定しており、市営バスや民間路線バス、民間タクシーを含めた交通体系のあり方を議論しつつ、より効率的で利便性の高い交通体系の構築を行う。</p>						

担当課	交通対策課	◆					
実施計画事業名	公共交通DX（AIデマンド交通配車システム）導入事業						
事業の概要	乗合タクシーの更なる利用促進を図るため、AI技術を活用したデマンド交通配車システムを導入し、その効果を検証します。						
事業の目標（評価指標）	乗車人数（令和5年度以前導入エリア）						
目標値	10,000人						
実績値	10,328人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		令和5年度から乗合タクシーを導入しており、順次エリア拡大を行っている。システムの導入により1件当たりの受付時間が短縮できており、高齢者を中心に利用者数が増加している。1配車あたりの乗車人数の増加が、運行の効率化につながるため、利用者数とともに乗車人数の増加に努める必要がある。また、インターネット経由の配車予約が少ないため、利用方法の周知を図っていく必要がある。					

担当課	交通対策課						
実施計画事業名	鉄道利用促進事業						
事業の概要	ＪＲ利用者の増加を図るため、新見市鉄道利用促進協議会を中心に、ＩＣＯＣＡポイントを活用した利用促進の取組や利用啓発活動、各種イベント等を行います。						
事業の目標（評価指標）	ＪＲ新見駅の乗車人数						
目標値	760人						
実績値	668人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	公募型鉄道利用促進事業では「牧水が愛した阿哲路」再発見プロジェクト、芸備線を走る観光列車プロジェクトを採択し、芸備線を活用したツアーの開催により、鉄道の利用促進を行った。また、新見市鉄道利用促進協議会の事業として、運賃の一部を地域ポイントで還元するキャンペーンや小中学校行事での利用に対する助成、グループ利用促進事業、親子利用促進事業「鉄道の乗り方親子教室」などを実施し、鉄道利用促進の機運醸成を図った。 ＪＲ新見駅の乗車人数は目標値に達しなかったものの、着実に増加傾向にあるため、引き続き取組を継続し、鉄道利用の機運醸成と利用者増加に努める。						

平均②	3.8
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.7	=	<table border="1"><tr><td>平均①</td></tr><tr><td>3.7</td></tr></table> × 4/5	平均①	3.7	+	<table border="1"><tr><td>平均②</td></tr><tr><td>3.8</td></tr></table> × 1/5	平均②	3.8
平均①									
3.7									
平均②									
3.8									

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度は「まちづくりと連動した地域交通ネットワークの構築」、「持続可能な交通体系の確立」、「公共交通の利用促進」に取り組んだ。

「まちづくりと連動した地域交通ネットワークの構築」については、地域公共交通計画に基づく公共交通再編事業や市営バス運行事業、市街地循環バス運行補助金などの実施により交通ネットワークの構築や交通空白地の削減を図り、高齢者や学生などの移動の利便性向上につなげることができた。

「持続可能な交通体系の確立」については、路線バスのスクール利用やスクールバス混乗化の検討に取り組んだ。

「公共交通の利用促進」については、鉄道利用促進事業や乗合タクシーを導入するなどの事業を実施したことで、市街地循環バスの乗車人数の目標値を上回るなど、利用促進につながっている。一方でＪＲ新見駅の乗車人数は、前年と比較すると増加しているが、コロナ禍以前の水準までは戻っておらず、取組を継続する必要がある。

引き続き、ＪＲや路線バスなど幹線交通と乗合タクシーなど支線交通を最適化することで、効率的で持続可能な交通体系の構築を推進していく。



## 6 環境

## 令和 7 年度 第 3 次新見市総合計画 政策評価シート（令和 6 年度実績）

## 1 政策内容

担当部

市民生活部・産業部

6 環境	自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる
------	-----------------------

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
6－①	環境・自然・生態系	環境負荷の少ない社会を実現し 豊かな自然と生態系を守る	4.1
6－②	廃棄物・公害	全ての市民が、環境意識を高め 低負荷・循環型社会への転換を目指す	2.9
達成レベル平均			3.5

（小数点第 2 位四捨五入）

## 3 総合評価

評価	
地球温暖化の進行に伴う、環境負荷の低減と循環型社会の実現に向け、公共施設の P P A 方式による電力削減や家庭向けの脱炭素に向けた支援など各種施策に積極的に取り組んだ。	
今後は、2030年ゼロカーボンシティの実現に向け、民間事業等の脱炭素に向けた意識啓発と取組の推進を図るとともに、プラスチック再資源化の推進、CO2吸収機能を十分発揮するための森林整備の推進とカーボンオフセットの仕組みづくりに向けた取組を進める。	3.5
また、豊かな自然と生態系の保持についても、市民や関係団体と協働した取組を行っており、令和 6 年度には公益財団法人岡山県環境保全事業団と「豊かな自然環境保全に関する連携協定」を締結した。今後、専門的な知見やデータを取り入れた強力な活動の推進に向け、協働していく。	

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	環境課・林業振興課
政策区分	6 環境	
施策項目	① 環境・自然・生態系	
施策内容	環境負荷の少ない社会を実現し 豊かな自然と生態系を守る	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
公共水域における環境基準の達成率	100.0%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成度	4	4	4	4	4

達成度 5：120%以上 4：100 %以上 120 %未満 3：80 %以上 100 %未満 2：50 %以上 80 % 1：50 %未満
---

平均①	4.0
-----	-----

(小数点第 2 位四捨五入)

## 3 実施計画事業評価

担当課	環境課						
実施計画事業名	公共施設における脱炭素促進事業						
事業の概要	P P A 方式により自家消費型太陽光発電設備を導入するとともに、電力使用量の削減を図るため、エアコン制御・最適化機器（E M S：エネルギー・マネジメント・システム）を導入するなど、公共施設の脱炭素化を促進します。						
事業の目標（評価指標）	導入施設数						
目標値	2 施設						
実績値	3 施設						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	P P A 方式による自家消費型太陽光発電設備については、哲西支局、神郷支局において導入することができた。また、エアコン制御・最適化機器に関しては、新見保育所に導入ができ、公共施設の脱炭素化を促進することができた。P P A 事業に関しては、有効な対象施設がないため、令和 6 年度で終了となるが、引き続き、公共施設の脱炭素化に向けて取り組んでいく必要がある。						

担当課	環境課						
実施計画事業名	住まいの脱炭素促進事業						
事業の概要	家庭での脱炭素化を促進するため、太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車用普通充電器等の設置に係る経費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助実績						
目標値	30件						
実績値	37件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	市外事業者による設置要件の緩和により、太陽光発電システムや蓄電池の導入については目標以上の申請があった。しかし、市内事業者を通じた申請件数が減少したため、市内事業者を通じた申請を増加させるための見直しが必要である。						

担当課	環境課						
実施計画事業名	暮らしの脱炭素促進事業						
事業の概要	暮らしの中での脱炭素化を促進するため、自家用電気自動車、生ごみ処理機の購入に係る経費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助実績						
目標値	20件						
実績値	21件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A	達成度	5	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	積極的に広報を行ったことにより、補助件数が増え目標を達成できた。引き続き、制度周知に努めるとともに、今後は法人への脱炭素化に向けた新たな取組が必要である。						



担当課	環境課				
実施計画事業名	電気自動車用急速充電器運用事業				
事業の概要	脱炭素社会の実現を目指し、市が設置する電気自動車用急速充電器の運用を行います。				
事業の目標（評価指標）	電気自動車用急速充電器設置数（通算）				
目標値	3 か所				
実績値	3 か所				
事業目標の達成度		事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	これまで市内2か所に設置していたが、過去のPPA事業の効果もあり、市街地エリアへの設置として、憩いとふれあいの公園に1箇所追加することができた。これらの稼働状況等を勘案し、設置箇所の拡大を検討する必要があるが、まずは既存設備の利用促進についての周知を強化していく必要がある。				

担当課	林業振興課	◆						
実施計画事業名	再造林促進事業							
事業の概要	次世代へ豊富な森林資源をつなぐため、再造林を実施した場合、森林所有者に対して奨励金を交付します。							
事業の目標（評価指標）	奨励金申請による再造林面積							
目標値	35ha							
実績値	35.6ha							
事業目標の達成度			事業の効率性			評価		
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B (1.0) やや高い	C (0.5) やや低い	D (0.2) 低い	A	達成度	5
B (2.0) 80%以上できた							+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた								
D (0.5) 60%未満しかできなかった							※四捨五入	
事業の成果・課題	奨励金については、目標値を上回る再造林面積となり、本市の再造林の促進につながった。 しかしながら、市内の再造林率は低調であるため、引き続き広報等も行いながら、森林所有者の再造林意識の醸成につなげていく。							

担当課	林業振興課
実施計画事業名	木質バイオマス利用促進事業
事業の概要	木質バイオマス発電所へ未利用材を安定的に供給するため、林地残材を未利用材としてチップ工場に搬出し、市内の木質バイオマス発電所で利用した場合及び搬出のための作業道を開設した場合に助成します。
事業の目標（評価指標）	木質バイオマス発電所への未利用材出荷量
目標値	30,000 t
実績値	31,672 t
事業目標の達成度	
事業の効率性	
評価	
A (3.0) 100%以上できた B (2.0) 80%以上できた C (1.0) 60%以上できた D (0.5) 60%未満しかできなかった	A
A (1.5) 高い B (1.0) やや高い C (0.5) やや低い D (0.2) 低い	A
達成度 + 効率性 ※四捨五入	5
事業の成果・課題	<p>令和6年度は目標値を上回る未利用材の出荷が行われたが、近隣で発電所が新規稼働したことによる需要の増加や、労働災害の発生による森林作業の停滞によって、チップの供給が一時不安定となった。</p> <p>未利用材の安定供給には森林経営計画が不可欠であるため、現在、木質資源安定協議会チップ部会が主体となり、森林経営計画を作成する体制について検討を開始したところである。</p> <p>引き続き、未利用材の安定供給に向けた検討を進める。</p>

平均②	4.7
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	4.1	=	平均① 4.0	× 4/5	+	平均② 4.7	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

カーボンニュートラルの実現に向けて、本市は環境省より前倒しの2030年達成に向け取り組んでおり、2つの公共施設でPPA事業による太陽光発電設備を新たに設置することができた。

また、脱炭素関連の補助金については、積極的な制度周知によって申請件数が増加した反面、市外事業者を対象とした要件緩和によって、市内事業者を通じての申請が減少したという新たな課題が生じた。さらに事業者向けの脱炭素関連施策がないため、事業所での脱炭素化に取り組みやすい環境を創出する必要がある。

林地残材の搬出は、燃料材として森林資源の有効活用が図られるだけでなく、地拵え等再造林に必要な準備に繋がるため、引き続き林地残材の搬出を促進するとともに、森林所有者の再造林意識の醸成を図る。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	環境課・廃棄物処理センター
政策区分	6 環境	
施策項目	② 廃棄物・公害	
施策内容	全ての市民が、環境意識を高め 低負荷・循環型社会への転換を目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1人当たりのごみ排出量	936 g / 日	目標値	908	881	854	827	800
		実績値	834	838	841	838	824
		達成率（%）	108.9	105.1	101.5	98.7	97.1
		達成度	4	4	4	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
リサイクル率	12.4%	目標値	14.0	15.6	17.2	18.7	20.2
		実績値	13.0	12.5	13.5	12.8	12.8
		達成率（%）	92.9	80.1	78.5	68.4	63.4
		達成度	3	3	2	2	2

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	2.5
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

### 3 実施計画事業評価

担当課	環境課						
実施計画事業名	環境教育事業「ごみの行方」						
事業の概要	ごみの減量化やリサイクルの重要性を学ぶため、小学生を対象とした環境教育を行います。						
事業の目標（評価指標）	市内小学４年生への環境学習の実施率						
目標値	100%						
実績値	100%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A（3.0）	100%以上できた	A	A（1.5）	高い	A	達成度	5
B（2.0）	80%以上できた		B（1.0）	やや高い		+ 効率性	
C（1.0）	60%以上できた		C（0.5）	やや低い			
D（0.5）	60%未満しかできなかった		D（0.2）	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	施設紹介用のDVDを更新し、全実施対象校において環境学習を実施することができた。また、プラスチックの分別収集を令和７年度から開始したこともあり、今後も内容を見直しながら、ごみ処理や減量化、リサイクルの重要性や必要性などを伝えていく。						

担当課	環境課						
実施計画事業名	プラスチック再資源化事業						
事業の概要	プラスチックごみの資源化に向けて、分別収集からリサイクルまでの検証作業を行います。						
事業の目標（評価指標）	環境に関する出前講座の開催回数						
目標値	5回						
実績値	30回						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和7年4月からプラスチックの分別収集を始めるため、市職員による家庭での分別実証や唐松地区のモデル実証を実施し、市内14会場で説明会を開催し周知を図った。また出前講座にも積極的に出向き収集開始前の説明に努めており、分別収集に向けた市民の意識向上に寄与していると考えている。 プラスチックは分別が複雑であるため、リサイクル率の向上を目指し、引き続き丁寧な説明等に努め、正しい分別について周知する必要がある。						

担当課	環境課	◆					
実施計画事業名	資源回収団体報奨金						
事業の概要	ごみの再資源化や省資源化を図るため、資源を回収するPTA、子供会、町内会などの団体に報奨金を支給します。						
事業の目標（評価指標）	資源回収団体報奨金申請団体数						
目標値	56団体（前年申請団体数）						
実績値	58団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は、58団体に3,055,930円交付した。また、611,686kgの資源化に資することができた。 多くの団体が本事業を活用しており、ごみの再資源化に寄与していると考えているため、引き続き事業を継続し、ごみ排出量の削減とリサイクル率の向上を図る。						

担当課	廃棄物処理センター					
実施計画事業名	クリーンセンター基幹的設備改良事業					
事業の概要	施設の安定的な稼働や延命化を図るため、クリーンセンターの設備の改修を行います。					
事業の目標（評価指標）	焼却設備・灰出し設備・電気設備・破砕機設備他 全27設備更新率					
目標値	100%					
実績値	100%					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	設備改良工事は、工程どおり完了させ安定稼働することができた。基幹設備については、供用開始26年が経過し老朽化が進んでいることから、現施設を維持するため、定期的な設備改良工事を実施するとともに、改良工事による延命化には限界があるため新たなクリーンセンターの整備計画についても検討していく必要がある。					

平均②	4.5
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9
-------------	-----

=

平均①
2.5

× 4/5+

平均②
4.5

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

一人当たりのごみ排出量はほぼ横ばいの状態が続いている。令和7年度から新たに実施しているプラスチック分別について引き続き周知し、資源回収量を増加させることで、リサイクル率を上昇させ、ごみ排出量を減少させる必要がある。

クリーンセンターについては、設備点検等を行う運転管理委託業者と設備の不具合箇所について情報共有することで、適切な設備改良事業を実施し安定的な稼働ができています。しかし、供用開始26年が経過したクリーンセンターの焼却施設も老朽化が進み、設備更新による延命化にも限界があることから、現行の長寿命化計画の終期である令和10年度までに、新たなクリーンセンターの整備方針について早急に検討を進める。

## 7 交流・コミュニティ

## 令和7年度 第3次新見市総合計画 政策評価シート（令和6年度実績）

1 政策内容	担当部	総務部・教育部・産業部
7 交流・コミュニティ	多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
7-①	交流	多様な交流によって 人と地域が元気なまちを実現する	3.2
7-②	移住・定住	移住・定住をトータルで応援し 定住者が増え続けるまちを目指す	2.9
7-③	コミュニティ・NPO・ボランティア	地域で考え、地域で行動 自治力を備えた地域を創造する	2.7
7-④	人権・パートナー	パートナー意識を高め 人権が尊重されるまちを実現する	2.9
達成レベル平均			2.9

(小数点第2位四捨五入)

## 3 総合評価

評価
<p>多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくるため、令和6年度も各分野において多様な形の交流を促進した。</p> <p>移住・定住の分野では、社会人口の減少数が多くなったが、情報発信の強化などにより、空き家情報バンクの成約数や地域おこし協力隊の新規着任数などの目標を達成することができたことから、令和5年度より施策の達成レベルは上がっている。</p> <p>一方で、交流と人権・パートナーの分野については、各指標の実績はおおむね増加しているものの、目標値までは届いておらず、個々の施策の達成レベルが低下したため、政策全体の総合評価は令和5年度に比べ3.1から2.9へと0.2ポイント下がっている。</p> <p>個々の施策は着実に実施出来ているが、社会人口の減少幅が広がっている点は憂慮すべき事態であるため、より一層の効果があがるよう、各種施策のさらなる充実を図っていく必要がある。</p>
2.9



## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	移住・定住推進課・教育連携推進課・総務課
政策区分	7 交流・コミュニティ	
施策項目	① 交流	
施策内容	多様な交流によって 人と地域が元気なまちを実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
国際交流事業の参加人数	200人/年	目標値	200	220	230	240	250
		実績値	34	130	167	299	242
		達成率（%）	17.0	59.1	72.6	124.6	96.8
		達成度	1	2	2	5	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
国内交流協定締結数（通年）	－（件）	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	0	0	0	0	0
		達成率（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成度	1	1	1	1	1

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
ふるさと納税件数	1,269件/年	目標値	1,370	1,460	1,550	1,640	1,728
		実績値	1,390	3,222	5,382	6,521	7,474
		達成率（%）	101.5	220.7	347.2	397.6	432.5
		達成度	4	5	5	5	5

達成度 5：120%以上 4：100%以上 120%未満 3：80%以上 100%未満 2：50%以上 80% 1：50%未満
--

平均①	3.0
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	国際交流事業						
事業の概要	国際交流の推進を図るため、新見市国際交流協会が実施する国際交流事業（外国語講座、国際交流ふれあいデイ等）に対して、補助を行います。						
事業の目標（評価指標）	国際交流事業の参加人数						
目標値	250人						
実績値	242人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B	達成度	3	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和6年度は、例年実施している外国語講座（英語・中国語、参加者計35人）、ふれあいデイ（グラウンドゴルフ、参加者72人）、バスツアー（紙すき体験、御殿町まち歩き、参加者14人）に加え、中国信陽市瀋河区友好都市協定締結30周年を記念し、まなび広場にいみおよびサンパーク新見において、友好の歴史を記録した写真展を開催した。 全体の参加者数はおおむね目標を達成できたが、外国人参加者が少なかったため、外国人労働者が多く所属する企業への働きかけや、より参加しやすい内容を検討し、異文化交流の促進を図る。						

担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	友好姉妹都市交流事業						
事業の概要	国際理解を深めるとともに、国際的な視野をもつ人材育成を図るため、友好姉妹都市と訪問団の派遣・受入による相互交流を行います。						
事業の目標（評価指標）	派遣・受入の人数						
目標値	6人						
実績値	6人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A	達成度	5	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い				
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
※四捨五入							
事業の成果・課題		令和6年度は、公式訪問団（市長、議長、教育長、国際交流協会会長、アメリカ班班長、市教委職員）によるニューパルツヴィレッジへの訪問を行った。改めて友好協定を確認するとともに、生徒派遣に向けての協議を行うことができた。 令和7年度に実施する生徒派遣について、有意義な交流が安全に行えるよう、事前準備とサポートを行う。					

担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	国際交流支援員の設置						
事業の概要	更なる国際交流を推進するため、日本語及び外国語に堪能な人材を配置します。						
事業の目標（評価指標）	設置人数						
目標値	1人						
実績値	1人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	日本語と英語が堪能な人材を1名設置しており、姉妹都市ニューパルツヴィレッジとの交流の際には、各種資料の英訳、オンラインミーティングの際の通訳等を行った。また、カナダシドニータウン国際交流協会に対して、交流に向けての働きかけを行った。 引き続き、国際交流支援員を設置し、国際交流の促進に努める。						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	関係人口創出事業						
事業の概要	SNSなどを通じて本市の情報・魅力発信等をしてくれる「ふるさと市民」を募集し、継続的なつながりの機会を創出するなど、関係人口を活用した地域づくりに取り組みます。令和6年度は、ふるさと市民が本市に一層の愛着を持つ契機とするため、体験型ツアーを行います。						
事業の目標（評価指標）	ふるさと市民登録者数						
目標値	431人						
実績値	515人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>商工観光課と連携したイベントでのPR、WEBを活用した広報等により、登録者数は371人から515人となり、目標人数を大きく上回ることができた。</p> <p>また、ふるさと市民が本市への更なる愛着心と、応援の気持ちを醸成するため、体験型ツアー「にーみーとツアー」を実施したが、参加者数が6名と少数で募集方法等について課題が残った。</p> <p>一方で、参加者アンケートでは、ツアーの企画自体には満足した、という結果であったため、内容の見直しを行いながら、ツアーの周知・広報に注力していきたい。</p>						

担当課	移住・定住推進課	◆					
実施計画事業名	ふるさと納税事業						
事業の概要	ふるさと納税による寄附を募り、活力にあふれた住みよいふるさとづくりを推進するための各種事業に活用するとともに、本市の関係人口の創出につながる取組を行います。						
事業の目標（評価指標）	ふるさと納税の件数						
目標値	1,728件						
実績値	7,474件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A	A (1.5) 高い	A	達成度	5		
B (2.0) 80%以上できた		B (1.0) やや高い		+ 効率性			
C (1.0) 60%以上できた		C (0.5) やや低い					
D (0.5) 60%未満しかできなかった		D (0.2) 低い		※四捨五入			
事業の成果・課題	<p>デジタルを活用した広告活動及び新規返礼品の開拓により、寄附件数は前年度比14%増の7,474件、寄附金額は前年度比14%増の1億5,190万円と増加した。更なる返礼品の充実を図るとともに、市外のイベントやフェアに積極的に参加し、WEBを通じた効果的な広報を実施することで、寄附金額の増加をめざす。</p> <p>また一方で、米やぶどうは返礼品の供給力不足という課題もあるため、生産者等と協議し、供給量の増加を図っていく。</p>						

平均②	4.2
(小数点第2位四捨五入)	

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	3.2	=	平均① 3.0	× 4/5	+	平均② 4.2	× 1/5
-------------	-----	---	------------	-------	---	------------	-------

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

国際交流については、令和6年度は、姉妹都市であるアメリカ・ニューパルツヴィレッジへの公式訪問を行ったことで、中学生・高校生の派遣交流の実現へとつながった。また、国際交流支援員の設置により、姉妹都市とのスムーズな意思疎通が可能となった。今後も、各事業を実施し、市内の外国人や姉妹都市との交流の継続に努め、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。

関係人口及びふるさと納税については、県外イベントでの積極的な広報活動、デジタルを活用した情報発信を充実したことにより、目標であったふるさと納税寄附金額1億5千万円を達成することができた。引き続きSNSなどを用いて、本市特産品や寄附金活用事業などのPRを積極的に推進し、関係人口の増加につなげていきたい。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	移住・定住推進課
政策区分	7 交流・コミュニティ	
施策項目	② 移住・定住	
施策内容	移住・定住をトータルで応援し 定住者が増え続けるまちを目指す	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
移住交流支援センターを利用して移住した件数（通算）	14件	目標値	22	30	38	46	54
		実績値	22	24	37	44	49
		達成率（％）	100.0	80.0	97.4	95.7	90.7
		達成度	4	3	3	3	3

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
社会人口増減数	△168人/年	目標値	△ 155	△ 141	△ 127	△ 113	△ 100
		実績値	△ 147	△ 159	△ 118	△ 173	△231
		達成率（％）	105.4	88.7	107.6	65.3	43.3
		達成度	4	3	4	2	1

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
空き家情報バンク成約数（通算）	85件	目標値	100	113	127	141	156
		実績値	98	114	122	136	156
		達成率（％）	98.0	100.9	96.1	96.5	100
		達成度	3	4	3	3	4

達成度  
 5：120％以上  
 4：100％以上 120％未満  
 3：80％以上 100％未満  
 2：50％以上 80％  
 1：50％未満

平均① 2.7

(小数点第 2 位四捨五入)

### 3 実施計画事業評価

担当課	移住・定住推進課					
実施計画事業名	移住定住支援事業					
事業の概要	移住交流支援センターを拠点に、移住定住希望者の個別相談対応や現地案内、移住後における相談対応など、定住促進に向けたきめ細かな支援を実施します。					
事業の目標（評価指標）	移住交流支援センターを利用して移住した件数					
目標値	54件（通算）					
実績値	49件（通算）					
事業目標の達成度			事業の効率性		評価	
A (3.0) 100%以上できた	B		A (1.5) 高い	B	達成度	3
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い			
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	移住定住支援業務について、センター職員の土日祝対応や、蓄積したノウハウを活かしたきめ細かな対応により、5件、6名の移住につなげることができた。  今後は、移住希望者だけでなく、移住後の人も来訪しやすい環境を整えるため、相談窓口機能を市街地へ移転する。					

担当課	移住・定住推進課	◆					
実施計画事業名	移住定住奨励事業						
事業の概要	移住定住を推進するため、市内に住民票を有しＩＪＵターンや卒業等で就職した人に対し、新生活の支援として一みんポイントを付与します。 （ＩＪＵターン者：20万ポイント　新卒者：10万ポイント）						
事業の目標（評価指標）	付与件数						
目標値	80件						
実績値	101件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	A	達成度	5	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い				
※四捨五入							
事業の成果・課題	「ふるさと定住支援金」と「ＩＪＵターン就職奨励金」を統合し、令和6年度から「移住定住奨励ポイント」の付与を開始した。 申請数は、新卒者15人、ＩＪＵターン者86人の計101人であり、これまでの制度より多くの申請があった。 類似の制度がある関係課と連携し、ＰＲした効果があったものと考えられる。また、採用活動時にＰＲしている企業もあると聞いており、引き続き、関係課や市内企業と連携したＰＲを行っていく。						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	お試し暮らし支援事業						
事業の概要	移住希望者に対し、まちの雰囲気や市内での生活を実体験できる機会を提供するため、滞在費（宿泊費）の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	利用件数						
目標値	30件						
実績値	21件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	C	A (1.5)	高い	C	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	移住希望者の住居探しや就業体験など21件延べ76泊の利用があり、利用者のうち4世帯6人の移住につなげることができた。 移住前に本市の生活環境を知ることが、移住後のミスマッチ防止にも繋がるため、引き続き、移住相談者には積極的にお試し暮らしを提案し、移住交流支援センターとも連携しながら、移住者の定住を推進していく。						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	空き家活用推進事業						
事業の概要	移住定住希望者、市内在住の40歳以下または中学生までの子を養育している人が、市内定住を目的に空き家を活用（購入、改修、家財整理）する場合、その経費の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	補助件数						
目標値	25件						
実績値	53件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	充実した補助内容であることからニーズが高く、購入補助23件、改修補助18件、家財整理補助12件と目標を大きく上回り、増加する空き家の活用促進のほか、移住や子育て世代の定住化も図られている。 一方で、補助金額が高額であることから、当初予算の範囲内では、限られた人数にしか補助できない状況である。そのため、予算の範囲内でより多くの希望者に対応できるよう、令和7年度から交付内容の見直しを行う。						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	地方創生テレワーク推進事業						
事業の概要	サテライトオフィスを誘致し、地元での雇用や新たなビジネスを創出することで、就職時の若者流出を防ぎ、移住者の増加を図ります。 令和6年度は、令和5年度に商談を行った企業の実証事業の支援などを重点的に行き、進出へと繋げます。						
事業の目標（評価指標）	実証事業支援数						
目標値	2件						
実績値	2件						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	令和5年度に商談した企業と継続的に協議を行うとともに、新たに9社と商談を行った。商談した企業のうち、2社の「スマートウォッチなどを使った高齢者の見守り事業」及び「買い物を通じた介護事業」の実証実験を支援した。実施にあたっては、企業、本市、新見公立大学の産学官連携により行うことができた。 今後、実証事業で見えた課題などを整理し、本市での事業化の可能性や進出に向けての協議を引き続き実施していく。						

担当課	移住・定住推進課						
実施計画事業名	地域おこし協力隊事業						
事業の概要	意欲ある地域外からの人材（地域おこし協力隊）を受け入れ、新たな視点・発想により本市の地域資源を再発見し、地域の元気づくり、集落の維持・活性化につなげます。						
事業の目標（評価指標）	新規着任隊員数						
目標値	2名						
実績値	3名						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	A	達成度	5
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は3名でスタートし、2名が2期目の任期満了をもって退任した。一方で、新たに5名から応募があり、うち3名を採用し、令和7年4月からは4名でスタートしている。 今後も積極的に募集するとともに、任期後も本市に定住し、活動が続けられるよう活動中からのフォロー体制を強化していく。						

平均②

3.8

（小数点第2位四捨五入）



#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9	=	<table border="1"><tr><td>平均①</td></tr><tr><td>2.7</td></tr></table> × 4/5	平均①	2.7	+	<table border="1"><tr><td>平均②</td></tr><tr><td>3.8</td></tr></table> × 1/5	平均②	3.8
平均①									
2.7									
平均②									
3.8									

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

令和6年度も外国人は増加（令和5年度14人、令和6年度28人）したものの、日本人の社会減少幅が拡大（令和5年度△187人、令和6年度△259人）したことから、全体の社会減少幅が拡大する結果となった。このため、各分野で転出者の抑止が図られる施策を実施していく必要がある。

また、東京一極集中が加速するなか、二拠点居住などの新たな移住ニーズが生まれていることから、既存事業の見直しと新たな移住ニーズに対応できる新規事業の展開を図っていく必要がある。最近では、移住者が移住者を連れてくる事例が増えており、そういった移住者や移住交流支援センターと連携し、移住者視点でのPRも推進していく。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	市民課・教育連携推進課
政策区分	7 交流・コミュニティ	
施策項目	③ コミュニティ・NPO・ボランティア	
施策内容	地域で考え、地域で行動 自治力を備えた地域を創造する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域運営組織の組織数（通算）	2団体	目標値	6	12	20	30	40
		実績値	6	11	18	21	23
		達成率（％）	100.0	91.7	90.0	70.0	57.5
		達成度	4	3	3	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活動への参加意欲のある市民の割合	64.0％	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0
		実績値	67.0	60.5	61.0	61.4	60
		達成率（％）	103.1	86.4	81.3	76.8	70.6
		達成度	4	3	3	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
大学が行う取組へ参加したことがある市民の割合	－ （％）	目標値	7.0	14.0	21.0	28.0	35.0
		実績値	31.9	34.3	30.5	33.1	36.0
		達成率（％）	455.7	245.0	145.2	118.2	102.9
		達成度	5	5	5	4	4

達成度 5：120％以上 4：100％以上 120％未満 3：80％以上 100％未満 2：50％以上 80％ 1：50％未満
--

平均①	2.7
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	市民課						
実施計画事業名	新見市版地域共生社会構築事業						
事業の概要	新見市版地域共生社会の構築に向け、地域運営組織の設立支援などに取り組めます。						
事業の目標（評価指標）	地域運営組織の組織数（通算）						
目標値	40団体						
実績値	23団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>地域運営組織のネットワーク会議を開催し、福祉分野や空き家問題における地域づくりの工夫について、組織間での意見交換を行い、連携を図った。地域運営組織が着実に設立され、活動内容も多様化していることから、更なる情報共有、連携強化を図る必要がある。</p> <p>引き続き、各地域への地域担当職員の配置や説明会実施などにより、新たな地域運営組織の設立を支援し、新見市版地域共生社会の構築に向け、各種施策に取り組む。</p>						

担当課	市民課						
実施計画事業名	小規模多機能自治一括交付金事業						
事業の概要	新見市版地域共生社会構築計画に基づき、小規模多機能自治に取り組む地域運営組織に財政支援策として、使途に必要以上の制限を設けない一括交付金を交付します。						
事業の目標（評価指標）	地域運営組織の組織数（通算）						
目標値	40団体						
実績値	23団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	D	A (1.5)	高い	B	達成度	2
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度末までに新たに2団体を加えた計23団体が設立され、特産品活用や放課後見守り活動、健康教室など、地域課題の解決に向け活発に活動している。 新規の運営組織設立を後押しし、また、各組織が自主財源を確保しつつ地域の特色を活かした自主的な活動ができるよう、令和9年度（令和4年度の交付開始以降、5年毎見直し）に向けて、交付金の内容や交付要件の精査等について検討を進める。						

担当課	市民課	◆					
実施計画事業名	公募型まちづくり事業						
事業の概要	市民から提案のあった行政が抱える課題や行政からの事業提案について、地域団体等と協働で課題解決する取組を行います。						
事業の目標（評価指標）	新規企画提案団体数						
目標値	3 団体						
実績値	0 団体						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	C		達成度	1
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い			+ 効率性	
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い			※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は新規企画提案がなく、事業実施は前年度からの継続事業の2件であった。 事業開始から7年間で20団体が事業を実施したが、委託事業終了後、自走ができず継続が困難となっている事業もあるほか、新規企画提案を行う団体も年々減りつつある。市民と協働したまちづくりに向け、市民がより提案・実施しやすいテーマを選定するなど、内容の改善や見直しを行う必要がある。						

担当課	市民課						
実施計画事業名	地域運営組織活動拠点施設整備事業						
事業の概要	公民館や旧校舎などを地域運営組織の活動拠点として整備・改修し、小規模多機能自治を推進します。						
事業の目標（評価指標）	地域運営組織活動拠点施設整備数（通算）						
目標値	5 箇所						
実績値	5 箇所						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	A		A (1.5) 高い	B	達成度	4	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	令和6年度は上刑部地域づくりセンターを整備した。今後も、地域運営組織が定めた将来計画の実現に向け、活動拠点施設の状況を鑑み、施設の整備を計画的に行うことにより、地域運営組織の活動を支援していく。						

担当課	教育連携推進課						
実施計画事業名	公立大学地域連携運営事業						
事業の概要	地域共生推進センターに専門員を配置し、講演会等の実施により地域連携を推進するとともに、学生たちの地域課題探求活動を支援し、地域共生社会を支える人材を育成します。						
事業の目標（評価指標）	大学が行う取組へ参加したことがある市民の割合						
目標値	35.0%						
実績値	36.0%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	<p>市民を対象とした地域共生社会の実現に資する講演会やワークショップを行う「鳴滝塾」の開催や学生による地域の情報収集・発信を目的としたフリーペーパー「なるたき」の発行を行った。</p> <p>また、地域と学生が交流を通して地域の現状把握及び分析を行うとともに、大学生の柔軟な発想や視点を活用し地域活性化事業に取り組んだ。大学の地域共生推進センターに配置した専門員が各種調整を行い、学生による周遊観光マップや特産品を活かしたレシピ集の作成、地域と協働での「くさまそば粉クッキー」の商品化の支援を行った。本事業により、学生と市民との交流を促進するとともに、地域課題探究活動の支援を行うことで、地域活性化の足がかりとなることができた。</p> <p>引き続き、専門員を設置し、学生たちの地域課題探求活動を支援するとともに、地域連携の促進を図る。</p>						

平均②	2.6
-----	-----

（小数点第2位四捨五入）

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.7
-------------	-----

=

平均①
2.7

× 4/5+

平均②
2.6

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

新見市版地域共生社会の構築に向け、地域運営組織が設立された23団体では、地域の特色を活かした行事などの実施や、移動支援、除雪ボランティアといった地域課題解決に取り組むなど、活発に活動を行っている。

一方で、運営組織が未設立である地域については、母体となりうる地域振興会等の組織がなく住民負担のハードルが高いことや、地域として特に困り事がないなど、運営組織の設立の機運が高まらず消極的なことから、依然として進め方に苦慮している。未設立地域については引き続き設立の機運が高まるよう説明会等を実施するとともに、各地域が自ら考え行動する自治力を備えた地域づくりを行えるよう支援していく。

新見公立大学の公立大学地域連携運営事業により、学生と地域の交流を図るとともに、学生と市民の双方への学習機会の提供や、地域の現状把握及び分析を行う地域課題探究活動を通して、地域共生推進の支援を行った。

## 令和 7 年度 施策評価シート（令和 6 年度実績）

1 評価施策名	担当課	総合政策課・総務課・市民課
政策区分	7 交流・コミュニティ	
施策項目	④ 人権・パートナー	
施策内容	パートナー意識を高め 人権が尊重されるまちを実現する	

## 2 達成目標の進捗（達成）状況

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市の審議会等委員における女性の占める割合	28.0%	目標値	28.4	28.8	29.2	29.6	30.0
		実績値	27.8	29.2	30.2	30.0	32.4
		達成率（%）	97.9	101.4	103.4	101.4	108.0
		達成度	3	4	4	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
「おかやま子育て応援宣言企業」登録企業・事業所数	22社	目標値	23	24	26	28	30
		実績値	22	21	21	21	22
		達成率（%）	95.7	87.5	80.8	75.0	73.3
		達成度	3	3	3	2	2

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
女性の社会進出支援がなされていると感じる市民の割合	22.9%	目標値	24.0	25.5	27.0	28.5	30.0
		実績値	40.9	42.6	41.0	31.8	33.1
		達成率（%）	170.4	167.1	151.9	111.6	110.3
		達成度	5	5	5	4	4

指標	現状値	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
カップリングパーティーでのカップル成立組数	20組/年	目標値	21	22	23	24	25
		実績値	13	6	6	2	7
		達成率（%）	61.9	27.3	26.1	8.3	28
		達成度	2	1	1	1	1

達成度
5：120%以上
4：100%以上 120%未満
3：80%以上 100%未満
2：50%以上 80%未満
1：50%未満

平均①	2.8
-----	-----

（小数点第 2 位四捨五入）

### 3 実施計画事業評価

担当課	総務課						
実施計画事業名	人権啓発事業						
事業の概要	高梁・新見地域人権啓発活動ネットワーク協議会と連携し、法務省の人権啓発活動地方委託事業に取り組みます。						
事業の目標（評価指標）	事業後アンケートにおける関心度・理解度（％）						
目標値	100％						
実績値	90％						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A（3.0） B（2.0） C（1.0） D（0.5）	100％以上できた 80％以上できた 60％以上できた 60％未満しかできなかった	B	A（1.5） B（1.0） C（0.5） D（0.2）	高い やや高い やや低い 低い	A	達成度 + 効率性 ※四捨五入	4
事業の成果・課題		小学生を対象にスポーツ選手との交流や、人権の花運動として種から花を育てるとともに、育てた花の苗を市民に配布した。本事業により、思いやりの心を持つ大切さや、人権の大切さを伝える事ができた。 また、異性間コミュニケーションをテーマとした講演会を開催することで、広く人権尊重思想の普及を図ることができた。 引き続き、法務局等関係機関と連携を密に、人権啓発事業に取り組む。					

担当課	総合政策課	◆					
実施計画事業名	男女共同参画推進事業						
事業の概要	男女共同参画社会実現のため、各種講座の開催や情報紙の発行など、各種事業を実施します。						
事業の目標（評価指標）	ステップアップ講座の申込定員に対する受講人数の割合						
目標値	80%						
実績値	33%						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0) 100%以上できた	D		A (1.5) 高い	B	達成度	2	
B (2.0) 80%以上できた			B (1.0) やや高い		+ 効率性		
C (1.0) 60%以上できた			C (0.5) やや低い				
D (0.5) 60%未満しかできなかった			D (0.2) 低い		※四捨五入		
事業の成果・課題	<p>男女共同参画に関する各種講座の実施や情報紙の発行、パープルリボンツリーの設置などを通して、男女共同参画の意識の醸成を図ることができた。</p> <p>ステップアップ講座については、「アサーション（相手の意見を尊重したうえで自分の意見を主張するコミュニケーションスキル）」をテーマに開催したが、直前に開催した男女共同参画セミナーのテーマと重複したことなどから参加人数が伸び悩み、目標に達することができなかった。</p> <p>より多くの市民の男女共同参画意識の醸成が図れるよう、各種講座における市民ニーズを把握するとともに、各種事業による啓発活動を継続する。</p>						



担当課	総合政策課						
実施計画事業名	男女共同参画プラザ運営事業						
事業の概要	男女共同参画を推進する拠点として「新見市男女共同参画プラザ」を運営します。						
事業の目標（評価指標）	男女共同参画プラザの適切な運営						
目標値	-						
実績値	-						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	B	A (1.5)	高い	B	達成度	3
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い		※四捨五入	
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い			
事業の成果・課題	<p>同プラザに女性相談員 1 名を配置し、対人関係やDV等に関する相談に応じた。</p> <p>○開館時間：毎週 水・木・金（9：15～17：15）</p> <p>○令和 6 年度実績：相談件数40人、のべ51回</p> <p>相談回数は令和 5 年度と同数であるが、相談実人数は増加した。相談内容は、心身の健康への不安や、対人関係、パートナーからのDVなど多岐にわたるが、例年と同様に対人関係で相談に訪れる市民が多かった。</p> <p>また、相談方法は対面形式や電話相談が多く、今年度から導入した L I N E 予約システムの利用者は 0 人であった。</p> <p>相談員については、各種研修に参加させるなど資質向上に努めており、必要に応じて子ども家庭総合支援拠点や児童相談所、警察署等の関係機関と連携を図って対策を講じる体制を整えている。</p> <p>認知率・利用率の向上は依然として課題であることから、市報や H P による広報を継続するとともに、手軽に予約ができる L I N E 予約システムの積極的な利用を呼びかける。</p>						

担当課	市民課						
実施計画事業名	結婚推進事業						
事業の概要	結婚推進協議会主催により、マッチングサイトを用いて直接成婚を後押しするオンライン縁結びサポート事業をはじめ、カップリングパーティーや、結婚相談会などを開催します。						
事業の目標（評価指標）	結婚推進事業を利用した成婚者数						
目標値	3人						
実績値	3人						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題		本事業を継続的に実施している成果として、令和6年度中に事業に関わった3名が成婚した。					
		カップリングパーティーは3回企画し、カップルは7組成立した。女性参加者が少ない傾向にあるため、より多くのカップルを成立させるためには、女性が参加したくなるイベント内容の検討と対象者への広報が必要である。					
		また、令和5年度から再開したオンラインマッチングシステムを活用したオンライン縁結びサポート事業では、令和6年度も募集定員を満たす10名の利用申込みがあった。マッチングから交際や成婚に至るまでの、具体的かつ効果的なカウンセリング等のサポートを引き続き行い、成婚につながる支援に注力していく。					

担当課	市民課						
実施計画事業名	結婚新生活支援事業						
事業の概要	夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯に対し、結婚に伴うスタートアップに係る住宅取得費用または賃借費用、引越費用、リフォーム費用の一部を助成します。						
事業の目標（評価指標）	該当の新婚世帯からの申請組数						
目標値	7組						
実績値	11組						
事業目標の達成度			事業の効率性			評価	
A (3.0)	100%以上できた	A	A (1.5)	高い	B	達成度	4
B (2.0)	80%以上できた		B (1.0)	やや高い		+ 効率性	
C (1.0)	60%以上できた		C (0.5)	やや低い			
D (0.5)	60%未満しかできなかった		D (0.2)	低い		※四捨五入	
事業の成果・課題	令和6年度は11組から申請があった。結婚を考えているカップルや、その所得状況を把握することが難しく、助成対象者の把握が課題である。婚姻届提出時にチラシを渡しているが、あらかじめ対象となりえる方にも事業を周知する方法を検討する。						

平均②	3.4
-----	-----

(小数点第2位四捨五入)

#### 4 施策達成レベル

達成目標の達成度の「平均①」と実施計画事業の評価の「平均②」を4：1で加味して算出

施策達成 レベル	2.9
-------------	-----

=

平均①
2.8

× 4/5+

平均②
3.4

× 1/5

※小数点第2位四捨五入

#### 5 総合評価

人権啓発事業では、小学生を対象にスポーツ教室で仲間を思いやる大切さや、花を育てることで情操教育を行うことができ、市民の方には講演会を通して、人権尊重思想の普及を図ることができた。

男女共同参画関連事業では、各種講座の開催や情報紙の発行などのほか、新見市男女共同参画プラザの運営により男女共同参画意識の醸成を図ることができた。今後もより多くの市民に参画いただけるよう市民ニーズの把握などに努める。

結婚関連事業については、オンライン縁結びサポート事業の再開やカップリングパーティの開催など、出会いの場を提供するとともに、新婚世帯に対する助成を行うなど結婚後の支援にも取り組んでいる。出会いの場に多数参加してもらえるよう広報やイベント内容を工夫するほか、男女間の交流が充分できるようなサポートを行い、より効果的な事業となるよう努める。



## 8 評価結果一覧

### 第3次新見市総合計画 評価結果年度別一覧

#### 1 産業・経済

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農業	4.4	3.4	4.0	4.2	4.0
畜産業・水産業	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2
林業	4.1	4.4	4.6	4.4	3.6
鉱業・工業	3.1	3.0	3.2	2.6	3.2
商業・サービス業	3.0	3.5	2.8	3.6	3.7
観光	3.0	3.2	3.5	3.6	4.0
雇用・労働	3.7	4.2	3.3	3.6	4.6
平均（政策評価結果）	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	<b>3.5</b>	<b>3.6</b>

#### 2 健康・福祉

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
健康・保健	2.8	2.9	3.2	3.1	3.2
医療	3.7	3.4	3.4	3.4	3.3
児童福祉	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2
高齢者福祉	3.8	3.2	3.1	2.9	2.9
障がい者（児）福祉	3.3	3.5	4.0	3.7	3.6
地域福祉	3.2	2.9	2.6	2.9	2.9
平均（政策評価結果）	<b>3.4</b>	<b>3.2</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	<b>3.2</b>

#### 3 教育・文化・スポーツ

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
就学前教育・義務教育	3.2	3.1	2.7	3.0	3.0
大学・高等学校	3.4	3.2	3.1	2.4	2.9
生涯学習	2.1	2.0	2.0	2.9	3.0
芸術・文化・文化財	3.1	4.1	3.7	4.2	4.2
スポーツ・レクリエーション	1.8	2.0	1.9	3.5	2.2
平均（政策評価結果）	<b>2.7</b>	<b>2.9</b>	<b>2.7</b>	<b>3.2</b>	<b>3.1</b>

#### 4 安全・生活基盤

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
防災	4.2	3.8	3.2	2.9	2.8
消防・救急	3.7	3.7	3.6	3.6	3.2
防犯・交通安全	4.6	4.2	3.3	3.6	2.6
水道・下水道	3.6	3.6	3.6	3.9	3.6
平均（政策評価結果）	<b>4.0</b>	<b>3.8</b>	<b>3.4</b>	<b>3.5</b>	<b>3.1</b>

## 5 都市基盤・交通

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
道路	3.4	3.0	3.1	2.9	2.9
住環境・情報通信	4.1	4.1	3.8	4.3	4.1
公共交通	3.0	2.7	3.8	3.7	3.7
平均（政策評価結果）	<b>3.5</b>	<b>3.3</b>	<b>3.6</b>	<b>3.6</b>	<b>3.6</b>

## 6 環境

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
環境・自然・生態系	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1
廃棄物・公害	3.6	3.6	3.3	2.9	2.9
平均（政策評価結果）	<b>3.9</b>	<b>3.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.5</b>	<b>3.5</b>

## 7 交流・コミュニティ

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
交流	2.2	2.8	2.8	3.8	3.2
移住・定住	3.6	3.2	3.2	2.8	2.9
コミュニティ・NPO・ボランティア	4.1	3.7	3.7	2.7	2.7
人権・パートナー	3.3	3.2	3.3	3.0	2.9
平均（政策評価結果）	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	<b>3.3</b>	<b>3.1</b>	<b>2.9</b>

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

1 産業・経済

1 農業

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
新規就農者数	4	3	4	4	4
主要農産品販売額	4	4	4	5	4

2 畜産業・水産業

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
繁殖牛飼養頭数	2	2	2	2	2

3 林業

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
木材出荷量	3	5	5	5	4
施業面積	5	5	5	5	4
植林面積	5	4	5	4	3

4 鉱業・工業

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
岡山市町村民経済計算における第2次産業市町村内総生産の平成28年生産額を100とした場合の伸び率	3	3	3	2	3

5 商業・サービス業

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
創業件数	3	4	2	4	4
岡山市町村民経済計算における第3次産業市町村内総生産の平成28年生産額を100とした場合の伸び率	3	3	3	3	3

6 観光

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要観光施設入場者数	2	2	3	3	4
観光客アンケート満足度	4	4	4	4	4

7 雇用・労働

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
就職を希望する市内高校新卒者における市内就職率	4	3	2	3	5
I J U ターン就職奨励金交付件数	4	5	5	4	5
創業件数	3	4	2	4	4



第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

2 健康・福祉

1 健康・保健

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定健診受診率	3	3	4	4	4
特定健診受診者の運動習慣割合	3	3	3	3	3
ゲートキーパー養成講座修了者数（通算）	3	3	3	3	3

2 医療

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市民1人当たり医療費を県平均と比較した割合	4	3	3	3	3
公立診療所数	4	4	4	4	4
看護学生奨学支援金を受給・就業した人（通算）	3	3	3	3	3

3 児童福祉

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
待機児童数	4	4	4	4	4
子育て広場延べ利用者数	2	2	2	2	2
本市で今後も子育てをしていきたい保護者の割合	4	4	4	3	3

4 高齢者福祉

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
「小地域ケア会議」実施地区の人口カバー率	4	4	4	3	3
高齢者人口に占める要介護認定者の割合	3	3	3	3	3
認知症サポーター養成数（通算）	4	4	4	4	4
介護学生奨学支援金を受給・就業した人（通算）	4	2	1	1	1

5 障がい者（児）福祉

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
「ほほえみ広場にいみ」の利用者数	3	3	3	2	2
相談窓口を通じて就労した障がい者の数	4	3	5	5	5
グループホームの整備数（通算）	4	4	4	4	3

## 6 地域福祉

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
福祉との関わり度（活動していない人の割合）	3	2	2	2	2
地域の住みやすさを感じる人の割合	3	3	3	3	3
定住の意向（住み続けたい人の割合）	3	3	2	3	3

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

3 教育・文化・スポーツ

1 就学前教育・義務教育

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
不登校生徒出現率（中学生）	3	2	2	2	3
自閉症・情緒障害児特別支援学級在籍率	3	4	3	2	1
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある中学3年生の割合	－	3	3	5	5

2 大学・高等学校

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市内行事に参加したことがある大学生の割合	2	2	3	2	4
高校生の本市への愛着度	4	3	3	3	3
市内の高校に進学した中学生の割合	4	4	3	2	2

3 生涯学習

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市民学習講座受講者数	1	1	2	3	3
公民館利用人数（合計）	3	3	3	5	5
図書館の貸出冊数（利用登録者1人当たり）	2	2	1	1	1

4 芸術・文化・文化財

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
文化財等データベース登録点数（通算）	－	5	5	5	5
文化振興事業の満足度	5	5	4	5	5
まなび広場利用件数	1	3	2	3	3

5 スポーツ・レクリエーション

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要体育施設利用者数	2	2	2	4	3
主要スポーツ大会参加者数	1	1	1	3	1

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

4 安全・生活基盤

1 防災

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自主防災組織の組織率	4	3	2	2	2
防災士の人数（通算）	4	4	4	4	4
災害への備えなど市民の防災意識レベル	5	4	3	2	2

2 消防・救急

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
消防団加入率	3	3	3	3	3
住宅用火災警報器の設置率	4	4	4	4	3

3 防犯・交通安全

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
スマホ（携帯電話）等の利用について家庭で決めたルールがある中学生の割合	5	4	3	3	2
安全施設（カーブミラー）設置数	5	5	4	5	3
総事故件数	4	4	3	3	3

4 水道・下水道

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
水道有収率	4	4	4	4	3
下水道水洗化率	3	3	3	4	4

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

5 都市基盤・交通

1 道路

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
道路改良率（市道・県道）	3	3	3	3	3
道路舗装率（市道・県道）	3	3	3	3	3
長寿命化対策橋梁数（通算）	4	3	3	2	2

2 住環境・情報通信

指標		達成度				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
現在の住居に満足している市民の割合		5	5	4	5	4
特定空家除却件数（通算）		4	4	4	5	5
各種サービスの加入率	C A T V 71.1%	3	3	3	3	3
	インター ネット 40.5%	4	4	4	4	4
	I P 電話 25.2%	3	3	3	3	3
各種サービスの加入率 総合達成度（小数点第2位四捨五入）		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3

3 公共交通

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
J R 新見駅の乗車人数	2	2	3	3	3
公共交通空白地域の人口率	4	3	4	4	4
市街地循環バスの乗車人数	3	3	4	4	4

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

6 環境

1 環境・自然・生態系

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
公共水域における環境基準の達成率	4	4	4	4	4

2 廃棄物・公害

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1人当たりのごみ排出量	4	4	4	3	3
リサイクル率	3	3	2	2	2

第3次新見市総合計画に掲げる達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

7 交流・コミュニティ

1 交流

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
国際交流事業の参加人数	1	2	2	5	3
国内交流協定締結数（通年）	1	1	1	1	1
ふるさと納税件数	4	5	5	5	5

2 移住・定住

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
移住交流支援センターを利用して移住した件数（通算）	4	3	3	3	3
社会人口増減数	4	3	4	2	1
空き家情報バンク成約数（通算）	3	4	3	3	4

3 コミュニティ・NPO・ボランティア

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域運営組織の組織数（通算）	4	3	3	2	2
地域活動への参加意欲のある市民の割合	4	3	3	2	2
大学が行う取組へ参加したことがある市民の割合	5	5	5	4	4

4 人権・パートナー

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
市の審議会等委員における女性の占める割合	3	4	4	4	4
「おかやま子育て応援宣言企業」登録企業・事業所数	3	3	3	2	2
女性の社会進出支援がなされていると感じる市民の割合	5	5	5	4	4
カップリングパーティーでのカップル成立組数	2	1	1	1	1

評価対象外事業一覧（令和 6 年度）

政策区分	施策項目	事業名	評価対象外の理由
1 産業・経済	⑥観光	食を通じた新見の魅力向上プロジェクト事業	令和 6 年度未実施
2 健康・福祉	⑤障がい者（児）福祉	障害者自立支援給付事業	法令の規定により実施する経費など市の裁量の余地がないもの
2 健康・福祉	⑥地域福祉	なごみの郷かなや運営事業	管理運営経費など経常的なもの
3 教育・文化・スポーツ	②大学・高等学校	大学運営交付金	管理運営経費など経常的なもの
3 教育・文化・スポーツ	②大学・高等学校	地方独立行政法人評価委員会	大学等の外部評価を行う事業
5 都市基盤・交通	②住環境・情報通信	伝送路等保守事業	管理運営経費など経常的なもの
6 環境	②廃棄物・公害	クリーンセンター管理運営事業	管理運営経費など経常的なもの



### Ⅲ 第２期新見市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

## 令和7年度 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策評価シート（令和6年度実績）

1 政策内容	担当部	産業部
重点目標 1	稼ぐ地域をつくり、地域内経済が好循環する環境をつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
1-①	農業	魅力ある産業に変革し 持続可能な農業を実現する	4.0
1-②	畜産業・水産業	品質の高さを武器に 競争力ある産業を目指す	2.2
1-③	林業	資源の循環サイクルを確立し 林業の成長産業化を目指す	3.6
1-④	鉱業・工業	地域経済の牽引役として 鉱工業の安定的発展を促進する	3.2
1-⑤	商業・サービス業	魅力向上と創業・事業承継で 持続的発展を促進する	3.7
1-⑥	観光	観光資源を磨き、交流を促進し にぎわいを創出する	4.0
1-⑦	雇用・労働	魅力ある雇用と労働を生み 市内就職者の増加を目指す	4.6
達成レベル平均			3.6

(小数点第2位四捨五入)

## 3 総合評価

	評価
<p>農林畜産業では、担い手減少に伴う課題解決のため新規就業者の確保に取り組み、一定の成果を得ることができた。今後も、品質が良く市場の評価が高い本市の特産物の生産を振興するため、継続して就業者の確保に取り組む必要がある。</p> <p>鉱工業・商業等では、市内での創業や経営継続に向け積極的支援に取り組んでおり、引き続き、市内業者のニーズに対し的確な事業を展開する必要がある。</p> <p>観光では、「森の芸術祭」等による効果もあり観光客数が増えたが、今後、交流人口の増加に向けて、インバウンド等の誘客にさらに積極的に取り組む必要がある。</p> <p>雇用・労働では、求職者と求人者のマッチングや高校生への市内就職に向け積極的に取り組んでおり、今後も効果的な事業を実施する必要がある。</p> <p>本分野全体での評価は、昨年度より0.1ポイント上昇となっているが、今後、地域内経済のさらなる好循環を図り「住みたい、住み続けたいまち」につながる効果的な施策を展開する必要がある。</p>	3.6

令和7年度 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策評価シート（令和6年度実績）

1 政策内容	担当部	産業部・教育部
重点目標 2	都市から新見へ 新しい人の流れをつくる	

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
3-②	大学・高等学校	魅力ある教育環境で 自己実現できる人材を育てる	2.9
7-①	交流	多様な交流によって 人と地域が元気なまちを実現する	3.2
7-②	移住・定住	移住・定住をトータルで応援し 定住者が増え続けるまちを目指す	2.9
達成レベル平均			3.0

（小数点第2位四捨五入）

## 3 総合評価

	評価
<p>大学・高等学校分野においては、市内行事に参加した大学生の割合が大きく伸びたため評価点は上昇したが、市内高校への進学率が減少傾向であるため、従前の取組に加え、新たな対策の検討を行う必要がある。</p> <p>交流分野においては、国際交流事業の参加者が目標値を下回ったため、評価点は下がったが、関係人口及びふるさと納税については、積極的な広報や情報発信を充実したことにより、目標を達成することができた。引き続き、SNS等を活用し、本市の魅力を積極的にPRし、寄附者及び関係人口の増加に取り組んでいく。</p> <p>移住・定住分野については、外国人の転入数は増加したものの、日本人の社会減少数が拡大し、人口減少の流れが加速している。この流れを阻止するため、各分野において、IUターンの促進につながる施策を積極的に発信するとともに、事業のスクラップアンドビルドを行い、移住・定住者の増加を図る必要がある。</p>	3.0

令和7年度 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策評価シート（令和6年度実績）

## 1 政策内容

担当部

総務部・市民生活部・健康福祉部・教育部

## 重点目標3

若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
2-③	児童福祉	ゆとりある子育てができ 子どもが健やかに育つまちの実現	3.2
3-①	就学前教育・義務教育	故郷に誇りと愛着を持ち 心豊かで自律心を備えた子どもを育む	3.0
3-③	生涯学習	いつでも・どこでも・だれでも 生涯学び合うまちを実現する	3.0
7-④	人権・パートナー	パートナー意識を高め 人権が尊重されるまちを実現する	2.9
達成レベル平均			3.0

(小数点第2位四捨五入)

## 3 総合評価

	評価
<p>児童福祉分野においては、多様な家族形態がある中、頼れる親族が近くにいない、仕事が休めないなどマンパワーが必要な方には子どもの送迎など行うファミリー・サポート・センター利用や、育児に不安を持つ保護者が安心して相談できる場として子育て広場を設置するなど、ニーズに応じて効果的な事業を展開し、新規利用者やリピーターの増加につなぐことができた。</p> <p>また、令和6年度からは育児の孤立化を防ぐため「新見市版こども誰でも通園制度」を開始し、子育てしやすい環境づくりに成果があったと考える。</p> <p>就学前教育・義務教育分野においては、中1ギャップ解消事業などにより、不登校出現率を3%台まで改善することができた。一方で、児童・生徒の学力向上は依然として低迷しているため、引き続き改善に向けた取組を行う。</p> <p>生涯学習分野においては、公民館や図書館の主催事業に多くの市民が参加されており、引き続き、市民ニーズを捉え、魅力ある事業の実施に努める。</p> <p>人権・パートナー分野では、カップリングパーティの開催や新婚世帯への助成事業を行うなど若者の結婚を後押しした。引き続き、市民ニーズを把握するとともに、若者が結婚しやすい環境の整備に努める。</p>	3.0

## 令和7年度 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 政策評価シート（令和6年度実績）

## 1 政策内容

担当部

総務部・市民生活部・健康福祉部・建設部・教育部

## 重点目標 4

安心して暮らし続けられる持続可能な地域をつくる

## 2 施策の達成レベル

番号	項目	施策内容	評価
2-①	健康・保健	自ら健康づくりに取り組み 生涯健康で暮らせるまちを実現する	3.2
2-②	医療	医療資源の確保を図り 安定した医療を提供する	3.3
2-④	高齢者福祉	高齢者が生きがいを実感でき 地域全体で支えるまちを目指す	2.9
2-⑤	障がい者（児）福祉	障がいのある人が自立し 安心して暮らせるまちを実現する	3.6
2-⑥	地域福祉	必要な人に必要なサービスが届く 安心して生活できるまちを目指す	2.9
3-④	芸術・文化・文化財	歴史と文化を誇りに感じ 守り伝えられるまちを目指す	4.2
3-⑤	スポーツ・レクリエーション	スポーツが人と地域を育て 新たな交流を創造するまちを目指す	2.2
4-①	防災	災害に強い基盤整備と 自助・共助・公助の防災体制をつくる	2.8
4-②	消防・救急	機能的な消防救急体制で 市民の生命・財産を守る	3.2
4-③	防犯・交通安全	犯罪や事故を防ぎ 安心して暮らせるまちを目指す	2.6
5-②	住環境・情報通信	快適な住環境を提供するため 質と量の確保、向上に努める	4.1
5-③	公共交通	既存の交通資源を活用し 持続可能な交通体系を確立する	3.7
7-③	コミュニティ・NPO・ ボランティア	地域で考え、地域で行動 自治力を備えた地域を創造する	2.7
達成レベル平均			3.2

（小数点第2位四捨五入）

### 3 総合評価

	評価
<p>健康・保健分野では、健診受診の必要性を伝えるための取組を工夫することで、特定健診の受診率が向上するなど、成果を上げることができている。また、特定健診受診者の運動習慣割合も着実に上昇してきており、自らの健康づくりへの意識が浸透してきていると考えられる。今後も、引き続き健康への意識が高まるよう、工夫した取組を進めていく。</p> <p>防犯・交通安全分野では、新見防犯連合会の活動に対する助成を行ったほか、交通指導員配置・啓発事業などを実施し意識の醸成を図った。</p> <p>交通事故の発生件数は総事故件数、人身事故件数ともに前年度比で減少しているが、引き続き交通事故を増やさないような対策を講じるとともに、関係団体と連携した取組を推進していく。</p> <p>住環境・情報通信分野では、市営住宅の長寿命化事業や空き家対策による住環境整備を実施するとともに、金谷土地区画整理事業については、都市計画決定、事業計画の作成及び認可申請を計画どおり実施し、令和7年度からの本格的着手への道筋をつけた。また、4支局管内及び本庁に、土日祝日でもマイナンバーカードを利用し、住民票などを取得できる証明書等自動発行機を導入することで、市民の利便性向上と職員の業務軽減につながった。</p> <p>公共交通の分野では、地域公共交通計画に基づく公共交通再編事業や市営バス運行事業などの実施により、交通ネットワークの構築や交通空白地の削減を図り、高齢者や学生などの移動の利便性向上につなげることができた。</p> <p>また、鉄道利用促進事業や乗合タクシーを導入するなどの事業を実施したこと、市街地循環バスの乗車人数の目標値を上回るなど、利用促進につながっている。引き続き、効率的で持続可能な交通体系の構築を推進していく。</p> <p>コミュニティ・NPO・ボランティアの分野では、地域運営組織の設立数が23団体となり、新見市版地域共生社会の構築に向け着実に取組を進めることができている。また、未設立地域においては、地域それぞれの状況を踏まえたうえで、今後の設立に向けて助言・指導等の支援を行う必要がある。</p>	3.2

## 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価結果年度別一覧

### 重点目標1（稼ぐ地域をつくり、地域内経済が好循環する環境をつくる）

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農業	4.4	3.4	4.0	4.2	4.0
畜産業・水産業	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2
林業	4.1	4.4	4.6	4.4	3.6
鉱業・工業	3.1	3.0	3.2	2.6	3.2
商業・サービス業	3.0	3.5	2.8	3.6	3.7
観光	3.0	3.2	3.5	3.6	4.0
雇用・労働	3.7	4.2	3.3	3.6	4.6
平均（政策評価結果）	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	<b>3.5</b>	<b>3.6</b>

### 重点目標2（都市から新見へ新しい人の流れをつくる）

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
大学・高等学校	3.4	3.2	3.1	2.4	2.9
交流	2.2	2.8	2.8	3.8	3.2
移住・定住	3.6	3.2	3.2	2.8	2.9
平均（政策評価結果）	<b>3.1</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>

### 重点目標3（若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる）

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
児童福祉	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2
就学前教育・義務教育	3.2	3.1	2.7	3.0	3.0
生涯学習	2.1	2.0	2.0	2.9	3.0
人権・パートナー	3.3	3.2	3.3	3.0	2.9
平均（政策評価結果）	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>

**重点目標 4**（安心して暮らし続けられる持続可能な地域をつくる）

項目	評価				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
健康・保健	2.8	2.9	3.2	3.1	3.2
医療	3.7	3.4	3.4	3.4	3.3
高齢者福祉	3.8	3.2	3.1	2.9	2.9
障がい者（児）福祉	3.3	3.5	4.0	3.7	3.6
地域福祉	3.2	2.9	2.6	2.9	2.9
芸術・文化・文化財	3.1	4.1	3.7	4.2	4.2
スポーツ・レクリエーション	1.8	2.0	1.9	3.5	2.2
防災	4.2	3.8	3.2	2.9	2.8
消防・救急	3.7	3.7	3.6	3.6	3.2
防犯・交通安全	4.6	4.2	3.3	3.6	2.6
住環境・情報通信	4.1	4.1	3.8	4.3	4.1
公共交通	3.0	2.7	3.8	3.7	3.7
コミュニティ・N P O・ボランティア	4.1	3.7	3.7	2.7	2.7
平均（政策評価結果）	<b>3.5</b>	<b>3.4</b>	<b>3.3</b>	<b>3.4</b>	<b>3.2</b>



第2期新見市 まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる

達成目標の進捗（達成）状況 年度別実績一覧

重点目標1

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
主要農産品販売額	4	4	4	5	4
木材出荷量	3	5	5	5	4

重点目標2

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
社会人口増減数	4	3	4	2	1

重点目標3

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
本市で今後も子育てをしていきたい保護者の割合	4	4	4	3	3

重点目標4

指標	達成度				
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
定住の意向（住み続けたい人の割合）	3	3	2	3	3



## IV 地域再生計画

## 令和 7 年度 地域再生計画 評価シート（令和 6 年度実績）

## 1 地域再生計画の名称

I C O C A を活用した地域活性化プロジェクト

## 2 数値目標の進捗（達成）状況

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024
I C O C A 利用による年間消費量	0.1	億円	目標値	4.2	16.6	25
			実績値	2.2	5.1	5.6
			達成率（％）	52.4	30.7	22.4

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024
J R 新見駅の一泊あたりの利用者数	475	人	目標値	500	600	760
			実績値	603	659	668
			達成率（％）	120.6	109.8	87.9

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024
主要観光施設（20施設）の年間入場者数	46	万人	目標値	58	64	70
			実績値	64	71	77
			達成率（％）	110.3	110.9	110.0

### 3 事業評価（令和6年度実施事業）

		担当部	商工観光課
事業内容	商工分野		
具体的な事業名	ICOCAを活用した地域活性化事業		
事業の概要・成果	<p>「新見市オリジナルICOCA」の利用を促進するため、令和6年度は、ポイント還元キャンペーンでのポイント付与事業を2回、物価高騰対策としてのポイント付与事業を1回実施した。また、年度を通して、モバイルICOCA乗り換え者に対するポイント付与事業、市内事業所への新規就職者に対する就職奨励ポイント付与事業を実施するとともに、啓発活動として、ICOCAの利用方法などを説明する出前講座を7回実施した。付与したポイントで約1.9億円、電子マネーで約3.7億円が市内登録加盟店で利用されており、市内消費の喚起による経済の活性化に一定の効果があつた。</p>		

		担当部	都市整備課
事業内容	駅周辺のまちづくり分野		
具体的な事業名	新見駅周辺まちづくりにぎわい創出事業		
事業の概要・成果	<p>新見駅周辺のにぎわいを創出するためのイベントとして、河川敷を活用したリバーサイドバーや街区公園を活用したマルシェを開催し、駅周辺にある地域資源の有効性を再認識することができた。</p> <p>また、交流・滞留空間を創出する仕掛けとして、駅周辺に椅子や机を設置し、活用主体を検証する社会実験を実施したり、誘導施設（美術館）の集客を駅周辺の施設へ促すための社会実験としてスタンプラリーを実施するなど、実験結果を通して駅周辺のにぎわい創出に寄与する仕組みを検討することができた。</p>		

		担当部	商工観光課
事業内容	観光分野		
具体的な事業名	観光戦略マネージャー活用事業		
事業の概要・成果	<p>令和6年度に開催された「森の芸術祭 晴れの国・岡山」において、観光戦略マネージャーが中心となり、芸術作品と本市の観光資源を融合させた観光ツアーの造成や、観光列車でのPR事業を実施した。観光戦略マネージャーの知見を活かした取組により、市内外から多くの観光客が訪れ、令和6年度の入場者数も大幅に増加させることができた。</p> <p>また、旅行事業者への情報発信や営業活動も継続して行ったほか、インバウンド事業にも注力し、台湾高雄市での観光PRも実施した。</p>		

	担当部	商工観光課
事業内容	観光分野	
具体的な事業名	美容体験型観光コンテンツ造成事業	
事業の概要・成果	<p>既に、美容効果が実証されていた「新見千屋温泉いぶきの里」の泉質のほかに、「千屋牛」、「満奇洞」、「ピオーネ」について美容成分の分析を行った。その結果、全てにおいて美容効果が得られることが判明し、本市の観光コンテンツに大きな強みを得ることができた。今後は得られた成果をもとに、積極的な情報発信やツアー造成に取り組む。</p>	

	担当部	商工観光課
事業内容	その他の分野	
具体的な事業名	ICOCAプロジェクト広報事業	
事業の概要・成果	<p>「新見市オリジナルICOCA」の利用を促進するため、「のぼり」、「ミニのぼり」、「ステッカー」、「マグネットシート」を作成し、広く市民へ利用を啓発した。年間消費量も増加しており、ICOCAの利用啓発によって市内経済の活性化に一定の効果があつた。</p>	

#### 4 施策推進による主な成果

ICOCAを活用した地域活性化事業では、より多くの市民にオリジナルICOCAを発行し、ポイント還元キャンペーンなど利用を促す事業を展開しつつ、オリジナルICOCAの利用を啓発する広報事業を実施することで、市内消費の喚起につながり、市内経済の循環及び活性化に寄与した。

観光分野においては、観光戦略マネージャーの活用により、旅行関係者への効果的な情報発信や、芸術作品と本市の特色を活かしたツアーの造成、インバウンド事業などに取り組むことができた。また、美容をテーマとした観光コンテンツの造成は、本市の新たな観光資源として活用が期待できるものとなった。

また、新見駅周辺まちづくりにぎわい創出事業を推進することにより、空きテナントや低未利用地等のポテンシャルを活かした空間が創出されること、また、各種イベントや社会実験を行うことで、駅周辺のにぎわいを創出し、持続可能なまちづくりへ寄与していると考えられる。

## 地域再生計画 評価シート（全体総括）

## 1 地域再生計画の名称

I C O C A を活用した地域活性化プロジェクト

## 2 数値目標の達成状況

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024	増加分計
I C O C A 利用による年間消費量	0.1	億円	目標値	4.2	16.6	25	45.8
			実績値	2.2	5.1	5.6	12.9
			達成率（％）	52.4	30.7	22.4	28.2

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024	増加分計
J R 新見駅の一泊あたりの利用者数	475	人	目標値	500	600	760	1860
			実績値	603	659	668	1930
			達成率（％）	120.6	109.8	87.9	103.8

K P I	現状値	単位	年度	2022	2023	2024	増加分計
主要観光施設（20施設）の年間入場者数	46	万人	目標値	58	64	70	192
			実績値	64	71	77	212
			達成率（％）	110.3	110.9	110.0	110.4

### 3 事業分野評価

		担当部	商工観光課
事業分野	商工分野		
事業の具体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C O C A 発行及び地域共通ポイント付与事業（R4）</li> <li>・ I C O C A を活用した地域活性化事業（R5～R6）</li> </ul>		
成果	<p>希望した市民に地域ポイントが付与されたオリジナル I C O C A の配布を行ない、本プロジェクトの基盤を整えた。また、現金チャージキャンペーンや物価高騰対策としてポイントを付与し、市内消費の喚起を行うとともに、さらなる利用促進に努めた。K P I（I C O C A 利用による年間消費量）の目標値には届かなかったが、3年間で地域ポイント約5.9億円、電子マネー約7.0億円の利用があり、市内経済の活性化に一定の効果があつた。</p>		

		担当部	交通対策課
事業分野	交通分野		
事業の具体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通キャッシュレス決済導入事業（R5）</li> </ul>		
成果	<p>利用者の利便性の向上と市内のキャッシュレス化推進のため、市街地循環バス「ら・くるっと」にキャッシュレス決済端末を導入した。</p> <p>令和6年2月中旬の導入から令和7年3月末までで、3,429回の利用があつた。</p>		

		担当部	都市整備課
事業分野	駅周辺のまちづくり分野		
事業の具体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新見駅周辺まちづくりにぎわい創出事業（R5～R6）</li> </ul>		
成果	<p>新見駅周辺空き店舗活用の勉強会を開催し、空き家のポテンシャルを活かした空間創出によるビジネス展開等、新見駅周辺のにぎわい創出に寄与する手法を学ぶことができた。</p> <p>また、新見駅周辺のにぎわいを創出するためのイベントとして、河川敷を活用したリバーサイドバーや街区公園を活用したクリスマスマーケットやマルシェを開催し、駅周辺にある地域資源の有効性を再認識することができた。</p> <p>その他、交流・滞留空間を創出する仕掛けとして、駅周辺に椅子や机を設置し、活用主体を検証する社会実験を実施したり、誘導施設（美術館）の集客を駅周辺の施設へ促すための社会実験としてスタンプラリーを実施するなど、駅周辺のにぎわい創出に寄与する仕組みを検討することができた。</p>		



		担当部	商工観光課
事業分野	観光分野		
事業の具体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光戦略マネージャー活用事業（Ｒ４～Ｒ６）</li> <li>・新たな旅行商品開発事業（Ｒ４）</li> <li>・食を通じた新見の魅力向上プロジェクト事業（Ｒ５）</li> <li>・美容体験型観光コンテンツ造成事業（Ｒ６）</li> </ul>		
成果	<p>観光分野に専門的な知識を有した観光戦略マネージャーを配置したことにより、観光事業者等への効果的な情報発信や、食など本市の特色や旅行者のニーズを的確に分析したツアーの造成ができるようになり、本市の観光分野の進展に大きく寄与した。</p>		

		担当部	商工観光課・総合政策課
事業分野	関係人口創出分野		
事業の具体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーション事業（Ｒ５）</li> <li>・新見ファンを増やす魅力向上事業（Ｒ５）</li> </ul>		
成果	<p>シティプロモーションについては、芸能人を活用した観光をテーマとしたPRを実施することにより、本市の認知度の上昇に取り組んだ。</p> <p>また、本市の「コアファン（熱量の高いファン）」を見つけ出し、本市のファンが感じる価値に基づいたシティプロモーションを展開するため、８名のコアファン（熱量の高いファン）を招き、ファンミーティングを開催した。ファンミーティングでは、本市の好きなところなどをファン同士で話し合うワークショップを行い、コアファンの貴重な意見を傾聴することができた。また、ファンミーティングの様子や話し合った内容などから、本市のコアファンの特徴、コアファンの視点から見た本市の良さ、本市のファンをさらに増やすためのポイントや方向性など、シティプロモーション施策検討のための分析を行った。</p> <p>事業実施の効果もあり、本市観光ホームページへのアクセス数が増加するなど一定の成果があった。引き続き関係人口創出のため、継続的な取り組みが必要となる。</p>		

		担当部	総務課
事業分野	行政・地域分野		
事業の具体名	・新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業（Ｒ５）		
成果	<p>行政分野においてキャッシュレス決済の推進を図るとともに、ＪＲの利用促進及び駅の利便性・拠点性の強化にもつなげるため、市営駐車場にＩＣＯＣＡ決済可能な設備を導入した。</p> <p>令和６年１月下旬から運用しており、令和５年度の利用実績は、１月～３月で２５件、令和６年度は１４７件であった。オリジナルＩＣＯＣＡが市内に普及するにつれて、利用実績も増えていくものと考えられる。</p> <p>今後も、ホームページや市報などを活用し、ＰＲに努め、利用実績の増加を図る。</p>		

		担当部	商工観光課
事業分野	その他の分野		
事業の具体名	・ICOCAプロジェクト広報事業（Ｒ６）		
成果	<p>「新見市オリジナルＩＣＯＣＡ」の利用を促進するため、「のぼり」、「ミニのぼり」、「ステッカー」、「マグネットシート」を作成し、広く市民へ利用を啓発した。年間消費量も増加しており、ＩＣＯＣＡの利用啓発によって市内経済の活性化に一定の効果があった。</p>		

#### 4 施策推進による主な成果

商工分野では、オリジナルＩＣＯＣＡの配布や地域ポイントの導入・付与を行った。また、その他の分野において、オリジナルＩＣＯＣＡの「（ミニ）のぼり」や「ステッカー」等の作成・広報を行うことで市内消費を促進し、地域内経済の循環を図ることができた。

観光分野では、観光戦略マネージャーの配置により、本市の特色を活かしたツアー造成や、観光事業者が求める効果的な情報発信を行うことが可能となったことで、本市の観光客数を着実に増加させることができた。

関係人口創出分野においては、芸能人を活用したシティプロモーションを実施することにより、本市を知らない潜在層に効果的な情報発信を行うことができた。ホームページのアクセス数の増加や観光客数の増加など、本市に興味・関心を持つ関係人口の創出に一定の効果があつた。また、ファンミーティングの実施により、本市のシティプロモーションのポイントや方向性などの分析を行うことができた。関係人口や移住者のさらなる増加に向け、効果的なプロモーションにつなげていく。

交通分野では、利用者の利便性の向上と市内のキャッシュレス化推進のため、市街地循環バス「ら・くるっと」にキャッシュレス決済端末を導入した。導入後は多くの利用があつたほか、市バスと鉄道をシームレスにつなげることで、持続可能な公共交通を維持することができた。

駅周辺のまちづくり分野では、空きテナントや低未利用地等のポテンシャルを活かした空間が創出されること、また、各種イベントや社会実験を行うことで、駅周辺のにぎわいを創出し、持続可能なまちづくりへ寄与した。併せて、行政分野において駅の駐車場・駐輪場を整備し駅の利便性を向上させることで、駅の利用者数の増加や駅周辺の活性化につなげることができた。

KPI（ＩＣＯＣＡの年間消費量）については、市民の約９割がオリジナルＩＣＯＣＡを保有しているものの、利用については、電子決済への理解度が緩やかなこともあり、達成率では28.2%となっている。しかし、３年間で約12.9億円の利用があることから一定の効果が認められ、積極的にＩＣＯＣＡを利用している市民も多いことから、引き続き利用促進に取り組み、地域内経済の循環に努めることで、持続可能な地域経済の構築を図る。KPI（ＪＲ新見駅の一日あたりの利用者数）及びKPI（主要観光施設（20施設）の年間入場者数）については、新型コロナウイルス感染症の行動規制緩和の後押しもあり、目標を達成することができた。

本計画で実施した事業については、一定の効果が得られており、継続して取り組むことで地域内経済の活性化や関係人口のさらなる増加が見込まれるため、計画終了後も引き続き市単独で取組を実施していく。